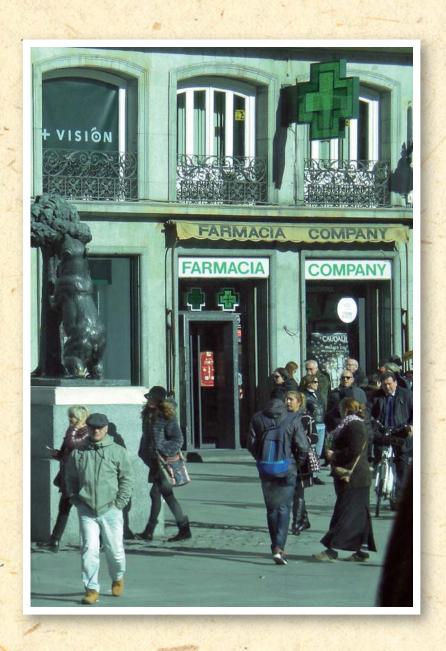


公外上海和巴萨合教

No.287. 2017(平成29年) 3·4月号



沖縄県薬剤師会

薬剤師倫理規定



前文

薬剤師は、国民の信託により、日本国憲法及び法令に基づき、医療の担い手の一員として、人権の中でもっとも基本的な個人の生命・健康の保持促進に寄与する責務を担っている。この責務の根底には生命への畏敬に発する倫理が存在するが、さらに、調剤をはじめ、医薬品の創製から供給、適正な使用に至るまで、確固たる薬の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、医療の向上及び公共の福祉の増進に貢献し、薬剤師職能を 全うするため、ここに薬剤師倫理規定を制定する。

第1条 (任務)

薬剤師は、個人の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、調剤をはじめ、医薬品の供給、 その他の薬事衛生をつかさどることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々 の健康な生活の確保に努める。

第2条 (良心と自律)

薬剤師は、常に自らを律し、良心と愛情をもって職能の発揮に努める。

第3条 (法令等の遵守)

薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法、その他関連法規に精通し、これ ら法令等を遵守する。

第4条(生涯研鑽)

薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとと もに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

第5条 (最善尽力義務)

薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者等と協力し、医療及び 保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

第6条 (医薬品の安全性等の確保)

薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適 正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

第7条 (地域医療への貢献)

薬剤師は、地域医療向上のための施策について、常に率先してその推進に努める。

第8条 (職能間の協調)

薬剤師は、広範にわたる薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能を もつ人々と協力して社会に貢献する。

第9条(秘密の保持)

薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

第10条 (品位・信用等の維持)

薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為及び医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。

薬剤師倫理規定	
巻 頭 言	宮古地区薬剤師会の事業と連携下地 仁… (2)
災害対策	災害時における薬剤師の医療救護活動に関する協定締結式山城 英人…(4)
寄付	沖縄県交通遣児育成会募金贈呈式大城 喜仁…(5)
-, ,,	沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
署名活動	北部基幹病院創設を求める署名協力への御礼
表彰	学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰(村田美智代先生)(7)
	沖縄県学校保健功労者表彰 (嘉数和子先生・高橋優子先生・平良綾子先生)(7)
総会	第75回臨時総会開催大城 喜仁… (8)
総会資料	平成29年度事業計画および平成29年度収支予算
	平成29年度事業計画および平成29年度収支予算·····(10) 第75回臨時総会における議案事項の資料·····(21)
医療安全	平成28年度医療安全講習会報告・・・・・・・・・・・・名嘉 紀勝・・・(24) 新たなワークショップ説明会沖縄開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
実務実習	
地域保健	平成28年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会開催…村田美智子…(27)
	平成28年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会に参加して…伊集 智英…(28)
11/	平成28年度薬剤師認知症対応力向上研修について玉城 千春…(30)
学薬部会	平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ᆂᆹᇎᇫ	日本薬剤師会主催 平成28年度学校薬剤師研修会報告前濱 朋子…(35)
女性薬部会	平成28年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告・・・・・・・・・・・・ (36)
地区だより	村田美智子・玉城仙子・笠原哲・大城なつき・與儀明美 第1回インスリン・GLP-1注入器および血糖測定体験セミナー報告徳嶺 恵子…(42)
地区により 啓発・普及活動	第1回インスリン・GLP-1注入番ねよび皿槽側定体験でミリー報告で領 思于… (42) むつこ先生 ありがとう!八重瀬町立東風平小学校における学習支援「職業インタビュー」… (46)
冶尤 日 人	びつこ元生 めりがと): 八重機町 立泉風平小子仪におりる子盲文後「楓茉インクヒュー」… (40) 嘉数いずみ・喜久里里奈
	新級ペラップ 音穴 主主宗 沖縄県老人クラブ連合会 健康づくり支援事業「薬の正しい飲み方」講演会報告…古宮 啓子…(47)
D I	
県民の皆様へ	薬事情報おきなわNo. 244···································
代議員選挙	2017・2018年度代議員の選挙結果の告示
新入会員	平成28年10月1日~平成29年3月末日入会分·····(63)
医療保険	調剤報酬請求業務Q&A(第2回) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
薬草学	身近な薬草を知ろう 第31回 ふだんそう:ンスナバー狩俣 イソ… (66)
薬局訪問	はいたい!漢方みず堂 ヴァインドラッグあがりはま薬局伊差川サヤカ…(68)
リレー随筆	「球技」がダメなら「弓技」はいかが? ~弓道との出会い~石井 秀典… (70)
薬連だより	次期参議院議員通常選挙 組織内統一候補者を本田あきこ氏に決定!(71)
-m A	国会レポート 〜医療情報データの活用〜・・・・・・藤井もとゆき・・・(72) 平成28年度第7回定例理事会議事概要・・・・・・・(73) 平成28年度第8回定例理事会議事概要・・・・・・・・・(81)
理事会	平成28年度第7回定例理事会議事機要·····(73)
人变却开	平成28年度第8回定例埋事会議事概要·····(81) 平成29年1月~2月分······(89)
会務報告	平成29年1月~2月分······(89) 沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成29年1月~2月分)·····(93)
計 報	沖縄県栗剤師連盟会務報告 (平成29年1月~2月分)
追	
転載記事	- スペース で 1 - スペース で 1 - スペース で 2 - スペース で
T4 +% H6 +F	久場とよさん死去 沖縄女性画家の草分け
	協会けんぽ公表 後発薬使用、沖縄8割に(97)
	会員紹介関連記事
一包一話	会員紹介関連記事······(97) ユイレール散歩·····橋の下··(98)
会員作品	誌上ギャラリー(裏表紙)について
薬草園だより	パパイヤの収穫
編集後記	パパイヤの収穫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
お知らせ	開催日が決定した平成29年度の主な行事(7)
	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!(45)
	沖縄県薬剤師会 Facebook をご覧ください!(61)
	会報原稿募集のご案内······(61)
	県薬が会員に販売している印刷物等·····(92)
± 411	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について(93)

• 表 紙

題字:豊平峰雲









宮古地区薬剤師会の 事業と連携

宮古地区代表理事 下地 仁



宮古島はご存知のように沖縄本島から約300km離れた人口五万強の小さな離島で、宮古地区薬剤師会は少数精鋭ですが行政、医師会、歯科医師会、看護協会、各医療機関等との多職種連携を進めております。

県立宮古病院が医薬分業を開始する約20年 前の開局薬局は、OTC販売以外に学校薬剤師 としての活動が中心で、地区薬剤師会は他職 種との連携が殆ど出来ていない状況でした。 その状況の中、宮古島にもドラッグストアの オープンや薬の再販制度廃止などの規制緩和 と医薬分業の推進等時代の流れは押し寄せて おり、このままでは宮古島地元の小さな薬局 の存続は大変厳しくなるとの認識から夜遅く まで処方箋応需に向けての勉強会や情報収集 等を進めました。当初は否定的な意見や困難 との意見が多く、又、地区薬剤師会の組織が 未整備で県市町村や県立宮古病院との連携も 出来ておらず、分業に関する情報も無いこと から開局薬局は設備をいつからどう進めて良 いのかわからない状況でした。その後、宮古 地区薬剤師会の組織も整備され、県立宮古病 院の薬局長に具志堅興信先生が赴任し、宮古 病院の院外処方箋発行に向けて宮古福祉保健 所を交え宮古病院と宮古地区薬剤師会の連携 がスタートしました。

宮古地区では一部の開業医が院外処方箋を 発行し門前の薬局が応需していましたが、広 域医療機関からの院外処方箋発行は無く、開 局薬局も殆どがOTC中心の薬局でしたので、

全てゼロからのスタートでした。そして、平 成10年9月、沖縄県宮古福祉保健所を核とし て宮古地区薬剤師会、県立宮古病院、医師会、 歯科医師会、看護協会、婦人会、老人クラブ 等各種団体組織を網羅して医薬分業定着促進 会議がスタートしました。分業後進地域の宮 古地区を他地区と同じレベルまで持っていく には何をいつどのように進めていくか、喧々 諤々の日々でした。行政、病院、地区薬が連 携して先進地区の視察や講師を招いての講習 会、病院薬局での研修、医師会、歯科医師 会、婦人会老人会等各種団体への分業に関す る説明や勉強会の開催を行いましたが、勿論 メリットだけではなくデメリットの意見も多 く出ました。デメリット解消に向け、宮古病 院と地区薬は色々な方策を検討し、その中に は現在薬局薬剤師に求められている事業が含 まれています。

その一つとして、お薬手帳があり、現在は 重要性から点数もつけられていますが、宮古 地区は分業開始時から無料配布を行いまし た。当初はお薬手帳の携帯が少なく、普及に は時間がかかりましたが、それでもお薬手帳 から数か所の医療機関からの重複投与をみつ けました。特に高齢者による痛み止めやシッ プ薬等の重複が多く見られました。今では災 害や各医療機関の医師からの問い合わせによ り、お薬手帳の重要性が認識され、紙媒体の 手帳からスマートフォンによる電子お薬手帳 へと広がっているのはご存知の通りです。

そして分業は二度手間で薬局に行くのが困 難な年寄りや身体に不自由人には不便だとの 声に答えるため、条件つきですが宅配を無料 で行うことになりました。宅配に関しては当 初の目的であった医薬分業推進の為の不便解 消に役立ったとは思いますが、無料で行う宅 配は薬局薬剤師への負担が大きく、国や薬剤 師会が目指している在宅での薬剤師業務への 足枷になるのではと危惧しています。これか らは在宅にもっと踏み込んだ活動が出来るよ う医療機関としつかりとした連携を構築し点 数がとれるようにしていきたいものです。た だ、現実問題として宮古地区も一人薬剤師の 薬局が多く、長時間薬局を離れる在宅医療で の薬剤師職能を発揮するためには薬局間の連 携が必要不可欠です。

さて、分業もスタートしてから宮古地区薬 剤師会は色々なイベントへの参加や連携を積 極的に進めてまいりました。平成14年11月、 沖縄県で開催された第66回九州山口薬学大会 で、発表経験のない地区薬メンバーが宮古病 院薬局との連携で試行錯誤を繰り返しながら 「離島医療でのお薬手帳」でポスター発表し ました。平成15年に県学術大会、平成24年に は県薬理事会を開催するという貴重な経験を させていただきました。平成15年は台風14号 襲来で宮古島全体が未曽有な被害を受け大会 開催が危ぶまれましたが、市町村、県立宮古 病院、宮古地区医師会等各方面からのバック アップと、離島にも関わらず多数御参加して 下さった会員先生方のお力により無事成功い たしました。ここに学術大会の開催に御尽力 なされている学術研修委員会の先生方と県薬 事務局に感謝申し上げます。

連携の一つとして、宮古地区薬剤師会はトライアスロン宮古島大会へ医療班としてボランティア参加をしています。大会に使用する

医薬品を宮古病院からスタートとゴールへの 搬送と選手の救護搬送等を行っています。ボ ランティアは緊急時における他職種との連携 を想定に行っております。ボランティア参加 によって地区薬剤師会へ公的機関からの各種 委員への就任要請が増え、薬剤師の存在が不 可欠になっております。

最後に、宮古地区薬剤師会は今年の2月19 日に厚労省の「患者のための薬局ビジョン」 を推進する事業の一環として、アウトリーチ 型健康づくり推進事業健康とおくすり相談会 を多良間島で開催しました。多良間島には多 良間診療所と歯科診療所のみで薬局は無く、 薬剤師がおりませんので、県立宮古病院、医 師会、歯科医師会、看護協会等にも声掛けを し、それぞれの特色を生かした健康とおくす り相談会を開催する事ができました。相談者 は予想以上の多さで、予定時間を大幅に延長 し、内容も多岐にわたり、医師や歯科医師、 看護師との連携もスムーズに進み、相談者か ら来年の開催も要望され、参加された他職種 からの評価も高く、次回は理学療法士や作業 療法士等、もっと多くの職種の参加を呼び掛 けてはどうかとの意見も出ました。今回の事 業はまさに多職種連携のモデルになるのでは と思うくらい素晴らしいイベントでした。事 業を推進指導して下さいました笠原大吾理事 に感謝申し上げます。

医薬分業を契機に始まった県立宮古病院との連携が、今では大きな多職種連携となっており、感慨深いものがあります。医療と介護を地域でみる地域包括ケアシステムの構築に向けて、健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師を目指し、更なる多職種連携を進め、薬剤師の存在が必要不可欠となるように少しでも貢献できればと思っています。

災害対策

災害時における薬剤師の医療救護活動に関する協定締結式

日時:平成29年2月9日(木) 9:30~10:00

会場:沖縄県医療保健部 部長室

沖縄県と沖縄県薬剤師会で災害時における 薬剤師の医療救護活動に関する協定締結式が 執り行われた。協定の内容は、沖縄県内にお いて地震、風水害その他の災害等が発生した 場合に沖縄県地域防災計画に基づき沖縄県が 行う医療救護活動に対する沖縄県薬剤師会が 協力する薬剤師班の派遣要請等についてと なっている。



事務局 次長 山城 英人



締結式では、新城薬務疾病対策課班長の進行で、はじめに砂川靖沖縄県医療保健部部長から本会の亀谷会長に協定書が手交された。

次に、砂川部長より「災害時には薬剤師による調剤、服薬指導が求められるため、実際に災害が起きた時には薬剤師の派遣の要請することになる。協力をお願いしたい。」と述べられた。引き続き亀谷会長より、「災害の現場では、薬剤師の存在感が医療チームの中でも高まっている。薬剤師の役割が重要となっていることを実感している。」と、震災における医療チームの中の薬剤師活動は欠かすことが出来ないことを強調された。

最後に、マスコミからの取材を受け、締結 式は終了した。

「災害時 薬剤師も支援へ」 県と薬剤師会 協定締結

県と県薬剤師会(亀谷浩昌会 長)は9日、県庁で「災害時に おける薬剤師の医療救護活動に 関する協定書」の手交式を行っ た。亀谷会長=写真左=は「医 と薬、両輪がうまく機能するこ とで効率が上がる。県と協力し て薬剤師も社会のために生かし ていきたい」と話した。

協定は救護所などへの薬剤師 の派遣やその活動内容に関する 協力事項を定めることで、迅速 かつ的確な支援活動を行い、被 災した県民の生活の安定に貢献 い」と話した。



することが目的。今後県は災害 時において、必要があれば県薬 剤師会に対し派遣についての協 力を要請することができる。

砂川靖保健医療部長=同右= は「災害時には、県災害対策本 部より薬剤師の派遣を要請する ことになるので、ご協力願いた い」と話した。

平成29年2月11日(土) 沖縄タイムス

寄附

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告

日時: 平成29年2月21日(火) 13:30~14:00

会場:琉球新報社 社長室



写真左より、真境名勉 歯科医師会副会長、安里哲好 医師会会長、富田詢一交通遺児育成会理事長、亀谷浩昌 薬剤師会会長、仲座明美 看護協会会長

去る2月21日、四師会による沖縄県交通遺 児育成会への募金贈呈が、琉球新報社社長室 にて行われました。本会は、沖縄県交通遺児 健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖 縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、 毎年、募金活動を行っています。

四師会の会長を代表して安里哲好医師会会 長より、「四師会会員他、関係者の皆様の温 かいご支援により、733,962円の寄付をする ことができました。平成2年より寄附を始め、 今年で28回目になります。平成11年度までは チャリティー写真展を開催、その後も寄附を 続けるため四師会が協力、各関連施設へ募金 箱を設置し、募金活動を行っています。」と 述べられました。

富田詢一沖縄県交通遺児育成会理事長(琉 球新報社長)から、「当育成会の事業推進に ご理解を頂き、大変貴重な寄附金まで賜り、 御礼を申し上げます。この度の尊いご芳志に ついては、遺児達の学業上の不安を和らげ、 強く逞しく成長して将来立派な社会人になる よう有効に活用させて頂きます。」と御礼の

○平成28年度四師会募金額

沖縄県医師会 562,741円 沖縄県薬剤師会 50,000円 沖縄県歯科医師会 50,000円 沖縄県看護協会 50,000円 計 712,741円 合

ご挨拶があり、引き続いて、高里宏志沖縄県 交通遺児育成会事務局長より、「昭和55年か ら交通事故で父母を亡くした小・中・高・特 別支援・専門・大学生を対象に"奨学・育成 金"等を給付してきました。給付開始以来現 在に至る36年間で、延べ8,311人の交通遺児 を支援することが出来ました。昨年度は99人 の交通遺児に給付し、小・中学校入学及び中 学校卒業の交通遺児18人に激励金、新たに交 通遺児となった2人に対し見舞金、また、健 全育成を目的としたリーダー育成金では遺児 3人を九州へ派遣するなど、合わせて122人に 対して、9,033,000円を給付する事が出来ま した。」と、実績報告がなされ、毎年続けて いる寄附に感謝の言葉がありました。

本会におきましては、下記の募金額を寄附 したことをご報告致します。

(文責:沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁)



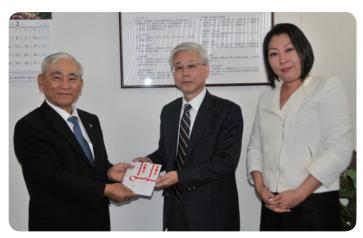
県交通遺児育成会に 医療4団体が73万余 「子どもを社会で支援」 県医師会の安里哲好会

長、県歯科医師会の真境名

勉副会長、県薬剤師会の亀 谷浩昌会長、県看護協会の 仲座明美会長は21日、県交 通遺児育成会(理事長・富 田詢一琉球新報社社長) に 会費や募金で集めた計73万 3962円を寄付した一写真。 安里会長らは「ゆいまーる の精神が残っているとはい え、昔と比べると地域で子 どもを育む力はなくなって きている。子どもを社会で 支援することが大切だ」と 述べ、寄付金を託した。

平成29年2月22日(水)琉球新報

寄附



(有)メディカルハーモニーと(有)エム・クリエイトそれぞれから寄付がありました。 代表取締役の戸田澄之氏(中央) と事務の来住 悠氏(右)

日時:平成29年3月29日(水)11:00~11:45

場所:沖縄県薬剤師会館 会長室

(有)メディカルハーモニー、(有)エム・クリエイトの代表取締役で、本会会員の戸田澄之氏と 事務の来住 悠氏がご来館され、当会へ御芳志をされました。ご厚情に感謝申し上げます。

戸田氏は、1996年7月に那覇市内に開局し、1998年に(有)メディカルハーモニーを設立。現在 は県内に4店舗、福岡県に1店舗展開し、昨年7月に創立20周年を迎えています。

署名活動

北部基幹病院創設を求める署名協力への御礼

会長 亀谷 浩昌

北部基幹病院創設を求める署名協力につきまして、北部地区医師会から依頼を受け、会員の皆様に協力を呼びかけさせていただきましたところ、414名分の署名を賜りました。ご協力いただきました会員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

本会で集めた署名は、沖縄県医師会を通して北部地区医師会に届けられました。北部地区医師会の上地博之会長名で、「今回の住民運動を契機に、充実した医療提供体制の構築を目指して地域住民や行政機関と共に取り組む所存でございます。」とのお礼がありましたこともお伝え致します。

学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰



村田 美智代先生 おめでとうございます

沖縄県学校保健功労者表彰



嘉数 和子先生 高橋 優子先生 平良 綾子先生 おめでとうございます

期日:平成29年2月3日(金) 会場:名護市民会館



第16回沖縄県教育研究大会にて 左より 高橋 優子氏、村田 美智代氏、平良 綾子氏 後方は嘉数和子氏の代理受賞を務めた上原卓朗氏

お知らせ

開催日が決定した平成29年度の主な事業

平成29年

6月8日(木) 第1回薬理学研修会 県薬ホール

6月18日(日) 第76回通常総会

7月16日(日) 平成29年度新任新人薬剤師研修会 県薬ホール

8月13日(日) 共同指導及び調剤報酬請求業務講習会 浦添市てだこホール

8月20日(日) なごみ会主催県民健康フェア 沖縄コンベンションセンター 展示棟

9月17日(日) 第78回九州山口薬学大会(18日迄)

宮崎県シーガイアコンベンションセンター

10月 8日(日) 第50回日本薬剤師会学術大会(9日迄)東京国際フォーラム 他

11月12日(日) 第31回沖縄県薬剤師会学術大会 県薬ホール・看護協会館

総会

第75回臨時総会開催

日時:平成29年3月26日(日) 13:00~14:20

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール





開会の辞 江夏 京子副会長



議長:玉城 武範代議員(左)副議長:西川 裕代議員(右)



会長あいさつ 亀谷 浩昌会長

第75回臨時総会は、川満直紀常務理事が司会進行をし、開会の辞を江夏京子副会長が述べた。議長は沖縄支部の玉城武範代議員、副議長に那覇中央支部の西川裕代議員が選出され、代議員48名中過半数の42名の出席を確認し、総会の成立が宣言された。

亀谷浩昌会長が、「1期、2年間を会長として会務を行ってきた。"会員のための薬剤師会"を念頭に会活動を進めてきた。解決を急ぐあまり不協和音が出た面があることを反省し、今後はより理解を深めながら課題の克服に努めていきたい。本会活動の良い面としての、①災害派遣等の積極的なボランティア活動、②各種募金を通じた慈善活動、③学校薬剤師および「健康とおくすり相談会」等の職能を活かした社会貢献などは、引き続き継続していきたい。次に、改善あるいは努力を要することとして、①会員のスキルアップにつながる研修会・講演会の企画、②薬剤師を表に出しての社会活動を通じての薬剤師認知度向上、③相談できる政治家・行政関係者・医

療関係者を増やすなどの政治力の強化、④組織強化としての会員数の増加、⑤人件費、収益力、集金力を考慮した薬剤師会の健全経営、⑥事務局に於いてはIT技術も積極的に活用し、迅速・適切・満足な事務遂行力の向上等がある。これらを念頭に置きながら、来期も引き続き常勤の会長として会務を進めて行きたい。」と挨拶した。

会長挨拶の後、議題に入った。

報告第1号「平成28年度事業計画について」は、前濱朋子副会長が資料に沿って事業計画を滞りなく述べた。各委員会、部会、試験検査センター、薬事情報センターの事業計画については、新規、変更のあった箇所について具体的に説明がなされた。

報告第2号「平成29年度歳入歳出予算について」、議案第1号「平成29年度会費額に関する件」は、山里常務理事から説明がなされた。 議案第1号について賛成方への挙手を求め、 賛成多数で承認された。

副会長

副議長

副会長

常務理事

常務理事

議

숲

常務理事 川満

長

長

江夏

玉城

西川

亀谷

前濱

山里

山里

直紀

京子

武範

浩昌

朋子

勇

勇

裕

<第75回臨時総会次第>

1. 開会の辞

(議長・副議長選出)

2. 議長・副議長登壇あいさつ (点呼、宣告)

3. 会長あいさつ

4. 議題

報告 第1号 平成29年度事業計画について

第2号 平成29年度歳入歳出予算について

議案 第1号 平成29年度会費額に関する件

第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者選挙について

選挙管理委員会委員長

野崎 真敏 村田美智子 5. 閉会の辞 常務理事



報告第1号 前濱 朋子副会長



報告第2号・議案第1号 山里 勇常務理事



議案第2号 野崎 真敏 選挙管理委員会委員長



司会

閉会の辞 村田 美智子常務理事



川満 直紀常務理事

議案第2号「一般社団法人沖縄県薬剤師会 会長候補者監事選挙について」は、選挙管理 委員会の野崎真敏委員長が、次のとおり説明 をした。

「平成28年12月12日に亀谷会長名で選挙の 公示をした。これは、本会の会長候補者選挙 規則と同施行細則により、来る平成29年6月 に開催予定の第76回通常総会とその直後に開 催される臨時理事会において選定する会長 (代表理事) に係る候補者を決定するための 選挙である。この公示に基づき、平成29年3 月3日の午後5時を以て候補者の届出を締め切 り、選挙規則第6条により候補者一覧表を本 会事務所に掲示、本日の臨時総会において候 補者が選挙されることになっている。会長候 補者に現会長の亀谷浩昌氏が多くの推薦を得 て立候補の届け出をしている。届け出に不備 は無い。会長候補者の立候補者数が員数を超 えていないので、選挙規則に則って、本日出 席の代議員の議決を経て投票を行わずに、そ の候補者をもって当選者としていただきたい。」

野崎選挙管理委員会委員長の説明の後、議 長と副議長の議事進行により、会長候補者立 候補の所信表明が行われた。会長候補者に立

候補している亀谷浩昌現会長の所信表明は次 の通り。

「来期も常勤の会長として、多くの来訪者 と面会し、また、外部へ積極的に出向くこと により日常的に薬剤師職能を宣伝し理解を得 ることに努める。ITを活用した事務の効率化 を図り、会員の利便性を高めたい。薬局ビ ジョンを実現できるよう会員の後押しをする とともに、引き続き生涯学習の機会を提供し て資質向上を図っていきたい。会員増加を図 り、組織強化に努める。来る参議院選挙で2 人目の薬剤師議員を誕生させて政治力を強化 する。」

その後、代議員、選挙管理委員会委員長、 担当事務職員以外の方々を議場から退場さ せ、議場を閉鎖し、改めて出席代議員数を確 認後、立候補者に対して挙手にて当選の承認 を得ることになった。結果、出席者全員の挙 手により承認された。役員と立候補者を再び 入場させ、改めて議長が会長候補者に亀谷浩 昌氏が選出された旨を述べた。

滞りなく会を進行した議長と副議長が降壇 し、閉会の辞を村田美智子常務理事が述べ、 予定よりも早い閉会となった。

(報告:事務局 大城 喜仁)

第75回臨時総会資料

<報告第1号 平成29年度事業計画の件>

平成29年度沖縄県薬剤師会事業計画

~はじめに~

昨年4月に実施された調剤報酬改定は、厚生労働省が公表した薬局を患者本位の「かかりつけ薬局」とするための道筋と、地域包括ケアシステムの一翼を担う薬局と薬剤師の目指すべき姿を明確にする「患者のための薬局ビジョン」に示された方向性が強く打ち出されたものとなった。

同時期に、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する「健康サポート薬局」が、 医薬品医療機器等法上に位置付けられることとなり、昨年10月からその届出が始まった。「健康 サポート薬局」は、調剤や一般用医薬品等の販売、在宅医療に必要な医療・衛生材料や介護用品 等の供給の他、在宅患者訪問、地域住民による主体的な健康の保持・増進の支援、健康や介護な どに関する相談を受け付けるなど、地域包括ケアシステムの中で重要な役割を担う。

一方、医薬分業については平成27年6月に閣議決定された規制改革実施計画を踏まえ、10月より、保険薬局の指定に係る留意事項通知の一部改正に伴うルールが適応されたが、保険医療機関による当該敷地内への保険薬局誘致は「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へをサブタイトルとする薬局ビジョンの趣旨に逆行するものであり、留意事項通知が厳格に適用され、医薬分業の本旨が損なわれることがないよう、引き続き強く求めていかなくてはならない。

平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定において、調剤報酬では「対物業務から対人業務へ」の方向性がより鮮明になり、成果と実績に基づいて評価される仕組みが明確になるであろう。

薬価の毎年改定については、薬剤師会としては反対であることを主張してきた。具体的方法については全品目を調査対象とするものの、毎年の薬価調査に基づき価格乖離の大きな品目について薬価改定を行う等とされており、毎年の全面改定は回避できた。

偽造医薬品問題は薬剤師として、また、職能団体としての信頼を著しく損なうもので二度とこのようなことがあってはならない。

1. かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局の普及啓発ならびに医薬分業の継続的な推進

医薬分業の原点に立ち返る目的で、今後すべての薬局を患者本位の「かかりつけ薬局」に再編するため、「患者のための薬局ビジョン」が策定された。患者本位の医薬分業の実現に向けて、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、そして24時間対応、在宅対応、医療機関等との連携など、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿を明らかにすると共に、中長期的視野に立ってかかりつけ薬局への再編の道筋が示された。

一方、「健康サポート薬局」はかかりつけ薬剤師・薬局としての機能に加えて、医薬品等の安全・ 適正使用に関する助言と健康の維持・増進に関する相談を受けつけ、かかりつけ医等の専門職種 や関係機関と連携して地域住民の健康サポートを実施するとともに、地域への情報発信等に取り 組むことも求められている。

以上を踏まえ、かかりつけ薬剤師・薬局、健康サポート薬局の推進を図り、患者・住民から真に評価される医薬分業の実現に向け、以下の事業を行う。

(1) かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局の普及ならびに周知

「薬と健康の週間」等を始め、あらゆる事業を通し、かかりつけ薬局・薬剤師、さらに健康 サポート薬局について県民への周知、啓発をしていく。薬局薬剤師による処方薬の一元的な薬 歴管理(お薬手帳)の他、後発医薬品の適正使用の推進、健康相談や一般用医薬品の販売を通 じたセルフメディケーションが行えるような支援を行なう。

同時に、自殺対策のゲートキーパーとして、業務の中でリスクの高い患者を早期に見つけだ し、適切な医療に結びつける役割も担っていく。

さらに「禁煙支援薬剤師」ならびに「禁煙サポート薬局」の認定をとおして、薬局における 禁煙支援の取り組みも行う。

(2) 在宅医療支援薬局の普及

在宅医療を担う薬剤師の養成・支援を目的として、在宅医療支援薬局の啓発活動、アンケートによる在宅医療の実態調査、在宅医療推進のための講習会、医療材料に関する研修会、無菌調製の実践講座、無菌調剤室共同利用施設(会営薬局うえはら)の利用推進を図る。これらの活動を行ない、薬剤師の職能と薬局機能の拡充、新しい在宅医療支援制度を構築することで地域医療に貢献することができると考える。

(3) 夜間・休日等の対応

患者のための薬局ビジョンを踏まえ、24時間対応の薬局が求められることから、地区薬剤師会とも連携をとり、夜間・休日等における医薬品等の供給を行う体制を推進し、医薬品提供施設としての役割を担っていく。

(4) 薬薬連携の強化

患者本位の医薬分業を推進していくためには、医療・介護の提供において、地域包括ケアシステムを踏まえた地域の関係職種の連携の構築が必須の課題である。入院から地域に円滑に移行するには、病院・診療所の薬剤師と地域の薬局薬剤師の連携強化が一層必要であり、今年度も医薬分業対策会議等を開催し充実させていく。

2. 医療安全対策への取り組み

医療の担い手である薬剤師の職能拡大と同時に、その責任も重くなっている。加えて、国民の権利意識の高まりに伴い、薬剤師に関する医療過誤訴訟の増加が予想される。昨今の現状を見るにつけ、開局・病診薬局において、資質向上や内部チェック体制整備などの医療安全体制の構築に努めていく必要がある。

下記を確認、順守し、取り組んでいく。

- (1) 薬局における医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直し(薬局並びに店舗販売業及 び配置販売業の業務を行う体制を定める省令「体制省令」による)
- (2) 薬局における安全管理のための職員研修の支援
- (3) 薬局管理者へのヒヤリ・ハット報告の徹底
- (4) 医薬品医療機器情報配信サービス (PMDAメディナビ) の登録・報告の促進
- (5) その他

3. 生涯学習

生涯学習については各種認定制度があり、何れの制度においても積極的に取得することが望ましく、またJPALSのCLレベル6となる「薬剤師生涯学習達成度確認試験」も今年から実施されている。各種研修会、講演会などの学習機会は豊富にあるが、その学習成果を日本薬剤師会認定薬剤師制度などの認定の取得、あるいは学術大会で発表するなど、業績として残していくよう推進していく。論文作成や学会発表の支援、研修会等を企画するなど、生涯学習を推進するための支援体制の充実を図る。

以下の事項を推進する。

- (1) 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の登録及び利用促進
- (2) 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定薬剤師取得の支援
- (3) 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (4) 九州山口薬学大会、日本薬剤師会学術大会への参加・発表促進
- (5) 地域薬剤師会生涯研修の計画及び実施の支援
- (6) 病院薬剤師会との共催による学術講演会の開催
- (7) 他団体の実施する研修会・講演会への積極的参加の促進
- (8) 新任・新人薬剤師研修会及び調剤実務研修の実施
- (9) 認定実務実習指導薬剤師の育成
- (10) 健康とお薬に関する県民公開講座の開催
- (11) 会員から望まれている新しい生涯学習の企画、開催

4. 関連事業

- (1)「健康とおくすり相談会」の実施
- (2)「薬と健康の週間」事業(10月17日~10月23日)
- (3) 各種関連協議会への参加協力
- (4) 関連機関団体との協議及び懇談
- (5) 関係行政当局との定期的連絡協議
- (6) 日本薬剤師会各種保険への加入促進 (薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険・休業補償保険)
- (7) 県薬会報の発行
- (8) 薬剤師求人求職斡旋事業、薬剤師確保対策事業
- (9) 財政基盤の強化
- (10) 麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力
- (11) 公的介護保険制度への積極的参加
- (12)「健康おきなわ21」の企画実践

5. 委員会・部会

(1) 学術研修委員会

- ① 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- ② 新任・新人薬剤師研修会の開催
- ③ 九州山口薬学大会、日本薬剤師会学術大会への参加・派遣・発表促進
- ④ 「JPALS」の登録及び利用促進

- ⑤ 薬剤師生涯学習の支援
- ⑥ 生涯教育担当者連絡会議等への参加
- ⑦ その他研修会・講演会の共催及び支援

(2) 医薬分業対策委員会

- ① 医薬分業対策会議の開催(薬薬連携及び医療従事者間の連携事業推進)
- ② 委員会主催研修会、講演会の開催
- ③ 患者のための薬局ビジョン推進事業
- ④ 一般用医薬品の配置促進に関する方策
- ⑤ 不動在庫・備蓄ネットワークシステムの推進
- ⑥ お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動
- (7) おきなわ津梁ネットワークの推進
- ⑧ DEM事業に関すること
- ⑨ 高度管理医療機器継続研修会の開催
- ① その他

(3) 医療保険委員会

- ① 共同指導・個別指導における指摘事項の研修会
- ② 充実した薬歴簿作成についての研修会
- ③ 「新規保険薬局勉強会」
- ④ 会報への「調剤報酬請求業Q&A」の継続掲載
- ⑤ 平成30年度調剤報酬改定等説明会の開催
- ⑥ その他

(4) 医療安全対策委員会

- ① 調剤業務・医薬品販売業務に関する過誤対策及び支援(継続)
- ② 薬局・薬店における「ヒヤリ・ハット」事例の収集と解析の推進
- ③ 医療安全講習会の開催
- ④ その他

(5) 在宅医療委員会

- ① 在宅医療支援薬局の啓発活動
- ② アンケートによる在宅医療の実態調査
- ③ 重症心身障がい児・緩和ケア・医療材料に関する研修会の開催
- ④ 無菌調製の実践講座の開催
- ⑤ 無菌調剤共同利用施設(会営薬局うえはら)の利用推進
- ⑥ その他

(6) 地域保健委員会

- ① 健康とおくすり相談会等の薬剤師の予防医療に関わる事業
- ② 地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割に関する事業

- ③ 自殺対策に関する事業
- ④ 禁煙支援事業

(7) 広報委員会

- ① おきなわ薬剤師会報の年6回隔月発行・会報掲載用取材
- ② 薬剤師職能のPR (県民への啓発・薬学生との懇談)
- ③ ホームページの効果的活用のための支援
- ④ 「熟年の集い」企画・開催
- ⑤ マスコミへのタイムリーな情報提供
- ⑥ くすりと健康フェア(薬と健康の週間) PR活動
- ⑦ その他、広報に関すること (Facebook運営など)

(8) 薬学生実務実習受入委員会

- ① 認定実務実習指導薬剤師養成事業
 - ○認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへ参加派遣及び講座(新規・更新)開催
 - ○指導薬剤師のスキルアップ研修会の開催(新コアカリキュラム)
- ② 薬学生受け入れ事業
 - ○実務実習指導薬剤師の適正配置と実習生のマッチング
 - ○実務実習受入薬局のサポート体制の充実
 - ○早期体験実習の受入
 - ○新コアカリキュラムに基づくトライアル実習の推進
- ③ 地区薬剤師会・他協力施設との連携

(9) 災害対策委員会

- ① 県の防災計画・訓練等への積極的な参画
- ② 沖縄県薬剤師会BCP(事業継続計画)の作成・訓練
- ③ 災害時の救援活動等への医薬品・支援用品の準備
- ④ 災害拠点薬局・事前登録支援薬剤師の募集・訓練
- ⑤ 災害時における公衆衛生対策方法の周知
- ⑥ 救命活動に関する事業 新ガイドラインに基づいたBLS (一次救命救急)訓練、講習会の開催
- ⑦ 新型インフルエンザへの対応
- ⑧ その他

(10) 財務委員会

- ① 一般会計、収益事業部の予算・決算に関すること
- ② 本会職員の賃金、退職金に関すること
- ③ 会費徴収に関すること
- ④ 公益法人移行への検討について
- ⑤ 収益事業部の運営・経済面での監督、指導
- ⑥ その他

(11) 会営薬局移転検討特別委員会

- ① 豊見城中央病院・琉球大学医学部附属病院移転に伴い、会営薬局とよみ・うえはらの移転について検討していく
- ② その他

(12) 学校薬剤師部会

- ① 学校薬剤師としての資質の向上のための講習会・研修会の実施
- ② 「全国学校保健調査」の実施ならびにデータ解析
- ③ 学校への学校環境衛生検査未実施項目の実施への働きかけ
- ④ 組織強化、試験検査センターへの検査委託の推進
- ⑤ 関係団体への協力と連携の推進
- ⑥ 学習指導要領に基づいた"くすり教育"の充実
- ⑦ 学校薬剤師職能のPR (部会外での研修会における職能紹介等)
- ⑧ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑨ 幼保連携こども園への薬剤師の配置
- ⑩ 県薬ホームページ"学薬の頁"の充実と県薬会報"学薬だより"への投稿
- ⑪ 第16回九州地区健康教育研究大会における会員発表
- ② 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会40周年記念誌の発行

(13) 病院診療所薬剤師部会

- ① 組織と役員会の強化拡大
- ② 学術・教育研修活動の推進
- ③ 認定·専門薬剤師育成
- ④ 薬薬連携の強化・拡大
- ⑤ 学会・学術大会に対する協力
- ⑥ 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- ⑦ 実務実習の充実と新規事業への取り組み
- ⑧ その他

(14) 女性薬剤師部会

- ① 日本女性薬剤師会「平成29年度薬剤師継続学習通信教育講座」の斡旋とスクーリングの 実施
- ② 漢方講座の定期的継続開催
- ③ 沖縄の薬草への知識を深める活動(会報誌連載、ミニ薬草園の充実)
- ④ 「妊娠・授乳と薬」の研修会開催
- ⑤ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑥ その他

(15) 青年薬剤師部会

- ① 青年部組織強化(各地区での情報交換会)
- ② 研修会・勉強会の開催

- ③ 他県薬青年部との交流(九州各県との交流)
- ④ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑤ 薬剤師職能に関する啓発活動 (グッジョブ事業など)
- ⑥ 薬学生とU・Iターンに関する相談(薬剤師無料職業紹介所との協働)
- ⑦ その他(施設見学など)

(16) 卸勤務薬剤師部会

- ① 学術大会、研修会、フォーラム等への派遣
- ② 薬学生実務実習生の受け入れ協力
- ③ 平成29年度の継続研修テーマに則った研修の実施
- ④ その他 (おきなわ薬剤師会報への投稿等)

(17) 行政薬剤師部会

- ① 組織の強化拡大
- ② 全国又は地方学会等への参加
- ③ その他



代議員席側





理事・監事席側

薬事情報センター事業計画

(1) 薬剤師会関連機関及び医師会等他機関との機能連携業務

- ○全都道府県薬事情報センターの協同事業:DI図書館、情報バンク、「文献データベース Bunsaku」(担当雑誌:新薬と臨床、総合診療、臨床薬理、おきなわ県薬会報、産科と婦人科) 等の事業の運用に協力。
- ○沖縄県医師会医療事故調査委員会としての活動

(2) 医薬品情報の管理業務

- ○医薬関連書籍の整備・管理
- ○医薬品情報データベース等の充実等 (文献DB、適応外使用情報、質疑応答、ドーピング使用可能薬リスト等)
- ○関係各機関からの医薬品情報の収集・整理・評価・文書管理

(3) 会員への情報提供業務

- ○電話による質疑応答業務
- ○会報(薬事情報おきなわ)の発行
- ○会員向け一斉メール配信
- ○医療事故インシデント・アクシデント事例収集
- ○緊急安全性情報

(4) 一般への情報提供業務

- ○一般県民に対するお薬相談業務「おくすり相談室」
- ○ホームページ及び会報
- ○薬剤師会Facebook

(5) ドーピング防止活動

- ○薬剤師会ドーピング防止ホットライン業務
- ○沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会への協力
- (6) 地域公衆衛生活動の推進
 - ○禁煙指導活動の支援
- ○薬物乱用防止活動の支援

(7) その他

○会営薬局の支援

試験検査センター事業計画

- (1) 平成29年度計画的試験
 - ○委員会で選定された計画的試験の品目についての試験及び成績書発送
 - ○期間は、平成29年12月から平成30年3月頃まで
- (2) 学校関係の水質及び空気検査委託業務・「学校環境衛生の基準」に則った環境検査
 - ○飲料水及びプール水の水質検査
 - ○教室等の空気環境検査「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」
 - ○教室等の空気環境検査「ダニ又はダニアレルゲン」
 - ○期間は、平成29年5月から平成30年2月頃まで
- (3) 試験検査センター委員会の開催
 - ○試験検査センターの運営、機器購入、計画的試験品目の選定など
- (4) 会員並びに調剤薬局等から医薬品等の分析依頼に対応する
- (5) 試験検査センター業務に関連する医薬品医療機器等法(旧 薬事法)上の事項に対する問い合わせへの対応
 - ○薬局等の開設手続きに関し、薬局等構造設備規則に係わる器具等の相談に与る
- (6) 学校薬剤師業務に対する支援

第75回臨時総会資料

<報告第2号 平成29年度歳入歳出予算について>

平成29年度 収支予算

(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:円)

	D+=***	7 0 /11 1 = 1		(単位:円)
科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
【 経 常 収 益】				
基本財産運用益	1, 000	0	0	1, 000
基本財産受取利息	1,000	0	0	1,000
特 定 資 産 運 用 益	3, 000	9, 300	7, 700	20, 000
特定資産受取利息	3,000	9, 300	7, 700	20,000
受 取 入 会 金	0	0	770, 000	770, 000
受 取 入 会 金	0	0	770, 000	770, 000
受 取 会 費	0	6, 000, 000	93, 089, 000	99, 089, 000
正会員受取会費	0	0	49, 700, 000	49, 700, 000
賛 助 会 員 受 会 費	0	0	1, 000, 000	1,000,000
賛助会員受会費 (応能会費)	0	6,000,000	42, 000, 000	48, 000, 000
特 別 会 員 会 費	0	0	389, 000	389, 000
事 業 収 益	81, 594, 196	1, 598, 501, 000	0	1, 680, 095, 196
出版物事業収益	2, 175, 000	3, 325, 000	0	5, 500, 000
広 告 料 事 業 収 益	500,000	0	0	500,000
その他事業収益	4, 991, 000	623,000	0	5, 614, 000
調剤報酬収入	28, 444, 000	1, 415, 252, 000	0	1, 443, 696, 000
一部負担金収入	8, 982, 000	165, 366, 000	0	174, 348, 000
小 分 治 療 剤 収 入	16, 197, 000	△ 1,400,000	0	14, 797, 000
保険外	729,000	11, 095, 000	0	11, 824, 000
受 取 手 数 料	236, 000	4, 240, 000	0	4, 476, 000
保 険 等 調 整 増 減	0	0	0	0
新規契約賦課金	100,000	0	0	100,000
利 用 契 約 金	2, 900, 000	0	0	2, 900, 000
医薬品検査手数料	100,000	0	0	100,000
水質検査手数料	11, 226, 892	0	0	11, 226, 892
空 気 検 査 手 数 料	5, 013, 304	0	0	5, 013, 304
保険受託収入	0	0	0	0
受 取 補 助 金	7, 361, 758	0	0	7, 361, 758
受取地方公共団体補助金	6, 024, 983	0	0	6, 024, 983
受取補助金等振替額	1, 336, 775	0	0	1, 336, 775
受 取 寄 付 金	0	0	320, 592	320, 592
受 取 寄 付 金	0	0	1,000	1,000
募 金 収 入	0	0	0	0
寄付金等振替額	0	0	319, 592	319, 592
雑 収 入	152, 000	240, 300	2, 574, 000	2, 966, 300
受 取 利 息	2,000	20, 300	14, 000	36, 300
受 取 賃 借 料	0	0	0	0
雑 収 益	30,000	170, 000	30,000	230, 000
事務受託収益	120, 000	50, 000	2, 530, 000	2, 700, 000
経常収益計	89, 111, 954	1, 604, 750, 600	96, 761, 292	1, 790, 623, 846
42 11 10 M III III	55, 111, 551	.,, ,,	1 2, 701, 202	1, , 020, 010

	4 31			実施事業等会計	その他会計	计工会計	스 타
	科	目		小 計	小 計	法人会計	合 計
【経	常	費用					0
事		業	費	167, 721, 315	1, 574, 736, 355	0	1, 742, 457, 670
期	首	棚卸	高	3, 500, 000	76, 548, 612	0	80, 048, 612
仕		入	高	24, 350, 000	1, 356, 232, 000	0	1, 380, 582, 000
期	末	棚卸	高	△ 3, 500, 000	\triangle 76, 548, 612	0	\triangle 80, 048, 612
役	員	報	酬	3, 667, 420	791, 450	0	4, 458, 870
給	与	手	当	40, 865, 125	71, 536, 875	0	112, 402, 000
雑			給	22, 892, 800	46, 373, 200	0	69, 266, 000
賞			与	2, 500, 000	16, 170, 000	0	18, 670, 000
退	職系	合 付 費	用	1, 685, 800	2, 131, 000	0	3, 816, 800
法	定	福利	費	6, 150, 000	19, 946, 000	0	26, 096, 000
福	利	厚生	費	300,000	1,000,000	0	1, 300, 000
会	, ,	議	費	3, 236, 000	594, 000	0	3, 830, 000
旅	費	交 通	費	11, 050, 000	5, 540, 000	0	16, 590, 000
通	信	運搬	費	2, 913, 226	2, 466, 774	0	5, 380, 000
減	価	償却	費	11, 829, 658	1, 912, 342	0	13, 742, 000
消	耗	品品	費	4, 110, 000	4, 005, 000	0	8, 115, 000
修	7 4	繕	費	400, 000	460, 000	0	860, 000
研研		修	費	20, 000	100, 000	0	120, 000
出	版		費	4, 440, 000	3, 160, 000	0	7, 600, 000
会	報	発 行	費	0	0, 100, 000	0	0
地	代	家	賃	1, 080, 000	20, 988, 000	0	22, 068, 000
光	熱	水料	費	2, 089, 200	4, 030, 800	0	6, 120, 000
賃	This	借	料	1, 160, 000	1, 988, 000	0	3, 148, 000
広		報	費	3, 065, 000	\triangle 200, 000	0	2, 865, 000
保		険	料	426, 443	660, 557	0	1, 087, 000
諸		謝	金 金	450, 000	50, 000	0	500, 000
租	税	公	課	3, 286, 000	728, 000	0	4, 014, 000
支	払	負 担	金	1, 400, 000	0	0	1, 400, 000
支	払	補 助	金	4, 800, 000	1, 200, 000	0	6, 000, 000
支	払	寄附	金	150, 000	1, 200, 000	0	150, 000
委	74	託	費	0	0	0	130,000
1		注	費	2, 300, 000	0	0	2, 300, 000
外去	払	手 数	料	1, 182, 000	7, 252, 000	0	8, 434, 000
×	14	際					205, 000
支交管	理	际 諸	費弗	120, 000	85, 000 0	0	205, 000
管			費費	2, 876, 400	3, 946, 600	0	6, 823, 000
	理 聞	維 持図 書	費	820, 000		0	
新谷名		凶 青 当 金 繰 入		820,000	305, 000	0	1, 125, 000 0
	의 기	コ 並 磔 人	. 領 費		0	0	
雑	+1	4 il		1 026 242	192 757	0	0
支	払	利	息場	1, 926, 243	183, 757	0	2, 110, 000
商	品	廃 損	損生	180, 000	1, 100, 000	0	1, 280, 000
雑	会 計		<u>失</u> 麦)	0	0	37, 505, 000	27 505 000
法人				0	0		37, 505, 000
役纷	員 与	報手	酬			2, 000, 000	2, 000, 000
給	宁	手	当			7, 070, 000	7, 070, 000
雑			給			0	0
賞	n分 小	^ <i>Ц</i> #	与田			0	0
退	職		用			250, 000	250, 000
法	定	福和	費			840, 000	840, 000
福	利	厚 生	費			75, 000	75, 000

I) D	実施事業等会計	その他会計	>+ 1 ∧=1	∧ =I
科目	小計	小計	法人会計	合 計
表 彰 費			0	0
会 議 費			1,000,000	1,000,000
旅 費 交 通 費			3, 500, 000	3, 500, 000
通 信 運 搬 費			690, 000	690,000
減 価 償 却 費			1, 100, 000	1, 100, 000
消耗品費			500,000	500,000
修繕費			800, 000	800, 000
出版物印刷費			0	0
会 報 発 行 費			0	0
地代家賃			0	0
光熱水料費			220, 000	220, 000
			360, 000	360, 000
太 報 費			0	0
保険料			150, 000	150, 000
諸 謝 金 租 税 公 課			200, 000	200, 000
租 税 公 課 支 払 負 担 金			600, 000 14, 500, 000	600, 000 14, 500, 000
支 払 補 助 金			14, 500, 000	14, 500, 000
支 払 手 数 料			1, 150, 000	1, 150, 000
交際費			900, 000	900, 000
管理維持費			1, 300, 000	1, 300, 000
雑			0	0
支払利息			300, 000	300, 000
経常費用計	167, 721, 315	1, 574, 736, 355	37, 505, 000	1, 779, 962, 670
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 78, 609, 361	30, 014, 245	59, 256, 292	10, 661, 176
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 78, 609, 361	30, 014, 245	59, 256, 292	10, 661, 176
2. 経常外増減の部	0	0		0
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
固定資産除却損	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額 他会計振替額	0	△ 4, 682, 700	4, 682, 700	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 78, 609, 361	25, 331, 545	63, 938, 992	10, 661, 176
法 人 税 等	38,000	5, 893, 000	03, 330, 332	5, 931, 000
当期一般正味財産増減額	△ 78, 647, 361	19, 438, 545	63, 938, 992	4, 730, 176
一般正味財産期首残高	△ 49, 398, 389	318, 536, 414	410, 130, 292	679, 268, 317
一般正味財産期末残高	△ 128, 045, 750	337, 974, 959	478, 751, 984	688, 681, 193
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0		0
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 2, 161, 758	0	△ 319, 592	\triangle 2, 481, 350
一般正味財産への振替額	△ 2, 161, 758	0	△ 319, 592	△ 2, 481, 350
当期指定正味財産増減額	△ 2, 161, 758	0	△ 319, 592	△ 2, 481, 350
指定正味財産期首残高	824, 983	3, 861, 398	24, 749, 605	29, 435, 986
指定正味財産期末残高	△ 1, 336, 775	3, 861, 398	24, 430, 013	26, 954, 636
□□□正味財産期末残高	△ 129, 382, 525	341, 836, 357	503, 181, 997	715, 635, 829

第75回臨時総会資料

<議案第1号 平成29年度会費額に関する件>

平成29年度会費額は、次の基準により徴収する。

1. 正会員

- (1) <入会金> 10,000円
- (2) <会 費>

正会員A 年額 54,000円 (県薬会費36,000円 + 日薬会費18,000円) 正会員B 年額 39,400円 (県薬会費32,400円 + 日薬会費7,000円)

※新規入会者に対して、上記会費内訳に示す日薬会費は、次のとおりとする。

正会員 $A \rightarrow (9$ 月までに入会 18,000円) (10月以降に入会 9,000円)

正会員B → ("

7,000円)(

3, 500 □

- (3) <納付方法および早期納入割引>
 - ※ 会費納入は原則一括納入とする。
 - ※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。
 - ※ 一括納入支払期限は**平成29年7月末日**とする。
 - ※ 平成29年7月末日までに一括納入の場合、早期納入割引として 正会員A 3,000円、正会員B 2,700円を還付する。

参考(会員規程より)

正会員Aとは、薬局の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者正会員Bとは、正会員A以外の者

2. 賛助会員

(1) <会 費>

替助会員A 年額 15,000円

賛助会員B 処方せん受付回数1回あたり8円(上限48万円)

- (2) <賛助会員B会費の納付>(会費規程より)
- 第7条 賛助会員Bは、薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費を毎月納付しなければならない。
 - 2 前項の賛助会員B会費の額は、1箇月の処方せん受付回数に別表3に掲げる額を乗じて 得た額(100円未満の端数は切り捨て)とする。
 - 3 前項の処方せん受付回数は、前年1月から12月までの総処方せん受付回数とし、これを12等分した額を当年度4月から翌年3月にかけて支払うこととする。但し、上限を48万円とする。
 - 4 年度途中の入会等、過去の実績の無い賛助会員Bは、入会後の処方せん受付見込み回数により、1箇月の平均回数を算出するものとし、その方法は理事会で定める。
 - 5 賛助会員B会費の納付は、原則として会員の銀行等の口座からの口座振替によるもの とする。

参考(会員規程より)

第9条 定款第5条に定める賛助会員の種別は、次のとおりとする。なお、この中で、(1)から(3)及び(5)に該当する者を賛助会員A、(4)に該当する者を賛助会員Bとする。

- (1) 薬局経営者
- (2) 薬剤師以外の薬品の製造業及び卸業者等の関係者
- (3) 医薬品販売に従事する者
- (4) 薬局
- (5) その他希望する個人及び団体
- 2 正会員Aが在籍する薬局は、賛助会員Bとして入会するものとする。

3. 特別会員

(1) <会 費>

特別会員A 年額 10,000円 特別会員B 年額 17,000円 特別会員C 年額 0円

- (2) <納付方法>
 - ※ 会費納入は原則一括納入とする。
 - ※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。
 - ※ 一括納入支払期限は**平成29年7月末日**とする。
 - 参考(会員規程より)

特別会員Aとは、年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

(資格:県薬会員のみ)

特別会員Bとは、年齢が満75才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者 特別会員Cとは、正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそ れに関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望 する者

<議案第2号 一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長候補者選挙について>

江夏 京子	那覇地区	亀谷 浩昌	101	その他
推薦者代	薬剤師会名	立候補者氏名	番受 号付	区分

会長候補者立候補名簿

[第75回臨時総会出席者]								
			<	(理事	・監事>			敬称略
○亀谷	浩昌	(会長)	○江夏	京子	(副会長)	○前濱	朋子	(副会長)
〇山里	勇	(常務理事)	○村田美	美智子	(常務理事)	○我喜屋	美香	(常務理事)
○川満	直紀	(常務理事)	○成川	賢一	(北部地区代表)	○佐藤	雅美	(中部地区代表)
○姫野	耕一	(那覇地区代表)	○新垣	秀幸	(南部地区代表)	○下地	仁	(宮古地区代表)
○幸地	良信	(八重山地区代表)	○笠原	大吾	(地域保健開局担当)	○荒井	千春	(在宅医療担当)
○吉冨	弓江	(医療安全担当)	○吉田	洋史	(災害対策担当)	〇石川	恵市	(青年部会)
○大城	桂子	(監事)	○友利	弘一	(監事)			
			<	(代)	議員>		☆:	議長、◎副議長
○玉城	純	(名護支部)	○池間	正	(浦添支部)	○吉田	将司	(那覇東支部)
○屋嘉比	康作	(名護支部)	○大城	博次	(浦添支部)	○比嘉	真三	(那覇東支部)
○川平	浩子	(うるま支部)	○大塚成	比一朗	(首里支部)	○國吉	直子	(小禄支部)
○福地	健治	(うるま支部)	○狩俣	イソ	(那覇北支部)	○具志賢	区興信	(小禄支部)
○江夏	恭範	(うるま支部)	○平良信	予己子	(那覇北支部)	○上原	陽子	(南風原支部)
○村田	成夫	(嘉手納支部)	○与儀	和子	(那覇北支部)	○川上な	惟一朗	(南風原支部)
☆玉城	武範	(沖縄支部)	○鈴木	一徳	(那覇中央支部)	○城間	盛伸	(南風原支部)
○普久原	隆	(沖縄支部)	○服部	大	(那覇中央支部)	〇川上	善久	(南風原支部)
○鈴木	直志	(沖縄支部)	○渡慶沙	文全康	(那覇中央支部)	○伊敷村	公太郎	(糸満支部)
○長濱	照美	(沖縄支部)	○我喜屋	恵美子	(那覇中央支部)	○高良	武和	(糸満支部)
○新垣	慶朗	(宜野湾支部)	◎西川	裕	(那覇中央支部)	○松本	圭五	(糸満支部)
○仲座	方利	(宜野湾支部)	○上原	幸代	(那覇東支部)	○小湾	勝敏	(糸満支部)
○武富	弘記	(浦添支部)	○仲村喜	喜久子	(那覇東支部)	○古謝	真己	(平良支部)
○日高久	美子	(浦添支部)	○入月	健	(那覇東支部)	○荒谷	敏巳	(石垣支部)

平成27・28年度代議員は任期終了となりました。代議員の皆様、お疲れ様でした。

医療安全

平成28年度 医療安全講習会報告

日時:平成28年2月26日(日) 13:00~15:30

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール

去る2月26日に、平成28年度医療安全講習会が開催されました。毎回、受講者が多い本講習は、今回も134名の多くの参加がありました。今回は4講義と多く、多様な内容でした。

冒頭、亀谷会長から、本研修は薬局開設者の義務である「医療の安全を確保するための従業者に対する研修」として位置づけしており、本日学んだことを職場で共有するようにと開催趣旨の説明と挨拶をいただき、講習会が始まりました。



医療安全 対策委員会 名嘉 紀勝

講義1

「官民一体となったテロ対策の推進について」

那覇警察署署員からロールプレイング形式の窓口対応と、最新の国際情勢のテロの状況説明がありました。また、沖縄であった薬物関係の事例において、沖縄県薬剤師会と試験検査センターとの連携のおかげで円滑な捜査解決ができたことの報告がありました。危険物やその原材料等を購入するために、不審者の来局があった際には、注意して、身元を確認することや異常を感じる場合は通報する等の動きがテロや犯罪の防止になるので、薬剤師の活躍と協力を期待しているとの事でした。

講義2「感染性廃棄物等の処理について」

講師の解りやすい説明で、改めて注射針の 廃棄方法を再確認できました。家庭で発生し たものであれば一般廃棄物となり、薬局で発 生したものは事業系一般廃棄物と分類され、 その中でも感染性があるものは特別管理一般 廃棄物として処分をしなければならない。し かし、その場合は、特別管理産業廃棄物収集 運搬業者と特別管理産業廃棄物処分業者と委託契約が必要となることになる。現段階では 平成15年環境省による在宅医療廃棄物の処理 の在り方検討会において注射針等の鋭利なも のは、患者・家族が医療機関へ持ち込み、医 療機関において感染性廃棄物として処理す る。その他の非鋭利なものは市町村が一般廃 棄物として処理することが望ましい処理では ないかとの助言を頂きました。

講義3「指定代理店の紹介、団体保険制度の ご案内(休業補償保険)」

沖縄県薬剤師会の保険の指定代理店となったヒューマン&アソシエイツ沖縄より、挨拶と日薬の団体薬剤師責任賠償を扱う損害保険ジャパン日本興亜株式会社から保険の商品の説明がありました。患者様の店舗における事故にも対応できる薬剤師賠償責任保険、最近は個人情報漏洩保険や長期休業保険、所得保障のある薬剤師休業保険等もあるので、加入希望の方は相談をして下さいとの事でした。



講義1の講師 左から 宮城 武 巡査部長と長嶺 忠 巡査



講義2の講師 喜友名 康幸 主任技師



講義3の講師 左から 照屋志乃氏、吉澤 崇氏、辻 悠典氏

<プログラム> ○ あいさつ 司会:医療安全対策担当理事 吉冨 弓江

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

講義 1『官民一体となったテロ対策の推進について』

沖縄県那覇警察署警備課

講義2『感染性廃棄物等の処理について』

沖縄県環境部環境整備課 主任技師 喜友名康幸

講義 3 『指定代理店の紹介、団体保険制度のご案内(休業補償保険)』

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 沖縄支店法人支社 照屋 志乃

ヒューマン&アソシエイツ沖縄 支店長 吉澤 崇

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部第二課 辻 悠典

講義 4『医薬品副作用被害救済制度等について』

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 健康被害救済部 次長 鬼山 幸生

○ 閉会の辞医療安全対策委員会委員長 平良 栄子

講義4

「医薬品副作用被害救済制度等について」

鬼山幸生講師より、独立法人医薬品医療機 器総合機構 (PMDA) の創立背景の説明と医薬 品副作用被害救済制度について説明がありま した。救済制度は、サリドマイド、スモン事 件を背景に薬事法の医薬品承認制度・安全対 策を厳格にするとともに、健康被害者の迅速 な救済を行うことが急務であり、社会的な 要請からであったことを改めて説明されま した。興味深いことは、薬剤師が周知して いる本制度について、一般国民は3割程度で 「知っている」、「聞いたことがある」とある が、医療関係者では全体で79.7%(薬剤師: 97.3%、医師:89.7%、歯科医師:70.6%、 看護師:56.7%) と、医療関係者であっても 約8割程度と高くない結果であるとのことで す。その中の約6割の医師を対象とした勧奨 率についても、「勧めたい」57.1%、「どちら ともいえない | 39.5%、「勧めたくない | 3.4%



講義4の講師 鬼山 幸生 次長

となっているとのことです。その中でも、「勧めたくない」理由が「自分自身が制度をよく理解していない」「必要書類の作成が複雑・面倒」「支給決定までに時間がかかる」「不支給の場合に責任が問われる」となっています。PMDAは種々の改善に取り組んでおり、6か月でおりる例もあるとのことです。PMDAが医療団体へ運用の説明と使用の促進をも行っており、資料もインターネット等で説明も受けられるので、是非活用して欲しいとのことでした。

今年度も多くの参加者に受講修了証が発行されました。平良委員長が閉会の挨拶で、「講義で学んだことを日々の業務と薬剤師の安全意識の向上に活かすようにしてください」と伝え、講習会を終了しました。

冒頭でも述べたように本講習会は薬局開設者の義務である「医療の安全を確保するための従業者に対する研修」として位置づけされています。これからも多くの会員の積極的な参加をお待ちしております。

実務実習

新たなワークショップ説明会 沖縄開催

日時:平成29年2月5日(日) 13:00~17:00

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール

平成31年度から新コア対応の実務実習が始まることはもうすでにお伝えしたと思いますが、その大きな流れの中、今年度は、実務実習に関しての大きな動きがありました。

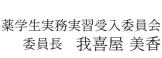
そのうちの一つは、昨年7月に名古屋市立 大の鈴木先生をお呼びして行った実務実習ガ イドラインの説明会。そしてもう一つが今回 の「新たなワークショップ(以下WS)説明会」 です。WSが今年度(九州地区は平成28年7月 ~)から新しくなりました。新コア対応のWS です。県内ではすでに6名(保険薬局)、3名(病 薬)が受けていますが、それ以前にWSに参加 した県内122名の指導薬剤師はこの感覚を身 につけなければなりません。そこで、各県単 位で調整機構主催の説明会が実施されていま す (期限は平成29年3月末)。平成31年度から OBE(学習成果基盤型教育)に基づいた実務 実習が開始されるため、その実習の在り方、 及びカリキュラムプランニングの技法につい て学びます。

今回の「新たなWS説明会」は、もともと講義形式で行う予定でしたが、沖縄の参加が手ごろな人数だったためか、講師の判断でWS形式になりました。おそらく九州地区は沖縄だけ?参加は59名・・・9~10名の6グループ。保険薬局薬剤師と病院薬剤師が半々だったので、うまい具合でのディスカッションができました。そう、これは、一人の頭で考えてできるものではありません。いろんな薬剤師





講師を務めた福岡県薬剤師会 副会長 三浦 公則氏 常務理事 成重 賢司氏





の考えと2人の講師の指導でその技術を習得していくものです。例えば、「薬物療法の実践」というプロダクト。アウトカム(学習成果)を実践するための具体的なパフォーマンス(学習目標)を考える作業を行いました。以前のWSでは出てこなかった言葉が連発し、59名の指導薬剤師は、戸惑いながらも新しい考え方に向かい合いました。

かつて、我々も、先輩薬剤師に育ててもらいました。将来の医療を支える薬剤師の育成は、現場の薬剤師にしかできません。新時代の薬剤師を育て上げることの責務を感じるところです。ぜひ、多くの薬剤師に指導薬剤師をめざしていただけたら幸いです。実習生に関わることで、未来の薬剤師像が見え、ご自身の将来のあるべき姿が見えます。

なお、WSへの参加ご希望の方は、県薬事務局までご連絡ください。次年度は7月に福岡を予定しています。

以下に、当日のプログラムを示します。 4講義3SGD (スモールグループディスカッション) ○目標

「学習成果基盤型教育における目標とは」 SGD (50分)

福岡県薬剤師会 副会長 三浦 公則 先生 ○評価「パフォーマンスを測る教育評価とは」 SGD (50分)

福岡県薬剤師会 常務理事 成重 賢司 先生 ○方略「真に参加型と呼べる学習方略とは」 SGD (50分)

福岡県薬剤師会 副会長 三浦 公則 先生 ○手法「臨床現場での学習に有効な手法」 福岡県薬剤師会 常務理事 成重 賢司 先生

地域保健

平成28年度自殺予防対策事業 ゲートキーパースキルアップ研修会

日時:平成29年3月12日(日) 10:30~12:30

会場:沖縄県薬剤師会館 研修室

<式次第>

司会:地域保健開局委員会 島袋 さゆり

講義1「自殺の現状と自殺対策の取り組み」

沖縄県保健医療部健康長寿課精神保健班 本村 しのぶ

報 告「自殺予防のための情報提供書について」

沖縄県薬剤師会常務理事(自殺予防対策担当理事) 村田 美智子

講義2「自殺の背景にあるアルコール関連問題・抑うつをめぐって」

沖縄県医師会 常任理事・かいクリニック院長 稲田 隆司

平成28年度ゲートキーパースキルアップ研修会が、去る3月12日(日)、38人の会員が参加して開催された。講師に県保健医療部の本村しのぶ氏と、県医師会常任理事・かいクリニック院長の稲田隆司先生を迎え、下記内容でご講演いただいた。

詳細は、くはら薬局の伊集智英先生の報告に譲るが、稲田先生からは過去に経験された24症例をご提示いただき、ゲートキーパーとしての「気づき」に大いに参考になった。アルコール依存者は常に「お酒」と「生きがい」の綱引きをしている状態であること、その意味で第二の人生のQOLも大事であるという指摘があった。「うつ」を診る時、「かきくけこ」を念頭にその逆を観察するというポイントも



教えていただいた。ちなみに、か(感動)き (興味)く(工夫)け(健康)こ(恋)という観点だそうだ。その他、稲田先生からは「沖縄戦とトラウマ」という検証データの提供もあり、沖縄戦が個人に与えた傷の深さも知ることができた。アルコールに限らず「抑うつ」の背景にあるさまざまな問題の提示があり、ゲートキーパーとしての広範囲にわたる知識と技術の習得ができた。

なお、伊集先生は「薬剤起因性のうつ」に 特に関心を示され、研修後自身で資料を作り 提供してくれた。我々薬剤師にとって有用な もので心から感謝したい。



講義1の講師 県健康長寿課精神保健班 本村しのぶ氏



講義2の講師 県医師会常務理事 稲田 隆司氏



自殺予防対策担当理事 村田 美智子 常務理事



司会を務めた 島袋 さゆり 委員 (地域保健開局委員会)

〈平成28年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会に参加して〉

講義1「自殺の現状と自殺対策の取り組み」

我が国における自殺の状況の経緯

- ○自殺者数は5年連続で年間3万人を下回った ものの、依然として深刻な状況にある。
- ○平成28年4月1日、自殺対策は内閣府から厚 生労働省に移管。改正自殺対策基本法(議 員立法)が施行。

沖縄県の自殺者数は平成10~23年度まで、 毎年300人台で推移していたが、平成24年度 には267人と300人を下回った。平成25年度は 278人、平成26年度は284人と2年連続で増加 している。沖縄県の取り組みとして過去最多 を記録した平成18年度自殺死亡率の30%以上 減少を目標としている。(平成18年度の自殺 者数は、400人、自殺死亡率は、27.5人)

平成27年度の原因動機別の主な内容の詳細をみると、

○健康問題135件(39%)(うつ病の悩み…34件、 身体の悩み(身体の病気)…38件、その他





- の精神疾患の悩み…27件、総合失調症の悩み…15件、アルコール依存症…7件、身体障害の悩み…5件)
- ○経済生活問題46件(生活苦…14件、負債(その他)…14件、事業不振…6件、負債(多重債務)…4件)
- ○家庭問題42件(夫婦関係の不和…12件、その他家族関係の不和…6件、子育ての悩み …4件、家族の死亡、家族の将来悲観…3件、 親子関係の不和…2件)
- ○男女問題14件(失恋…6件、その他交際を めぐる悩み…4件、その他…4件) となっている。

年度		全	国			沖	縄	
十段	男	女	総数	自殺死亡率	男	女	総数	自殺死亡率
平成23	20, 955	9, 696	30, 651	24.0	301	86	387	27.6
平成24	19, 273	8, 585	27, 858	21.8	208	59	267	18. 9
平成25	18, 787	8, 496	27, 283	21.4	209	69	278	19.6
平成26	17, 386	8, 041	25, 427	20.0	207	77	284	20. 1
平成27	16, 681	7, 344	24, 025	18.9	214	67	281	19.8
平成28	15, 017	6, 747	21, 764				266	

厚労省発表(警察庁自殺統計データ)の統計より参照。平成28年については、「速報値」 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数を示す。(自殺者数÷人口×100,000人)



行政の自殺対策事業-相談窓口として紹介 してください。

<こころの相談窓口>

- ○いのちの電話 098-888-4343
- ○保健所・北部保健所 0980-52-2734
 - · 宮 古 保 健 所 0980-72-8447
 - · 南部保健所 098-889-6945
 - · 那覇市保健所 098-853-7973
 - 八重山保健所 0980-82-3241
- ○よりそいホットライン 0120-279-338
- ○沖縄県立総合精神保健福祉センター 098-888-1450 私たち薬剤師が自殺予防へのゲートキーパ として行えることとして、患者さんが自殺を 示唆する言動などを行う時に、担当医へ情報 提供を行うという選択肢があります。情報提 供書の書式について目下、薬剤師会と医師会 で検討されているそうですが、今年度中には 完成の予定ということでした。出来上がるま で待つことなく個人情報に十分注意して伝え ようと思います。

講義2「自殺の背景にあるアルコール関連問題・ 抑うつをめぐってし

稲田医師によりますと、自殺の背景にアル コール関連問題、抑うつが関係している事例 があるそうです。患者さんとのかかわりの中

で薬剤師としてできることがあるのではと感 じました。

アルコール依存症の方は、飲酒を「続ける」 又は「禁酒」するしか選択肢がないと言われ ます。禁酒するための助けとなる薬剤や機関 が存在しますので、本人や家族へ行政を含め て関係機関への相談を勧めることができるの ではと思います。

精神疾患で薬物治療される方は、服薬アド ヒアランスの問題がよく起こります。服薬指 導にて自己判断によらない治療の継続を支え ていきたいと思います。

薬剤には、抑うつやギャンブル依存などが 報告されているものがあります。「薬剤惹起 うつ」を起こすものとして、インターフェロ ン製剤や副腎皮質ステロイド薬、また、レセ ルピン、β遮断薬、カルシウム拮抗薬といっ た降圧薬や、抗ヒスタミン薬、経口避妊薬、 抗がん剤などの副作用項目に記載がありま す。患者にその傾向がある場合には、その処 方検討を医師へ照会することをしていきたい と思います。

また、関連性のある副作用として、「認知機 能障害を起こす可能性のある薬剤」「悪夢を起 こす薬剤」もチェックしておこうと思います。

病的賭博を起こす可能性のある

プロモクリプチンメシル酸塩 アポモルヒネ塩酸塩水和物 レボドパ・ベンセラジド塩酸塩 エンタカポン カベルゴリンレボドパ・カルビドパ水和物 レボドパ・カルビドパ水和物・エンタカポン レボドパ タリペキソール塩酸塩 ロチゴリン プラミペキソール塩酸塩水和物 ペルゴリドメシル酸塩 ロピニロール塩酸塩

認知機能障害を起こす可能性のある薬剤

- 1. 抗コリン薬 2. 向精神薬 1)抗不安薬、睡眠導入剤 2)三環系抗うつ薬 3)フェノチアジン系 4)炭酸リチウム 3. 抗パーキンソン薬 4. 平成1受容体阻害薬(抗ヒスタミン薬) 5. 平成2受容体阻害薬 6. 麻酔薬
- 5. 平成2受容体阻害薬 4. 平成1受容体阻害薬(抗ヒスタミン薬)
- 7. 鎮痛剤(オピオイドを含む) 8. ホルモン剤(コルチコステロイド、甲状腺末) 9. 降圧薬、循環薬(ジギタリス、抗不整脈薬ほか) 10. 喘息治療薬(アミノフィリン、テオフィリン) 11. 筋弛緩薬 12. その他(インターフェロン、抗癌薬、抗結核薬ほか)

悪夢を起こす薬剤(添付文書副作用項目に悪夢、多夢、異夢の記載のあるもの)						
β−遮断薬	向精神薬					
アテノール オクスプレノロール カルテオロール	クエチアピン					
チモロール (外用薬) ピンドロール プロプラノロール	抗アレルギー薬					
ベタキソロール ペンブトロール メトプロロール	エピナスチン フェキソフェナジン モンテルカルトナトリウム					
降圧剤	抗平成Ⅳ薬					
メチルドパ レセルピン レセルピン配合剤 レシナミン	アタザナビル エファビレンツ デラビルジン サキナビル テノホビルジソプロキシル ネビラピン ロピナビル・リトナビル リトナビル					
ベンゾジアゼピン系薬・類似薬	鎮痛剤					
クアゼパム ゾルピデム トリアゾラム ハロキサゾラム フルジアゼパム メキサゾラム メダゼパム ロルメタゼパム	オキシコドン ケタミン (注射薬) プトルファノール (注射薬) ブプレノルフィン (外用・注射薬)					
抗うつ剤	抗真菌薬					
クロミプラミン タンドスピロン トラゾドン マプロチリン	フルコナゾール (過量投与) (注射薬) ホスフルコナゾール (過量投与) (注射薬)					
抗パーキンソン病薬	その他					
アマンタジン セレギリン タリペキソール ドロキシドパ プラミペキソール水和物	シプロフロキサシン ガンシクロビル (注射薬) バルカンシクロビル メフロキン ドネペジル ニコチン (外用剤) ミダゾラム (注射薬)					

地域保健

平成28年度薬剤師認知症対応力向上研修について

日本の高齢社会の進展に伴い、認知症患者は2012年(平成24年)で462万人、2025年(平成37年)には約700万人とも推定されており、今後も認知症高齢者は大幅に増加するものと考えられております。認知症施策においては、認知症患者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる体制を構築することが喫緊の課題であります。その課題を解決するために、各市町村に設置されている地域包括支援センターや認知症疾患医療センターを中核として、かかりつけの医師や薬剤師、保健医療・介護の関係機関等が連携しながら、認知症患者やその家族を継続支援できる体制を整える必要があります。

沖縄県では、認知症患者等の支援体制構築の一環として、平成28年度に沖縄県薬剤師会と共催で「沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修」を4回開催し、薬剤師が認知症の疑いのある方を含め、本人とその家族を支えるために必要な医療と介護の連携の重要性等についての研修を受講しております。当研修の実施により、高齢者等の認知症の疑いのある方の早期発見や薬剤師とかかりつけ医等が迅速に連携して適切な薬学的管理を行えるとともに、認知症患者とその家族等の支援体制構築の担い手を育成できることが期待できます。

当研修会は、厚生労働省が定める標準的なカリキュラムに基づく、I「基本知識」編、III「対応力」編、III「制度」編の3部構成に

沖縄県 子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課 介護企画班 玉城 千春



よる内容となっており、「基本知識」編は、 認知症サポート医であります読谷診療所所長 の山城正明先生と多鹿昌幸先生に、認知症の 医学的知識を理解しやすく御講義いただき、 「対応力」編については、全4回を沖縄県薬剤 師会からぴいぷる薬局経塚店薬剤師の中尾滋 久先生に、薬学的管理の実例等を交えながら 認知症に対する気づきや連携の重要性につい て、御講義いただきました。また、「制度」 編につきましては、主任ケアマネージャーと して高い知見を有し現場でご活躍されている 那覇市地域包括支援センター松川の有田かお り様、那覇市地域包括支援センター小禄所長 の新本当彦様に講演いただき、実際の事例等 を通して、連携した支援の取り組みを呼び掛 けていただきました。

全4回開催の当研修には、定員を上回る希望があり、354名の薬剤師の方が受講しており、本県の認知症施策に対する薬剤師の皆様のご協力に大変感謝しております。今後とも、認知症患者やそのご家族等への支援体制の強化に沖縄県薬剤師会をはじめ関係機関等と連携して取り組み、認知症施策を推進してまいりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

<薬剤師認知症対応力向上研修開催日>

【第 1 回】日時:平成28年 9月 4日(日) $13:00 \sim 17:15$ 会場:沖縄県薬剤師会館 ホール 【第 2 回】日時:平成29年 1月29日(日) $13:00 \sim 17:15$ 会場:沖縄県薬剤師会館 ホール 【宮古地区】日時:平成28年10月 2日(日) $13:00 \sim 17:15$ 会場:沖縄県立宮古病院 講堂 $1\cdot 2$ 【八重山地区】日時:平成28年10月23日(日) $13:00 \sim 17:15$ 会場:沖縄県立八重山病院 第1会議室

<研修内容>

○オリエンテーション

I 基本知識

- ・認知症施策の現状
- ・薬局薬剤師の役割
- ・認知症の原因疾患の特徴と症例、軽度認知障害の理解 【第2回】読谷診療所医師 多鹿 昌幸
- ・観察のポイント (アセスメント)

沖縄県高齢者介護福祉課

講師:認知症サポート医

【第1回】読谷診療所所長 山城 正明

【宮古・八重山】録画放映

Ⅱ 対応力

①薬学的管理

- ・認知症に使われる薬(効能・効果・副作用・作用機序)【第1回・第2回・宮古・八重山】
- ・認知症治療薬の使用上の注意点
- ・薬物以外の療法とケア薬剤師
- ・服薬の継続管理のポイント
- ・認知症の人・家族への支援

②気づき・連携

- ・早期発見、早期対応や多職種連携の必要性と対応
- ・カンファレンス等での薬局・薬剤師の役割
- ・徴候からの気づき、服薬状況からの気づき、医師へのフィードバック

Ⅲ 制度等

- ・地域包括ケアシステム、介護保険制度
- ・医師やケアマネジャーが薬局・薬剤師に望むこと
- ・認知症ケアパス、認知症初期集中支援チーム、 認知症地域支援推進員等の仕組み
- ・若年性認知症の現状と支援の制度
- 成年後見制度、高齢者虐待の現状

講師:薬剤師

沖縄県薬剤師会 地域保健開局委員会

ぴぃぷる薬局経塚店 中尾 滋久

講師:ケアマネージャー 【第1回】

- 沖縄県高齢者介護福祉課
- ・那覇市 (ケアマネージャー) 地域包括支援センター松川 有田かおり

【第2回】

- 沖縄県高齢者介護福祉課
- ・那覇市 (ケアマネージャー) 地域包括支援センター小禄 新本 当彦 【宮古・八重山】 録画放映

- <講師陣>



山城 正明氏



多鹿 昌幸氏



中尾 滋久氏



有田 かおり氏



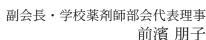
新本 当彦氏

学薬部会

平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議開催

日時:平成29年1月21日(土) 16:00~18:30

会場:沖縄県薬剤師会館 研修室





去る平成29年1月21日(土) 16時から沖縄県 薬剤師会館研修室において、平成28年度学校 薬剤師九州ブロック連絡会議が開催された。 九州地区県薬会長、副会長、学校薬剤師担当 理事、オブザーバーとして山口県も加わり24 名の参加者で行われた。

亀谷浩昌会長の開催県挨拶、乾英夫日本薬 剤師会副会長の挨拶後、会議に入った。

はじめに、村松章伊日本薬剤師会常務理事より「学校薬剤師部会活動の現状報告と課題 について〜学校薬剤師活動の充実等に向けて 〜」として下記の報告がなされた。

平成28年度日本薬剤師会学校薬剤師部会事業計画 今期重点 (課題)

- ○くすり教育の啓発資料は作成中。3月完成 予定
- ○薬物乱用防止教育の啓発資料は日薬ホーム ページよりダウンロード可
- ○学薬アワー:オンデマンド配信
- ○薬学生実務実習:学薬のテキスト作成中
- ○学校給食衛生管理:センター式採用の学校 では配膳室が対象

通年事業

- ○くすり教育研修会 平成29年3月26日 午 前:くすり教育 午後:学校薬剤師研修会
- ○全国学校保健調査:継続。学校環境衛生の 全国規模調査はこれのみ

臨時事業

○学校環境衛生検査技術講習会:1年おきの 開催とする。平成29年度は開催する。

中長期課題

- ○学校環境衛生検査一部改訂
 - i)温度湿度の測定:0.5刻みの温度湿度 計で簡易化する
 - ii) 空調機器使用中の温度:上限30度から 28度とする(30度以上でしか空調使えな いという現場からの声)
 - iii) 粉塵についても検討中
- ○平成28年度 学校薬剤師関係 大会、講習 会等の概要(予定)

学校環境衛生研究協議会:平成29年度は 千葉県開催。日薬の通年事業としたい。(平成30年度を目標)

引き続き、九州ブロックにおける学校薬剤 師活動等に関する協議が行われた。

① 認定こども園に関しては、行政と話し合いを持った県があるものの、学校薬剤師の配置が薬剤師会を通して行われていない等の問題が見えてきた。報酬もバラバラで、ボランティアにならないか危惧されている県もあった。

私立学校に関しては、学校の縁故関係等個人で契約している学校が多く、状況は把握されて無い県もあった。薬剤師会が派遣している県においても、薬剤師不足のため積極的には働きかけていないと回答があった。

<式次第>

司会:沖縄県薬剤師会副会長 前濱 朋子

日本薬剤師会副会長

1. 開催県挨拶 沖縄県薬剤

沖縄県薬剤師会会長 亀谷 浩昌

乾

英夫

2. 日本薬剤師会代表挨拶

3. 学校薬剤師部会活動の現状報告と課題等について

~学校薬剤師活動の充実等に向けて~

日本薬剤師会常務理事 村松 章伊

4. 九州ブロックにおける学校薬剤師活動等に関する協議

(1) 学校薬剤師を巡る最近の課題

○認定こども園における学校薬剤師の設置状況、業務状況、報酬額及び契約書について (佐賀県)

○私立学校における、学校薬剤師の設置状況、報酬額及び契約書について(熊本県)

- (2) 学校環境衛生検査(定期検査)の完全実施への対応について
 - ○給食センターでの検査状況(福岡県)
 - ○学校給食センター・共同調理場の検査について(宮崎県)
- (3) 会員増強策について
- (4) その他
 - ○学校薬剤師の立場と報酬、検査費用の状況について(宮崎県)
 - ○禁煙サポート認定薬剤師の各県における状況(佐賀県)
- 5. 閉会挨拶 沖縄県薬剤師会副会長 江夏 京子
- ② 給食センターにおける学校薬剤師(検査センター)で実施状況は、学校敷地内の給食センターがある場合は自校式同様担当の学校薬剤師が実施、地域・担当学校の薬剤師でグループを作り実施という回答がある一方、水質の一部のみ、業者への委託が進み県薬は関わってないという回答もあった。給食センターへ検査に出向く際の学校薬剤師の立場、派遣費など行政との調整が必要だという事も見えてきた。

給食センター内への入室時の検便についての質問には日薬村松先生より下記の通り回答があった。検便は必要なし。但し、検査の為の調理場への入室に関しては、①服用(キャップ、白衣の着用、エアーシャワー等)を正す。②検査に入るのは調理中でないこと。③調理器具に触れないこと。を守れば検便をしてなくても、検査の為の薬剤師の調理場への立ち入りは認められる。

③ 学校薬剤師の立場と報酬については、各 県とも市町村、実施検査内容でばらつきが ある事が報告された。低額の地域について

- は、薬剤師会から教育員会等に報酬の増額を働きかけている。また、「薬局の管理薬剤師の担当校数を3校までとすること」と 県より申し入れがあった県薬もあり、学校薬剤師不足に対応するため、研修の充実を図っていくと報告があった。
- ④ 禁煙サポート認定薬剤師の担当は1県で学校薬剤師関係の委員会の担当であるが、他各県とも担当委員会が存在し、学薬では行っていない。禁煙指導は学校薬剤師に限っていないからというのが理由であるが、薬物乱用防止講話などの中ではタバコの害、禁煙について話していると報告があった。

ブロック会議後、場所をハーバービューホテルに移し、ブロック会議の雰囲気とは一転、和やかに懇親会がもたれた。学校薬剤師部会のブロック会議に、各県より会長、副会長の参加もいただき、学校薬剤師の活動内容、抱える問題なども理解していただけのではないかと期待する。





亀谷 浩昌 会長



乾 英夫 日本薬剤師会副会長



村松 章伊日本薬剤師会常務理事



ブロック会議後の懇親会

<平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議出席者>

敬称略

○乾	英夫	(日本薬剤師会副会長)	○黒木	芳弘	(宮崎県薬剤師会常務理事)
○村松	章伊	(日本薬剤師会常務理事)	○日高華	代子	(宮崎県薬剤師会
○金岡	正蔵	(福岡県薬剤師会副会長)			学校保健委員会委員長)
○井上	嘉明	(福岡県薬剤師会常務理事)	○中森健	太郎	(宮崎県薬剤師会
〇内川	豊治	(佐賀県学校保健委員会担当理事)	学校	薬剤的	師部会学薬委員会 副委員長)
○安東	哲也	(大分県薬剤師会会長)	○吉水	久純	(鹿児島県薬剤師会副会長)
○佐藤	英隆	(大分県薬剤師会常務理事)	○岩倉ひ	ろみ	(鹿児島県薬剤師会常務理事)
○井手	陽一	(長崎県薬剤師会副会長)	○中村	芳生	(山口県学校薬剤師会副会長)
○七嶋	和孝	(長崎県薬剤師会常務理事)	○亀谷	浩昌	(沖縄県薬剤師会会長)
〇江上	祥一	(熊本県薬剤師会副会長)	○江夏	京子	(沖縄県薬剤師会副会長)
○神田	晴生	(熊本県薬剤師会専務理事)	○前濱	朋子	(沖縄県薬剤師会副会長)
○富永	孝治	(熊本県薬剤師会常務理事)	○村田	成夫	(沖縄県学校薬剤師部会部会長)
〇小山	明俊	(宮崎県薬剤師会会長)	○笠原	大吾	(沖縄県学校薬剤師部会副部会長)

学薬部会

日本薬剤師会主催 平成28年度学校薬剤師研修会報告

日時: 平成29年1月22日(日) 13:30~17:00

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール

司会:沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会副部会長 平良 恭子 <式次第>

1. 開会挨拶 沖縄県薬剤師会会長 亀谷 浩昌

日本薬剤師会常務理事 村松 章伊

2. 研修

(1)「学校薬剤師の役割について」

文部科学省初等中等教育局健康教育,食育課健康教育調査官 小出 彰宏

(2)「学校薬剤師の役割と責任」

日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事(愛知県学校薬剤師会会長) 木全 勝彦

(3)「学校給食衛生管理のあり方等について」

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課学校給食調査官 齊藤 るみ

3. 閉会挨拶 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会部会長 村田 成夫

> 副会長・学校薬剤師部会代表理事 前濱 朋子

去る平成29年1月22日 (日)、日本薬剤師会 主催の平成28年度学校薬剤師部会研修会が開 催された。当研修会は、毎年3ブロックで行 われており、今年度は2ブロックのみの開催 となっている。

遠隔地であり、中央の研修会への参加も難 しい沖縄にとっては、たいへん有意義な研修 となった。沖縄から77名、他府県より17名の 参加があった。

研修会では、文部科学省健康教育調査官 小出彰宏氏、日本薬剤師会から木全勝彦氏、 文部科学省学校給食調査官斎藤るみ氏から、 学校薬剤師・環境衛生活動の法的根拠の説明、 関連出版物、DVDの紹介等の説明があった。

学校環境衛生基準の一部改訂が行われる予 定である旨の説明もあり、学校環境衛生検査 の全項目実施へのハードルが下がるように感 じた。



小出 彰宏氏



<講師陣> 木全 勝彦氏



齊藤 るみ氏



閉会挨拶 村田 成夫



平良 恭子 学校薬剤師部会部会長 学校薬剤師部会副部会長

女性薬部会

平成28年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告

日時:平成29年2月19日(日) 9:55~16:00

会場:沖縄県薬剤師会館 ホール

<プログラム>

司会進行:女性薬剤師部会 副部会長 狩俣 イソ

開会の挨拶 女性薬剤師部会 部会長 村田美智子

講義1「肺がん/最近の治療」

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 呼吸器内科医長 天久 康絢

講義2「在宅医療~安心して自宅で過ごせます~」

はいさいクリニック 院長 石田 吉樹

ランチョンセミナー「臨床における最近の抗うつ薬・睡眠薬の動向」

医療法人天仁会 天久台病院 院長 平良 直樹

講義3「腎不全/腎移植・透析を含む」

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター リウマチ科医長 諸見里拓宏

講義4「難聴・耳鳴り/原因と治療、症状の克服方法」

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 耳鼻咽喉科医師 親泊 美香

平成28年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリングを去る2月19日(日)、下記プログラムで開催した。

この通信教育講座は一般社団法人日本女性 薬剤師会が主宰している通年制の講座で。基 本的に年間8冊のテキスト学習の添削と1回の スクーリングで15単位(G16)が取得できる システムになっている。

テキストは毎年新しく執筆、編集されているため、内容が常に新しい情報となっている。1冊につき1つのメインテーマが取り上げられ、医療(薬物を含め医師が担当)、薬学、看護、栄養など、ガイドラインを含めた今日的な周辺情報も提供してくれる密度の濃いテキストになっている。加えて、薬物動態などの基本的な知識やセルフメディケーションのような最近の話題も含めて、8回シリーズにわたって紹介するなど、毎年、生涯教育に欠かせない内容となっている。県薬会報誌本年1・2月号同封の案内で内容等すでにご存じと

女性薬剤師部会 部会長 村田 美智子

は思うが、平成29年度も新テーマで企画されており、募集中である。3月末で一応の締め切りではあったが、まだ間に合うので今回も募集要項を同封しており、興味のある方は男性会員も含め是非県薬剤師会まで連絡していただきたい。

さて今回行われた平成28年度のスクーリングだが、通信教育受講者を含め45人の参加があった。プログラムのように70分の4講義とランチョンセミナー併せて、10時から16時までの長丁場の講義であったが、どの講義も第一線の臨床に即した興味深い話であった。詳細は以下の4人の先生方の報告にお任せしたい。

<肺がん/最近の治療>

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター呼吸器内科医長:天久康絢先生の「肺がん・最近の治療」についての講座がありましたので報告したいと思います。

I 肺がんの疫学と臨床症状

がん死亡の中で肺がんは男性1位 女性2位 と癌の半分をしめ、他の癌に比べて罹患数と 死亡数に大きな差がない。つまり、罹患者の 生存率が低い事をあらわしています。リスク ファクターとして喫煙があげられ、自覚症状、 検診X線での発見が一般的。

Ⅱ 肺がんの検査と進行度の評価

①肺がんの確定診断まで 胸部X線での異常陰影→

精密検査として胸部CT

画像では確定診断とならず

- i 喀痰細胞診
- ii 気管支鏡検査(生検 侵襲を伴う検査) これで確定となる。

必要に応じて CTガイド下肺生検・開胸肺生検をおこなう。

- ②病気の進行度(広がり)を調べる検査
- ③患者の全身状態の評価(治療に進むことができる状態かどうか)

Ⅲ 肺がんの病気分類と治療

TNM T:原発腫瘍 N:所属リンパ節

M:遠隔転移

Stage I A/IB → 手術療法

(肺の局所にあり、手術にて切り取る。治癒する範囲)

ⅡA/ⅡB → 手術療法・化学療法

ⅢA/ⅢB → 手術療法·放射線化学療法

(局所進行癌、浸潤あり。どうにか治癒めざす)

IV → 化学療法

(骨、脳、血管などへの転移。治癒率は低い) 治療法は個人の意志を優先にするので、イ



中部薬局 玉城 仙子

ンフォームドコンセント (IC) が重要だとの 事です。

IV 小細胞肺がん

全肺がんの約15~20%

増殖速度が速く、転移しやすく悪性度が高い。しかし、非小細胞肺がんに比べ、化学療法や放射線治療での効果がえられやすい。(治療する事で腫瘍が小さくなる)手術が選択されることは少ない。

V 非小細胞肺がん

全肺がんの80~85% 近年、化学療法に おける薬剤の選択肢が増えている。

術後補助化学療法

IA/IB ユーエフティー (内服薬)

Ⅱ A/ Ⅱ B CDDP+VNR

(病院にて4ヶ月かけておこなう)

切除不能Ⅲ期 化学放射線療法(根治目的) での5年生存率は約20%

IV期 化学療法を受けた場合の平均生存期間 は約12~15か月

EGFR遺伝子変異陽性患者では、約2年となっている。

VI 非小細胞肺がんの化学療法

- 1. 抗がん化学療法
- 2. 分子標的治療法
- 3. 免疫療法

1. 抗がん化学療法

〈一次治療〉

①プラチナ製剤と第3世代抗癌薬の併用療法~6コース

CDDP+CPT11 CBDCA+PTX
DTX nab-F

GEM

VNR

- ②ペメトレキセド CDDP+PEM
- ③ベバシズマブ

CBDCA+PTX+Bevacizumab
CDDP+PEM+Bevacizumab

維持療法

- ①PEM単剤
- ②Bevacizumb 単剤

〈二次治療〉

①単剤療法

DTX単剤/GEM単剤/PEM単剤/VNR単剤

2. 分子標的治療薬

EGFR-TKI (EGFRチロシンキナーゼ阻害)

第一世代 イレッサ Gefitinib

タルセバ ErIotinib

第二世代 ジオトリフ Afatinib

第三世代 タグリッソ Osimertinib

(2016/5)

ALK阻害薬

ザーコリ Crizotinib アレセンサ Alectinib ジカディア Ceitinib

3. 免疫療法(最近の資料より)

2014年にニボルマブ(オプジーボ点滴静注)が登場。画期的な「がん免疫療法」として大きな期待を集めている。

免疫の仕組みとしてがん細胞表面にPD-L1が存在し、免疫細胞のPD-1受容体に結合した場合、免疫細胞の反応が抑制され、がん細胞を攻撃する力を失ってしまう。抗PD-1抗体によってこの結合を阻害すればブレーキが外れ、免疫細胞は再びがんを攻撃する。

肺がん薬物療法の進歩

1990年代前半まで

1980年代前半:有効な薬剤なくBest Suportive careが標準治療だった。

1983年:シスプラチンの保険承認を機に肺

がんの薬物療法の進歩がはじまった。

1990年代後半~ 2000年代前半

1990年代後半:CDDPに匹敵する効果をもつ PTXなどさまざまな新規抗がん剤が開発

これらの新規薬剤は第三世代抗がん剤と総称される。

2000年代後半~ 2010年代前半

(細胞障害性抗がん剤、血管新生阻害薬)

2009年: あらたにペメトレキセ (アリムタ) が上市された。

ベバシズマブ (アバスチン) 保険適応

(分子標的薬 EGFR-TKI)

2002年: イレッサが肺がんに対する初めての分子標的治療薬として保険承認

2007年: タルセバ 日本承認

2014年:ジオトリフ 日本承認 第二世代 2016年:タグリッソ 日本承認 第三世代

(分子標的薬 ALK阻害薬)

2007年: EML4-ALK融合遺伝子を発見

2010年: ザーコリ日本承認

2014年:アレセンサ 日本承認

2016年:ジカディア 日本承認 第二世代

ALK阻害薬

2015年から現在2017年

(免疫チェックポイント阻害剤)

2015,12月 ニボルマブ (オプジーボ)

二次治療薬として、ドセタキセルに比べ、 有意な生存期間延長。毒性も少ない。

二次治療の新規標準治療として重要な薬剤 の登場

他に支持療法として

抗癌剤の副作用の対応(悪心、嘔吐→イメンド、アロキシ注、プリンペラン)

(便秘をする前からの対策)

好中球の推移

皮膚障害などの対応 (医師はある程度出た方が薬効があると判断するそうです)

緩和ケアなど

支持療法をきちんとして癌治療を楽にして もらっているとの事でした。

今回の講義で肺がんに対する知識がひろま

りました。肺がんは発見された時はステージ が上がっていることもあります。日頃の検診 や禁煙に努めた方が良いことがわかりまし た。肺がん疾患で来局する患者様に今回の講義 を参考にし、良き指導していきたいと思います。

<在宅医療/~安心して自宅で過ごせます~>

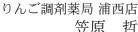
はいさいクリニックの石田吉樹先生、石田 吉樹先生にご教授いただいた「在宅医療/安心 して自宅で過ごせます」について報告致します。

まず、沖縄県は65歳以上の人口増加率が全国1位です。全国統計として77.3%の方は医療機関で亡くなっていて、自宅では12.8%となっています。自宅で亡くなる方の1位は東京都16.8%、最下位は佐賀県の8.1%、沖縄は13.2%ですが、国民の64%は最後を迎える理想の場所として自宅を選んでいるのが現状です。今後、超高齢化社会が進むにつれて医療機関では引き受けが難しくなり、在宅医療の推進が医療を担っていくと考えられます。ちなみに沖縄県の医師は在宅医療はしないと明言している率が全国で段違いに多いとのことでした。

○在宅医療とは?

①自宅を定期的に訪問。②外来医療というよりも入院医療に近い(自宅が病室)、注射(高カロリー輸液管理も含む)やストーマ管理はもちろん、腹水穿刺や胸水穿刺などもできる。③単発的に訪問する往診とは異なる。④24時間365日対応。⑤多職種連携チーム医療(医師、看護師、薬剤師、リハビリ、栄養士、ケアマネ、介護士等)。特に病院ではなく自宅での多職種連携が行える重要な医療であります。○対象者は?

独力では外来通院不能な患者(最低条件)… 具体的には癌末期、認知症、神経難病、脳血 管疾患、人工呼吸器、老衰看取り、その他各 種疾患で通院が困難な患者。家族がいないの で通院に連れていけないなど社会的な理由で





行けない方もあり。

○対象者の特徴

①成功していて家族がそれを理解しているのでわがままが通る。②自分の考えがしっかりし、医師にも臆さず意見が言える。③病院医療と在宅医療の違いが理解できる。④自宅に安心感があり緩和病棟より快適。⑤家で好きなように最後まで暮らしたい。などの傾向があります。

在宅医療で重要な最近多く取り上げられているトピックスとして、レビー小体認知症の特徴の講義もありました。

①75歳以上の高齢者が多い ②パーキンソニズムが出現 ③嚥下障害 ④覚醒状態のムラ (昨日は元気に起きていたが今日は傾眠がち) ⑤薬剤過敏症(例:ドネペジルを通常量で開始すると急に動かなくなる) ⑥閉眼していても誰が来たか、何時に来たかなどを覚えている ⑦睡眠障害・夜間覚醒 ⑧昔から真面目 ⑨自分の考え方に固執 ⑩幻視(後頭葉の障害) ⑪認知症の3割を占める。

治療として…①ドネペジルの少量投与(1~1.5mg沖縄県ではほとんど皆無である)。 ②不眠やイライラには抑肝散。③意識消失や 傾眠傾向が強い時はシチコリン点滴。④パー キンソニズムに関してはドパミン製剤。⑤夜 間せん妄や興奮にはクエチアピンなど。

この講義内容は明日よりすぐに実践として 使える講義でした。 当薬局(浦西店)では、在宅専門薬局として最近軌道に乗ってきたと自覚しています。 私たち薬剤師が今後、在宅医療提供者の1職 種として何をしなければいけないかは、私たち自身が作り上げていかなければいけないこ とだと思いました。入院治療、外来治療、在 宅医療も基本的考えは同じ、患者様の症状に 合わせて的確で安全に、安心して薬剤を服用 (投与)してもらうことを心がけて、今後も 精進していきたいと思います。

<腎不全/腎移植・透析を含む>

薬剤の主な排泄に関わる腎臓は薬剤師には 欠かせない臓器です。今回は諸見里拓宏先生 に腎臓内科医の視点から腎臓の解剖・機能や 病態、腎臓疾患に対する臨床推論のプロセス、 腎不全代償期・非代償期の治療、生活指導に ついてレクチャーしていただいたので、内容 をご報告します。

1. 腎臓の機能

〈尿毒素の排泄〉

尿毒素には尿酸などの非タンパク結合性水溶性分子、インドキシル硫酸などのタンパク結合性脂溶性分子、副甲状腺ホルモンなどの中分子(MW>500D)の3タイプがある。

腎臓糸球体基底膜の尿毒素排泄の機能には 濾過と拡散がある。濾過はフィルターでコー ヒーを淹れる、拡散は紅茶のティーバッグの 色素がカップの中で広がっていくイメージで あり、濾過は主に中分子、拡散は小分子排泄 に関わる。

〈体液量の調節〉レニン・アルドステロン系 脱水の時には塩分をためる、水をためすぎ たら塩分を捨てる。

〈電解質・酸塩基の調整〉

Na、K、C1、Ca、iP、Mg、HCO3-〈ビタミンD活性化〉

肝臓でC25位水酸化を受け、腎臓でC1位水酸化を受けることで活性化ビタミンDとなる。

2. 腎不全(非代償期の治療)

尿毒素が排泄できなくなる(クレメジン)。 体液量の調節ができなくなる(利尿薬)。浸透 圧の調節ができなくなる(バソプレシン)。電 解質・酸塩基の調整ができなくなる(吸着剤)。

こくら虹薬局 大城 なつき



ビタミンDの活性が出来ず腎性骨症になる(1位水酸化or1,25水酸化ビタミンD、BP)。造血刺激が出来ず腎性貧血になる(ESA製剤)。

3. 腎臓疾患に対する臨床推論のプロセス

尿所見、時間経過、機序(腎性、腎前後)、病態(血管性、感染、腫瘍性、薬剤性、中毒性、 先天性、自己免疫性、外傷、内分泌性、精神 的)の4視点からを診ることで病名を推論す る。腎炎orネフローゼ軸、急性or慢性軸とい う二次元に分布させて推論することで病名が 確かになる。

4. 非代償期の治療

血液透析、腹膜透析、腎移植それぞれのメ リット・デメリットについて。

血液透析のメリットは週に3回、4時間の血液透析で治療が続けられ、治療は医療者がやってくれる。医療スタッフと密なコミュニケーションがとれる。シャント以外は不要。デメリットは拘束時間があるため旅行などが制限される。食事・水分摂取の制限。毎回穿刺される痛み。シャントの見た目が気になる。

腹膜透析のメリットは拘束時間が少ない。 持ち運びしやすい。食事制限が明らかに少ない。デメリットは月に1回の通院があること、 毎日自分で管理しなくてはいけない。腹膜炎 になりやすい。

腎臓移植のメリットはほぼ普通の生活に戻れ、QOLが高まり明らかに生存期間が延長する。拘束時間がない。デメリットは移植を受

けられる診断基準がある。提供腎が少ない。 半永久的に免疫抑制剤を内服する必要がある などがある。

5. 生活指導

脱水にならないように注意する。血圧をよく測る事。立っているよりも寝ている時の方が腎臓に血流が行きやすくなるためよくリラックスして眠る事。尿を我慢しない。OTC、特に痛み止めを控える。医療機関に行く際には事前に腎機能が悪いことを伝える。造影剤使用を控える。

今回の講義を受けて、処方された薬で病態を予想したり、生活指導や痛み止め等の漫然使用はないかなどCKD患者さまのサポートに役立つ知識を得る事が出来ました。血液透析患者さまは沢山の併用薬があったり、透析により薬剤の代謝・排泄・除去が変わってくる事があるので薬剤師として、併用薬の相互作用や適正用量・用法であるかを常に意識していくことが重要であると実感しました。

<難聴、耳鳴り/原因と治療、症状の克服方法>

講義では始めに耳の構造と難聴の種類などについて説明がありました。音は集音器である外耳道を通り鼓膜を震えさせて、この原理で中耳のツチ骨、キヌタ骨により増幅し、さらにアブミ骨へと伝わり半規管、前庭神経へとつながり、そして内耳で音の振動を蝸牛のリンパ液へ伝え神経から脳へと伝わります。

どの部位が障害されたかで難聴は分類され 外耳・中耳では伝音難聴、内耳では感音難聴 になります。伝音難聴の治療として、鼓膜所 見とチューブ留置術や鼓膜形成術の動画も紹 介され、興味深いものがありました。感音難 聴には突発性難聴、メニエール等があり、メニエールは非定型例の蝸牛型(めまい発作 無)、前庭型(めまい発作反復する)もある 様で、今まで一つと思っていたメニエールの 治療がなかなか難しいのも理解ができまし た。その他ダイビング時や力を入れた時にお こる外リンパろうや薬剤性内耳障害などにも 注意が必要とわかりました(アミノ配糖体抗 生剤、アスピリン、ループ利尿剤、抗ガン剤 CDDPなど)。

難聴には遺伝子の影響によるものがあり、 何種類も原因遺伝子が見つかっており遺伝子





診断により予後の推測、治療の選択、難聴の 予防など、適確な治療ができるメリットがあ ると知りとても興味深く、又、加齢性難聴に も遺伝子や腫瘍が原因の場合もある為、放置 せず耳鼻科で診てもらうことが聴力を守るこ とにつながると思いました。加齢性難聴に対 しては補聴器を使用している場合、大きな声 を出さず、普通の声で相手に顔を向けて近づ けてゆっくり話すことが伝わる方法であると 気づかされました。

耳鳴りはそれによって不快な気分になり自律神経が乱れ、交感神経亢進となり動悸・冷や汗がおき不眠へとつながり、さらに悪循環を起こしていきます。耳鳴りは聴覚神経の内部で起きた事が脳で拡大しておきる為、耳鳴りの正確な知識を得ることで不当な恐怖や不安を取り除き、薬物療法も合わせて治療をし、上手に付き合っていくことが大切と知り、これからの服薬指示時にも患者さんへのアドバイスとして参考にしていきたいと思いました。

地区だより

第1回インスリン・GLP-1注入器および血糖測定体験セミナー報告

沖縄県病院薬剤師会糖尿病分科会 沖縄県立北部病院 薬局長 徳嶺 恵子

沖縄県立北部病院(以下、北部病院)と北部地区薬剤師会(以下、地区薬)との定例会議の際に、「北部地区で『針刺し体験セミナー』を沖縄県病院薬剤師会糖尿病分科会(以下、糖尿病分科会)と共催で開催してみませんか?」と、浅沼健一地区薬会長はじめ役員の皆様に提案しましたところ、「面白そうな研修ですね。やってみましょうよ!」と賛同いただき、平成28年11月20日(日曜日)、北部病院2階会議室に於いて、医療法人社団江頭会さくら病院薬剤部の虎石顕一先生を講師にお招きして「インスリン・GLP-1注入器及び血糖測定体験セミナー」を開催しました。

セミナーの前半では、各メーカーのインスリン注入器と血糖則定器の操作手技説明を受け模擬操作を行ったあと、実際に自分のお腹に針を刺してみるという体験を行いました。注射針は326×6mm、326×4mm、346×4mmの3種類と、勇気がある挑戦者に306×8mmが準備されました。実際に自分に刺すとなると、皆さんハラハラ・ドキドキしながら体験してい

ましたが、太さや長さの違いを体験したこと で毎日注射をしている患者さんの気持ちが理 解できたようです。

後半は、「血糖値の表す意味と食事パターンー血糖測定はTDM-とインスリン注入器の特徴―補助具の活用・障がいの体験ー」と題して虎石顕一先生から、血糖値スパイクと血糖測定の意義、インスリン製剤のエアー抜きのコツや先生が開発されたインスリン注射用の補助具の紹介、身近にある用具を補助具へ活用する方法など、障がいのある患者さんの各々の状況にあわせたデバイスの選択のポイント等についてご講演いただきました。その後、実際にエアー抜きの体験と補助具を使った体験を通して、個々の患者さんにあわせて指導を行うことの重要性を認識されていました。

研修の際に、参加者の皆様に回答いただきましたアンケートの結果を以下に報告いたします。(文章で回答いただいたものは、回答者の記載通りに載せております。)

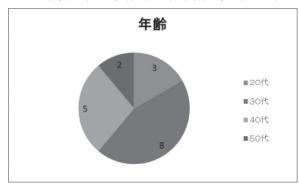


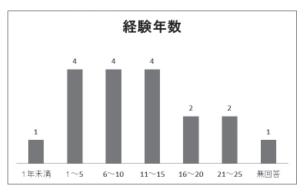
回答者 18名 (男性9名、女性9名)

- ◆所属 調剤薬局薬剤師 11名 病院薬剤師 6名 無回答 1名
- ◆糖尿病療養指導士の資格

CDEJ(日本糖尿病療養指導士) 1名

OCDEL (沖縄県地域糖尿病療養指導士) 1名





【セミナー前の質問】

(1) インスリン (又はGLP-1)を調剤したことがありますか?

はい 15 いいえ 3

(2) インスリン注入器を袋から出して触ったことがありますか?

はい 13 いいえ 5

(3) インスリン注入器に針を取り付け、インスリンを出したことがありますか

はい 11 いいえ 7

(4) あなたが糖尿病になりインスリン療法を指示されたとしてインスリン自己注射を今受け入れることができますか

できる 10 出来ればやめたい 7 絶対にいや 1

(5) 本日インスリン自己注射用の針を自分に刺して痛みを体験したいと思いますか

思う 15 思わない 1 無回答 2

(6) 今までに血糖測定をしたことがありますか

ある 13 ない 5

「ある」とお答えいただいた方、その時の感想をお聞かせ下さい。

- 大変だなと思いました
- ・随分以前なのですが、痛みもなく簡単だったことを覚えています
- 痛みとしては強くはないが、日々行うとなるとしんどいと思う
- 楽しかった
- 初めて行った時はなかなか血が必要量でずに困った
- ・日内変動をみようと思い何度も指に針を刺したので指先が穴だらけになり悲しくなりました
- ・予想外に痛くなく、測定結果も早かった
- 思ったより痛くなかった
- ・思ったより痛みは感じなかった
- ・強い痛みもなく、自己の体調と異なる値の確認に満足あり

「ない」とお答えいただいた方、血糖測定の印象をお聞かせください

- 痛そう
- ・痛みを伴うため、継続して行うことにためらいがある

【セミナー後の質問】

(7) インスリン療法を指示されたとしてインスリン自己注射を受け入れられることができますかできる 12 できればやめたい 6 絶対にいや 0 インスリン自己注射用の針を実際に刺した感想をお聞かせください

刺してない 0

痛い 14 痛くない 5

(8) 針を実際に刺す講習会について、今後も続けたほうがよいと思いますか 思う 18 思わない 0

(A) 握力低下患者の体力を疑似体験してからの感想

A-1 今後インスリン自己注射指導の際どのようなことが役立つと思いますか

- ・補助具の必要性の説明が上手くできると思った。患者の状態をまず考えることも
- ・メーカーによって補助具があるため理解あり
- ・視力、握力低下の方に補助具の活用も念頭において、投薬に役立てたい
- ・自己注が難しい際に様々な器具があることもアドバイスできるようになった
- ・当院では補助器具が少ないため、今回の体験はとても有意義でした
- ・患者の気持ちがわかった。障がいがあった場合は、補助器、重要な役割になると感じた
- ・デバイスの存在を始めて知った。使用状況を伺い今後は提案できると思う
- A-2 内服薬や外用薬の調剤において握力低下の疑似体験はどのような時に役に立つと思いますか
- ・握力チェックなど行い、手技問題ないか確認したいです
- ・ 今まで投薬するだけのところを打ち方の再確認や、より握力がいらない注射器などの指導が できる
- ・一人暮らしや老老介護の方への指導に役立つ
- ・まだインスリン注の投薬はしたことがないが補助器具の使い方、握力低下の見極めを今後の 投薬の際に生かしていきたい
- (9) インスリン (GLP-1)の自己注射指導ができるようになりましたかできる 14 できない 1 どちらともいえない 2 「人を指導する場合繰り返し学習する必要あり」とのコメント記載者 1名
- (10) 血糖測定の手技はいかがでしたか

簡単 10 ふつう 7 難しい 1

(11) 血糖測定を体験しての感想をお聞かせください

- ・出血が少ない場合に絞り出さないように指導することが大変参考になりました
- ・インスリン注射器を実際に扱うのは初めてだったので大変勉強になしました
- ・針刺し体験できて、患者さんの気持ちが少しわかることができてよかったです
- 初めてだったがとても簡単で参考になった
- 思っていたよりも痛かった
- 思っていたよりも痛みがあった
- ・デバイスの違い、針の違い等、薬剤師として大切な"区別"ができるようになったと思う。 ありがとうございます
- ・以前体験した時と異なり、全く痛みを感じなかった
- ・新しい機器を使わせていただいてよかったです。患者様により良いものを紹介していこうと 思います
- ・実際に器具、針の使用は初めてでとても勉強になりました
- ・毎日行うのは少しつらいかなと思いました
- 痛くなかった
- ・定期的に測定していくため、痛みの理解ができた。又、廃棄についても 指導も必要と思う

以上が、参加者のアンケート回答結果です。 「毎日ちゃんとうっているのに血糖が安定 しない」、「インスリンが足りなくなる」、「注 射がうちにくいのでやりたくない」等、患者 さんの訴えがあった時には、患者さんと一緒 に実際にインスリン製品に触れて患者さんの 操作・手技を確認しながら指導を行うと、よ り安心で安全な薬物療法をサポートできるの ではないかと思います。

アンケート回答の中にもありましたよう に、今回のような「体験セミナー」は、参加 者からは、「今後も続けたほうがよい」と好 評の回答をいただきました。これからも、病薬と地区薬で共に楽しく学べるセミナーを開催できればと思います。

このセミナーは糖尿病分科会とインスリン製剤メーカー3社と血糖測定器メーカー1社と共催で開催しましたが、講師への謝礼をはじめ運営費用はすべて「会員のためになる研修会なら金は惜しみません!」という太っ腹な地区薬が全て準備してくださいました。セミナーを提案しました糖尿病分科会メンバーー同、地区薬会員の皆様に心より感謝いたします。

(お知らせ)

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!

年々、地区(支部)、部会の活動が活発化しております。 是非"おきなわ薬剤師会報"へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告 以外の情報も歓迎します!

啓発・普及活動

むつこ先生 ありがとう!

八重瀬町立東風平小学校における学習支援「職業インタビュー」

日時: 平成29年2月10日(金) 13:30 ~ 15:30 会場: 八重瀬町立東風平小学校 体育館

> 八重瀬町教育委員会 生涯学習文化課 学校支援地域事業本部コーディネーター 嘉数 いずみ・喜久里 里奈



八重瀬町では、平成23年度に学校支援地域本部がスタートし、地域で学校を支援する「地域で育てよう未来の宝」をコンセプトに活動しています。今回、初めて沖縄県薬剤師会から講師派遣いただいた事業の紹介をします。

東風平小学校の4学年児童(168名)が総合 的な学習の時間として、「職業インタビュー」 を2月10日金曜日に体育館で実施されました。

11月には家族や知人の職場で職場体験を終えた子供たち。さらにいろいろな職業の方々のインタビューを通して、子ども達に夢や希望を持たせ、将来自分がなりたい職業について考えることを目的としています。

この日は、制服を着用した消防士・パイロット・警察官・パティシエールやネイリスト・看護師・弁護士・ハンドボール選手(琉球コラソン)・発掘家・お笑い芸人など24の多彩な職種の28名の方が参加しました。時間の制約があり、子ども達がインタビュー出来るのは5職種です。8分のインタビュー時間を無駄にしないように事前に聞きたい内容を書き出

して臨みます。また、インタビュー終了後に は壁新聞を作成しインタビュー出来なかった 職業の情報も共有します。

そこに、学校薬剤師の玉寄睦子先生が参加 してくれました。

白衣姿の先生に最初、緊張していた子ども 達も優しく質問に答えてくれる先生に親しみ をもったようで児童からの感想には「白衣が 決まっていました!」「楽しかったです。」や ドラマで薬剤師がカッコイイなぁと思ってい たら来てくれて嬉しかったなどの声も聞か れ、先生のお人柄が伝わりました。

お話しでも、「学生時代に植物や顕微鏡を見るのが好きでした。薬剤師になる勉強をしていたら自然に面白くなって薬剤師になった。でも薬剤師になるにはいっぱい勉強をしなくてはいけない」と子ども達は薬剤師に親しみを持ち、仕事は刺激、励みになるもので、大変と思うよりもやっていて良かったことの方が大きい、「ありがとう」と感謝された時には嬉しいなどと、やりがいのある仕事



24職種の職業インタビューが行われた



学校薬剤師へのインタビューには、玉寄睦子氏が応じた

なんだと子ども達は感じたのではないでしょうか。

薬剤師の仕事で、薬物の取り締まりをする麻薬Gメンがある話もされていて、今は分からないかもしれない子ども達が将来、麻薬という言葉を聞いた時に思い出してくれるだろうと麻薬防止の啓発活動への繋がり、また命につながる仕事であり、命を預かる重みも子ども達へ伝わったのではないでしょうか。

最後のあいさつで、「時々、学校薬剤師と して学校に来ていますが今日は、子ども達と お話しが出来て嬉しかったです。」という言 葉に子ども達が「むつこ先生」と呼んでいた 親しみやすさを感じました。

「職業インタビュー」は、2時間弱という短い時間でしたが、子ども達は普段、接することの少ない大人から職業のことを学ぶだけでなくそれ以上の貴重なお話しが聞けたと思います。

今回、講師を派遣いただいた沖縄県薬剤師会事務局の大城さん、多忙な中ご参加いただいた玉寄睦子先生に感謝いたします。今後も、子ども達のために暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

啓発・普及活動

沖縄県老人クラブ連合会 健康づくり支援事業 「薬の正しい飲み方」講演会報告

日時:平成29年2月20日(月) 13:00~15:00

会場:那覇市石嶺団地 自治会事務所

去る2月20日(月)石嶺団地自治会事務所にて、当連合会主催のもと、那覇地区薬剤師会副会長の吉田洋史先生をお招きして「薬の正しい飲み方」についての講演会が開催されました。

沖縄県老人クラブ連合会の「健康づくり支援事業(講師派遣事業)」は、老人クラブ活動のより一層の活性化を図り高齢者の健康づくり等を推進することにより明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的として、各市町村老連に講師の先生を派遣する事業ですので、当那覇地区老人クラブ 連合会もぜひ、会員の皆さんに、お薬の知識を学んでいただき健康づくりに役立てていただきたいとの思いで開催に至りました。

今回受講した内容は、①薬剤師について、 ②薬局について、③医療分業について、④お 薬手帳について、⑤ジェネリック医療品につ いて、⑥薬の使い方について、⑦一般医療薬 那覇地区老人クラブ連合会 古宮 啓子



品について、⑧これからの薬局⑨最近の話題 について、吉田先生が配布資料とともにパワーポイントを使いながらご丁寧に講話して下さいました。

上記の内容ではじめて聞く情報であったり、関心が高かった内容について、下記のとおりまとめてみました。

- ○薬局について、薬局は専門家である薬剤師 さんが常時いて、薬や健康のアドバイスを してくれるので かかりつけ薬局を選んで 持つことが良い。
- ○かかりつけ薬局がある場合、使用している 薬を1カ所で管理している。薬の飲み合わ せをいつもチェックできるということを学 んだ。ただし、薬店・ドラッグストアには、

薬剤師がいたり、いなかったりするので、 薬局と薬店・ドラッグストアの違いを理解 する。

- ○お薬手帳について、きちんと管理している 方が多かったのですが、お薬手帳が震災の 時にも役立ったという先生のお話を聞き、 改めてお薬手帳の大切さを学んだ。
- ○ジェネリック医療品について、聞いたことはあるが、後発医療品であることを学んだ。 今後も繰り返し学んで、知識を深めるべきだと思った。
- ○薬を服用する時の7つの約束の中で、他の 人からもらって服用したり、他の人に薬を あげたりしたらいけないということを学ん だ。
- ○薬は、水かぬるま湯で服用しましょう。お茶やジュース等で薬を飲むと効き目が弱くなったり(お茶)、薬が効くのに時間がかかったり(牛乳)、効き目を変えてしまうことがある(ジュース)。また、水の量が少ないと、のどや食道の途中で薬が張り付いてそこで溶けて潰瘍を起こすことがあるので、コップ1杯の充分な量で飲むことが良いことを学んだ。
- ○薬の保管について、いつも同じ所に保管 してすぐに取り出すことができるようにす る。殺虫剤や防虫剤とは絶対一緒に保管し ない。疲れた時に間違ってとってしまった ら大変ということに気づかされた。
- ○くすりの飲み合わせについて、「薬を服用 しながら健康食品を飲んでいますが、大丈 夫ですか?」の質問に、服用している薬に

- よって制限がかかる場合もあるので(青汁が飲めなかったり、納豆が食べられなかったり)、やはり、薬剤師さんに相談した方が良いということを学んだ。
- ○今後の薬局の在り方について、患者はどの 医療機関を受診しても身近なところにある かかりつけの薬局にいくという考え方を学 んだ。

高齢者にとって使用する機会の多い薬は、 その知識を充分理解し相談できる薬剤師さん が身近にいると精神的にも安心できると思う ので、ぜひ、かかりつけ薬局を持っていただ き信頼できる薬剤師さんを見つけていただき たいと思いました。

今回は、首里支部の石嶺石泉会の皆さんを中心に鳥堀・桃原の会員さんにも参加していただきましたが、講演会開催を周知する期間が短く小人数での受講でしたので、次回、受講の機会がある際には、もっと大勢の皆さんで受講できたらと思いました。吉田先生が、話すスピード等を気にされながらご丁寧に説明して下さいましたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

食事をしっかり摂り、薬を正しく飲み、適度な運動・睡眠をとり、老人クラブの目的である仲間づくりを通して生きがいづくりと健康づくりで高齢者の皆様お一人お一人が今後の活動に花を咲かせていただきたいと思います。

那覇地区薬剤師会様、沖縄県薬剤師会様、 貴重なご講演本当に有難うございました。





講師:吉田洋史氏

薬事情報おきなわ No.244

2017年 2·3月号 : Vol.32 No.2

薬事情報センター TEL: 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

<u>● 業</u>	所医薬品 平成29年2月15日付			1	T
区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症•効能効果
	テクフィデラカプセル120mg (BG-12/120mg)	120mg1カプセル	2,037.20	バイオジェン・	フマル酸ジメチル:多発性硬化症治療剤(多発性硬化症の再発予防及び身体的障害の進行抑制)(新有効成分)
	テクフィデラカプセル240mg (BG-12/240mg)	240mg1カプセル	4,074.40	ジャパン	
	リンゼス錠0.25mg (@725)	0.25mg1錠	92.40	アステラス製 薬	リナクロチド:グアニル酸シクラーゼC受容体アゴニスト (便秘型過敏性腸症候群)(新有効成分)
	ヤーズフレックス配合錠 (DS)	1錠	275.00	バイエル薬品	ドロスピレノン・エチニルエストラジオールベータデクス:子宮内膜症に伴う疼痛・月経困難症治療剤(子宮内膜症に伴う疼痛の改善、月経困難症)(新効能・新用量・剤型追加)
内	オテズラ錠10mg (APR/10)	10mg1錠	324.20		アプレミラスト: PDE4阻害剤(局所療法で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬)(新有効成分)
用	オテズラ錠20mg (APR/20)	20mg1錠	648.40	セルジーン	
薬	オテズラ錠30mg (APR/30)	30mg1錠	972.60		
	ジメンシー配合錠 (BMS 224)	1錠	11,528.80	ブリストル・マ イヤーズスクイ ブ	ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラブビル 塩酸塩: 抗ウイルス剤(セログループ1(ジェノタイプ1) のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイル ス血症の改善)(新有効成分・新医療用配合剤)
	ベムリディ錠2.5mg (GSI/25)	25mg1錠	996.50	ギリアド・サイ エンシズ	テノホビル アラフェナミドフマル酸塩: 抗ウイルス化学療法剤(B型肝炎ウイルスの増殖を伴い肝機能の異常が確認されたB型慢性肝疾患におけるB型肝炎ウイルスの増殖抑制)(新有効成分)
	リアメット配合錠 (CG NC)	1錠	242.30	ノバルティス ファーマ	アルテメテル・ルメファントリン: 抗マラリア剤(マラリア) (新有効成分・新医療用配合剤)
	オビドレル皮下注シリンジ250 μ g	250μg0.5mL1筒	2,910	メルクセローノ	コリオゴナドトロピン アルファ(遺伝子組換え):遺伝子組換えとト絨毛性性腺刺激ホルモン製剤(視床下部-下垂体機能障害に伴う無排卵又は希発排卵における排卵誘発及び黄体化 生殖補助医療における排卵成熟及び黄体化)(新有効成分)
	モゾビル皮下注24mg	24mg1.2mL1瓶	581,972	サノフィ	プレリキサホル: CXCR4ケモカイン受容体拮抗剤(自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の抹消血中への動員促進)(新有効成分)
注射	パーサビブ静注透析用2.5mg	2.5mg2mL1瓶	873		エテルカルセチド塩酸塩:カルシウム受容体作動薬 (血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)(新有効 成分)
薬	パーサビブ静注透析用5mg	5mg2mL1瓶	1,283	小野薬品工業	
	パーサビブ静注透析用10mg	10mg2mL1瓶	1,885		
	キイトルーダ点滴静注20mg	20mg0.8mL1瓶	84,488	MSD	ペムブロリズマブ(遺伝子組換え):-抗悪性腫瘍剤-ヒト化抗ヒトPD-1モノクロナール抗体(根治切除不能な悪性黒色腫 PD-L1陽性の切除不能な進行・再発の
	キイトルーダ点滴静注100mg	100mg4mL1瓶	410,541	INIOD	非小細胞肺癌)(新有効成分)

^{*} 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



●東大病院、男児に薬誤投与 翌日死亡(共同通信 2月 1日)

東大病院は1月31日、看護師が入院患者に薬剤を誤投与する医療事故が2015年にあったと発表した。病院によると、多臓器の障害があり重篤となっていた男児に対し、胃に内服薬を注入する際に発生。看護師は内服薬を準備後、電話対応などのため作業をいったん中断、再開する際、別の患者の内服薬と取り違えた。取り違えたものには氏名の記載がなかった。弁護士によると、抗てんかん薬など13種類の薬剤が多量投与された。投与の十数分後に容体が悪化し、ミスが発覚した。病院は外部委員を含む事故調査委員会を設置。死亡に影響を与えた可能性があるとする一方で「どの程度影響したかは判断できない」とした。

●中2男子が転落死か 東京、リレンザを服用(共同通信 2月15日)

東京都で14日、リレンザを服用していた中学2年の男子生徒(14)が4階の自室から転落し、死亡していたことが分かった。警視庁大井署は事故の可能性が高いとみて詳しい状況を調べている。生徒は病院でインフルエンザの診断を受けて薬を服用し、自室で寝ていたため、母親は一時外出していた。自室の窓が開いており、その真下に転落したとみられるという。

●スイッチOTC成分、医療用から廃止を一セルフM発展 のために提案(薬事日報 2月21日)

セルフメディケーション推進協議会 (SMAC) は、今年から始まったセルフメディケーション税制ではセルフメディケーションの発展は難しいとし、スイッチOTC薬成分の医療用を廃止することを提案した。同税制は、健康の維持増進および疾病予防への取り組みとして一定の取り組みを行う個人が、今年1月から5年間、自己または自己と生計を一にする配偶者その他の親族にかかるスイッチOTC薬の購入の対価を支払った場合に、その年中に支払った対価が1万2000円を超える時は、その超える部分の金額(最大8万8000円)について、その時の総所得金額等から控除するというもの。

●耳の手術で禁止の消毒液使用 市立甲府病院(山梨日日新聞2月22日)

市立甲府病院で耳の手術をする際、使用禁止の消毒液を使ったため患者2人の難聴が悪化する医療ミスがあったことが21日、分かった。使用した消毒液は「ヒビテン・グルコネート液」、耳の手術などで使うと内耳への神経損傷を起こすとして1970年代に学会が使用を禁止しており、添付文書でも耳への使用を「禁忌」と明記している。病院は、11年6月、耳鼻咽喉科で鼓膜の穴をふさぐ手術の際、「液が透明で視認しやすい」ことなどから消毒液を「ヒビテン・グルコネート液」に変更。同手術は15年6月に70代男性、16年2月に50代女性がそれぞれ受け、術後の経過の悪化を訴えた。病院側は手術の映像やカルテなどを検証し、昨年3月、「ヒビテン・グルコネート液」の使用が原因と結論付けた。

●疑義照会不要で合意書-市薬剤師会313薬局と運用~ さいたま赤十字病院(薬事日報2月22日)

埼玉県のさいたま赤十字病院は、事前に取り決めた7項目について院外処方箋の調剤時に疑義照会を不要とする合意書を地元のさいたま市薬剤師会と交わし、4月から運用を開始する。疑義照会を不要とするのは、▽成分名が同一の銘柄変更(変更不可の処方を除く)▽内用薬の剤形の変更▽内用薬における別規格製剤がある場合の処方規格の変更▽無料で行う半錠、粉砕あるいは混合▽無料で行う一包化▽貼付剤や軟膏類の包装・規格変更▽その他合意事項——の7項目。

●かかりつけ薬剤師指導料、届け出は6割弱-「3年以上 の勤務経験」が壁に(薬事日報2月23日)

日本保険薬局協会 (NPhA) は17日、2016年度会員管理薬剤師アンケート結果を発表した。かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準に係る届け出は全体の6割弱となった。また、かかりつけ薬剤師指導料等の届け出要件で満たすことができなかったものとしては、「3年以上の勤務経験」が最も多かった。NPhA会員薬局管理薬剤師を対象に、1月18日~2月6日に実施、3248薬局から回答を得た。

●一般名処方が3割を突破-薬剤師による変更調剤進む (薬事日報 2月24日)

後発品の使用促進策に関する2016年度診療報酬改定の影響を検証した報告書がまとまった。保険薬局対象の調査では、一般名処方の割合が31.1%と3割を突破。昨年7~9月の後発品の調剤割合は65.5%と、前回調査から4.6ポイント上昇した一方、後発品名で処方された医薬品で「変更不可」の割合は7.0%と前回調査から8.9ポイントも大きく減少した。後発品調剤に積極的に取り組む薬剤師は7割を超えた。

●生活保護者への後発品使用目標が達成目前に(薬局新聞 3月16日)

生活保護受給者における後発医薬品の使用割合が約7割に到達した。生活保護受給者における後発医薬品の使用促進については平成25年、26年の法改正で、後発品の使用を促すことが明確化。医療を担当する医師が医学的知見に基づき、後発品を使用することが可能であると判断した場合、原則として後発品を使用することが求められている。

●後絶たぬ薬剤の投与ミス 複雑化、人員不足も影響か (共同通信 3月16日)

2015年に全国の医療機関から日本医療機能評価機構(東京)に報告があった薬剤絡みの医療事故は260件で、量や種類の間違いが目立つ。医療現場ではチェック体制を強化するなどの対応を取るが、「薬の使用方法などが複雑化し追いつかない」との声も。人員不足が影響しているとの指摘もある。

●鎮静剤など投与ミス4件 日大板橋病院、心肺停止も 15~16年 (共同通信 3月16日)

日大板橋病院で2015~16年、患者3人への鎮静剤などの 投与ミスが4件相次いでいたことが分かった。うち1件は、 鎮静剤を急速投与された70代男性が一時心肺停止となる 重大事案。また同じ女児に対し、鎮静剤と解熱剤の過量 投与が短期間に続いて起きていた。厚生労働省は既に病 院関係者から事情を聴いており、今後対応策などを詳し く確認する。 ■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA からの医薬品適正使用のお願い http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html

No.11 2017年3月

PMDAからの医薬品適正使用のお願い

(独)医薬品医療機器総合機構



No.11 2017年3月

ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存性について

【患者の皆様へ】

この資材に掲載されている注意喚起は医療従事者向けの情報です。服薬中の患者さんは医師又は薬剤師にご相談ください。

自己判断で服薬を中止したり、用量を減らしたりされないようお願いいたします。

ベンゾジアゼピン受容体作動薬には、承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに身体依存が形成されることで、減量や中止時に様々な離脱症状があらわれる特徴があります。

〈主な離脱症状〉 不眠、不安、焦燥感、頭痛、嘔気・嘔吐、 せん妄、振戦、痙攣発作

等

ベンゾジアゼピン受容体作動薬を 催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合

は、以下の点にご注意ください

- ◎漫然とした継続投与による長期使用を避けて ください
 - ・承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに依存が形成されることがあります
 - ・投与を継続する場合には、治療上の必要性を検討してください
- ◎用量を遵守し、 類似薬の重複処方がないことを確認してください
 - ・長期投与、高用量投与、多剤併用により依存形成のリスクが高まります
 - ・他の医療機関から類似薬が処方されていないか確認してください
- ◎投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に 減薬・中止を行ってください
 - ・急に中止すると原疾患の悪化に加え、重篤な離脱症状があらわれます
 - ・患者さんに、自己判断で中止しないよう指導してください

■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA からの医薬品適正使用のお願い http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html

No.11 2017年3月

「代表的な症例」

症例1 30歳代 男性 原疾患:社会不安障害

社会不安障害に対し、エチゾラム1mg/日、スルピリド50mg/日投与開始し、約1年8ヵ月後に症状悪化のためエチゾラム2mg/日へ増量。その後、患者より「大分楽です」と言われたためさらに約1年6ヵ月間継続処方。エチゾラムを2~3日間中止したところ、強直間代発作(意識消失、痙攣、朦朧状態)、嘔気・嘔吐あり。てんかん発作の既往歴はない。

症例2 40歳代 女性 原疾患:不眠症、潰瘍性大腸炎 合併症:不安、しびれ

不眠に対し、ゾピクロン7.5mg/日を約4ヵ月間服用後、ゾルピデム酒石酸塩5mg/日投与開始、その後ゾルピデム酒石酸塩5mg/日頓用、ロルメタゼパム1mg/日、ジアゼパム2mg/日を追加し、3剤で約2週間服用。睡眠薬内服により不眠は改善したものの「睡眠薬に頼りたくない、やめたい」との思いから、3剤を自己中断。1週間後、不眠悪化、頭痛、羞明、気分不快症状が出現し、中止前の薬剤(ロルメタゼパム1~2mg/日、ジアゼパム2mg/日)を再開。効果不十分のためゾルピデム酒石酸塩10mg/日再開。エチゾラム0.5mg頓用、ジアゼパム2mg頓用、トリアゾラム0.25mg頓用で追加。医師の指示量よりも多い量で自己調整していた。耐性、離脱症状、睡眠薬の中止や制限の不成功より、睡眠薬依存症と診断。クロルプロマジン塩酸塩12.5mg/日を併用しながら睡眠薬を漸減。約3ヵ月後、睡眠薬依存症は軽快。

本邦で承認されているベンゾジアゼピン受容体作動薬

本がで承認されているペンノングでにン文各体					
販売名					
コンスタン、ソラナックス 他					
ルネスタ					
ユーロジン 他					
デパス 他					
セレナール 他					
ドラール 他					
セパゾン					
リーゼ 他					
メンドン					
コントール 他					
セルシン、ホリゾン、 ダイアップ 他					
アモバン 他					
マイスリー 他					
ハルシオン 他					
エリミン					
ソメリン					

一般名	販売名
フルジアゼパム	エリスパン
フルタゾラム	コレミナール
フルトプラゼパム	レスタス
フルニトラゼパム	サイレース、ロヒプノール 他
フルラゼパム塩酸塩	ダルメート
ブロチゾラム	レンドルミン 他
ブロマゼパム	レキソタン 他
メキサゾラム	メレックス
メダゼパム	レスミット 他
リルマザホン塩酸塩 水和物	リスミー 他
ロフラゼプ酸エチル	メイラックス 他
ロラゼパム	ワイパックス 他
ロルメタゼパム	エバミール、ロラメット
クロナゼパム	リボトリール、ランドセン
クロバザム	マイスタン
ミダゾラム	ミダフレッサ
ニトラゼパム	ネルボン、ベンザリン 他

本情報の留意点

*「PMDAからの医薬品適正使用のお願い」は、薬機法に基づき報告された副作 用感染症症例等の中から、既に添付文書等で注意喚起しているものの、同様の報 告の減少が見られない事例などについて、医薬品の適正使用推進の観点から医 療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。

*この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

*この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す ものではなく、医薬品の適正使用を推進するための情報として作成したものです。 どこよりも早く「PMDAからの医薬品 適正使用のお願い」を入手できます! 登録はこちらから。





^{発行者:} Pmdc

独立行政法人 ■ 医薬品医療機器総合機構 お問合わせ先: TEL, 03-3506-9435 (安全第二部) この資材は医療従事者向けです。

患者さんはかかりつけの医師又は薬剤師にご相談ください。

2〜3月に薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

Q:心療内科医からの質問。足の指の間の水虫を診ているが、抗真菌剤のクリーム、軟膏、液剤、どれを使っても、なかなか乾燥しない。パウダータイプの抗真菌剤はないですか?(薬局)

A:現在パウダータイプの抗真菌剤は販売されておりません。皮膚真菌症診断・治療ガイドラインでは、趾間型で、浸軟がひどく、糜爛しているような場合には、外用抗真菌薬で接触膚炎を起こしやすいため、糜爛部には亜鉛華軟膏などを塗布し、経口抗真菌薬の内服を行ない、糜爛面が消失してから外用抗真菌薬を使用するとした治療法を推奨している。抗真菌剤の内服薬は抗がん剤との併用が禁忌である薬剤や相互作用のある薬剤もあるため、使用の際は注意が必要である。

Q: クリーンベンチが無いところでのプリビナ点 眼液の小分けは問題ないのか。 (薬局)

A: クリーンベンチがある方が望ましい。ない時はできるだけ粉塵を吸着する環境で滅菌容器を使い、手袋をするなどを勧めている。1959年の発売当時は、処置を前提としており、小分けする想定はなかった。今後も少量容器の発売の予定はない。

参考:ノバルティスファーマ私信

Q:老人ホームで嚥下困難な患者に麻薬のパッチの処方を受ける予定だが、問題はないか。(薬局)A:介護施設であっても医療用麻薬の保管・管理は在宅と同様です。過度の管理によって患者が苦しむことのないよう配慮するとされている。沖縄県薬務疾病課に確認したところ、施設責任が問われるので、紛失等未然に防ぐため鍵などを使った管理が望まれる。

参考: 平成23年度版 医療用麻薬適正使用ガイダンス (厚生労働省)

Q:イソジンガーグル1回のうがいで何時間効果があるか。 (薬局)

A: 口腔内の常在菌 αストレプトコッカスの菌量がイソジンのうがいにより減少したが、1時間後にはもとに戻ったとする報告がある。1回10秒で3回うがいを行った効果と、1回5秒3回のうがいを比較したところ、10秒で行った方が効果が高かったが、その効果も30分でもとに戻ったという。以上の報告により、30分~1時間程度と考える。

Q:「ためしてガッテン」を見た患者からの質問があった。内容を教えてほしい。「眠剤と糖の血糖降下剤の新薬が出たと言っていた」「眠剤で血糖値が下がるんだよね?」(薬局)

A: 放送では、熟睡させる睡眠薬として「オレキシン受容体拮抗薬」のベルソムラ錠15mg (MSD) やロゼレム錠(武田)、ルネスタ(エーザイ)等の写真が出されました。熟睡すると、ストレスホルモンの分泌が減り、血糖値が下がるという話から、人によって解釈の違いが出てしまったようである。ベルソムラ錠の効能効果は「不眠症」であるため、「糖尿病」には適応外である。この件に関しては、

他府県でも同様の問い合わせが来ており、一部の 患者様に誤解を招く内容だったとも考えられる。 後日NHKより謝罪があった。

参考: [マスコミ情報]:スズケン「CLIcK-MI2」、 平成29年2月22日放送 NHK総合テレビ「ためし てガッテン」"血糖値を下げるデルタパワーの謎"

Q:エンシュア・リキッド1缶を1日2回に分けての処方がある。患者は室温で保存しているようだが、問題ないとするデータはないか。(薬局)A:開封後室温保存のデータはない。添付文書では、開封後は密閉し、冷蔵庫内で保存し48時間以内に使用するとされている。また、冷蔵庫内での開封後72時間の保存試験では、製剤内のビタミンCが継時的に減少し、48時間を超えると20%以上の減少が認められたと報告されている。

Q:保険薬事典(じほう)で、ムコソルバンL錠45mg が先発で徐放錠(2)、後発のアンブロキソール塩酸塩徐放0D錠45mgは(1)となっている。この数字の意味は?(薬局)

A: 発売の経過が関与している。アンブロキソール 塩酸塩徐放の先発医薬品として、1996年11月にカ プセル剤のムコソルバンLカプセルが発売された。 その後後発医薬品として2014年6月アンブロキソ ール塩酸塩徐放0D錠45mg、続いて2015年7月に先発 医薬品としてムコソルバンL錠45mgが発売となっ た。つまり、錠剤としてはアンブロキソール塩酸 塩徐放0D錠がムコソルバンL錠45mgより先に発売 されたため(1)となり、ムコソルバンL錠は後に発 売されたため(2)と記載されている。

Q: クラリチン、ナゾネックス点鼻液のドーピングの可否(薬局)

A: クラリチンは禁止薬物ではない。ナゾネックス 点鼻液については、局所使用なので、決められた 使用量、使用頻度であれば問題ありません。

Q:スポーツ選手が医師にドーピングのことを聞いてくるらしいが、夜間などの対応は?(病院)A:インターネットではgrobal dro*で24時間禁止薬の可否について、また日本薬剤師会作成のドーピングガイドブックでは使用可能薬剤を確認することができます。また、公益財団法人日本アンチドーピング機構(JADA)HPの「スポーツファーマシスト検索」からはスポーツファーマシストと直接相談することができます。

*米、カナダ、英および日本の4カ国で運営されているグローバルな薬の検索システム。薬の製品名や成分名から、その薬が禁止表に記載された成分を含んでいないか検索できるため、アスリート自身でもいつでも薬の使用の可否を確認できる。

[その他]

・処方箋の期限を延ばすときに、規定や決まりは ありますか? (医院)



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

2~3月の「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話:098-963-8935

●医薬品一般●

【質問】風邪でアスベリン、ソランタール、セフジニルを服用中だが、体の節々に痛みがある。整形外科からもらっているテプレノン、チザニジン、ロキソプロフェンを2時間位ずらして飲んでもいいですか?

【回答】ソランタールとロキソプロフェンはともに解熱鎮痛薬と言われるお薬に分類されます。重複投与となりますので、どちらかを服用するようにして下さい。胃粘膜を保護するテプレノン、筋肉のコリをほぐすチザニジンは一緒に飲んでも問題ないため、服用時間をずらす必要はありません。

【質問】モーラステープが沢山出してもらえなくなった。湿布薬は処方箋がなくても買えると言われたけど。

【回答】病院から処方される医療用の医薬品は、原則として処方せんに基づいて販売するものとなっているため、処方せんなしでの購入はできません。現在は1回の受診に対し、原則70枚までとなっています。モーラステープと同じ成分の湿布剤は0TC薬としても販売されているので、ドラッグストアでも購入可能です。

●安全性情報●

【質問】半年間1日1回アボルブを飲んでいたが、胸のはりが気になったので、医師に相談したところ1日おきになった。その後も症状は変わらなかったため、1か月後に服用を中止した。中止後4か月たった今も胸のはりが治らない。

【回答】薬剤が原因の場合は、薬を中止することで治ることがあります。早い方で1週間以内に回復、軽快することもありますが、数か月~6か月を要することもあります。また、服用中止後早期に乳頭部の痛みが軽減したが、硬くなった状態は4か月続いたとされる報告もありますので、もうしばらく様子をみて、症状が変わらないようでしたら担当医または専門医にご相談ください。

【質問】78歳の母の件。ベルソムラ、アトルバスタチン、アジルバ、セディールも服用しているが、薬店で苓桂朮甘湯という気持ちを和らげる薬も買ってきて飲んでいる。また、アジルバで血圧が下がりすぎたと思った時に、他の病院から処方されたバルサルタンを飲んでいるようだが、大丈夫ですか?

【回答】病院からも色々な薬が出されており、不安を取るためにセディールが処方されています。 苓桂朮甘湯はセディールと同じ様な作用のある漢方薬でもあり、副作用や飲み合わせについて確認する必要があります。服用中のお薬があって、一般薬を購入する際には必ず薬剤師にご相談ください。また、降圧薬については、今日はアジルバ、明日はバルサルタンなどといった服用方法は血圧

が安定せず、かえってよくありません。不安な事がありましたら、信頼できる医師に相談し、薬を正しく服用するようにして下さい。

【質問】中学3年生の娘にPMS (月経前症候群)の症状があり、1か月前からヤーズ (低用量ピル)を服用している。服用後少量の出血があったので、病院に相談したところ「少量であれば2か月は様子を見て」と言われた。ただ薬を飲み始めてから3~4回意識が遠のく感じがある。めまいなのか眠気のせいなのかわからない。病院からは眠気の副作用はないと言われた。

【回答】ヤーズには、1~5%の頻度で傾眠やめまいなどの副作用が報告されています。服用してからの症状ということですが、めまいなどは低栄養の食事や生活習慣が原因であることも考えられます。まずは、病院を受診して、服用を続けた方がいいのかもう一度相談された方がいいでしょう。

【質問】ピタバスタチンを飲んでいる。足首が太 くなると聞いた。本当ですか?

【回答】家族性高コレステロール血症の方に見られる症状ですが、血中のコレステロールが高くなると、アキレス腱肥厚といって、アキレス腱にエがってくることがあります。ご質問の足首が太くはったというのは、その状態をさしているのだと思われます。現在コレステロールを下げるお薬を服用中、コレステロール値も安定していると思われますので、安心されていいと思います。ピタバスタチンの服用により足首が太くなったという報告はありません。

【質問】2歳の娘が喘息で、いつもはツロブテロールテープをもらっていたが、今日別の病院からテオフィリンの飲み薬をもらった。飲ませた1時間後位から興奮状態、震え、吐いたりした。病院からは慣れるまではそういう状態があると言われたので、2回目を服用した。また同じような症状がでており、心配。

【回答】テオフィリンは個人差があり効果が出る量、副作用が出る量に違いがあります。症状があまりひどいようでしたら、副作用が強く出ている可能性がありますので、病院を受診してください。

●検査●

【質問】泌尿器科で検査をしたのですが、PSA検査って何ですか?

【回答】PSA検査は、前立腺がんを診断するだけでなく、治療経過観察中の再燃・再発を見つける上でとても有効な検査です。健康な人のPSAは通常2ng/mL以下です。加齢にともなう前立腺の肥大や細菌感染による炎症により増加することがあり、一般的に4ng/mL以下が標準値とされています。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇医薬ジャーナル 53巻 2号
- *睡眠科学の新潮流
- ◇医薬ジャーナル 53巻 3号
- *高コレステロール血症治療の現状と展望
- ◇エキスパートナース 33巻2月号
- *話題の最新トピックス だからナースはこうする!
- ◇エキスパートナース 33巻3月号
- *本当に知りたかった頻出ギモンQ&A
- ◇きょうの健康 2月号
- *脂質異常症 肺の病気
- ◇きょうの健康 3月号
- *睡眠の悩み 骨粗しょう症
- ◇月刊薬事 59巻2号 (臨増)
- *エキスパートが教える 薬の使い方×エビデンスの 調べ方
- ◇月刊薬事 59巻3号
- *がんの症状緩和 実践的ノウハウ
- ◇月刊薬事 59巻4号
- *心不全のキードラッグを使いこなす!
- ◇産科と婦人科 84巻2号
- *ここが知りたい 産婦人科周術期管理
- ◇産科と婦人科 84巻3号
- *Non-ARTの不妊症診療-体外受精なしでここまでできる
- ◇総合診療 27巻2号
- *The 総合診療ベーシックス
- ◇総合診療 27巻3号
- *これがホントに必要な薬40 総合診療医の外来自家 薬籠
- ◇調剤と情報 23巻 2号
- *臨床に活かす 漢方薬の考え方と選ぶコツ
- ◇調剤と情報 23巻 3号
- *小児アトピー性皮膚炎
- ◇治療 99巻 2号
- *乳幼児健診のコツ
- ◇治療 99巻 3号
- *マイナーディジーズ
- ◇日経ドラッグインフォメーション 232号
- *自信が持てる! 妊婦・授乳婦の服薬指導
- ◇日経ドラッグインフォメーション 233号
- *どうする?困った患者
- ◇日経メディカル 591号
- *120まで下げるべき?厳格降圧時代の高血圧診療

- ◇日本医事新報 4839号
- *打つ手あり! IBD治療の展望
- ◇日本医事新報 4840号
- *遠隔医療の現状とこれからの展開
- ◇日本医事新報 4841号
- *誤嚥性肺炎への抗菌薬適正投与の方法
- ◇日本医事新報 4842号
- *がんによる消化管狭窄へのステント留置
- ◇日本医事新報 4843号
- *「脳―心―腎連関」を整理する
- ◇日本医事新報 4844号
- *医療不信患者への対処術〜強まる逆風に、医師はど う立ち向かうべきか〜
- ◇日本医事新報 4845号
- *がん化学療法中の心血管系副作用にどう対処するか
- ◇薬局 68巻2号
- *不妊と薬
- ◇薬局 68巻3号
- *痤瘡と痤瘡様皮疹のマネジメント

【今月の論文等】

- ■薬物療法■
- ► 適応外使用の処方せんの読み方 (80) 不育症 月刊薬事59巻3号p.177
- ► 適応外使用の処方せんの読み方 (81) ギャンブル依存症 月刊薬事59巻4号p.199
- ► 在宅医療:オピオイドの切り替えに伴う処方提案 日経ドラッグインフォメーション 232号p. PE037
- ▶肺炎クリニカルパスと抗菌薬適正使用への薬剤師の 関わり

医薬ジャーナル 53巻2号p.135

- ▶年少児の便秘に浣腸は適切か? 日本医事新報 4839号 p.61
- ►国内における梅毒治療法と感染拡大の防止策 日本医事新報 4840号 p.58
- ► 高齢者への抗菌薬投与の考え方と留意点 日本医事新報 4841号 p.34
- ► かかりつけ薬剤師のための処方推論 女性にコルヒ チンが処方……連日服用!? 調剤と情報23巻3号p. 123

■新薬■

▶新薬くろ~ずあっぷ レパーサ皮下注140mg シリン ジ・ペン

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

調剤と情報23巻2号p. 59

- ►新薬くろ〜ずあっぷ リクラスト点滴静注液5mg 調剤と情報23巻3号p.87
- ▶睡眠覚醒調節におけるオレキシンの役割医薬ジャーナル 53巻2号p.97
- ►注目の新薬情報 (13) ヌーカラ皮下注用100m g 医薬ジャーナル 53巻2号p.165
- ►注目の新薬情報 (14) レパーサ®皮下注140mgシリン ジ・ペン

医薬ジャーナル 53巻3号p.160

■安全性情報■

- ►ステロイド誘発性骨粗鬆症の対策 日本医事新報 4840号 p.53
- ▶妊孕性・性機能に影響を及ぼす不妊リスクのある医薬品

薬局 68巻2号 p.30

- ►中枢性のめまいにクロナゼパムが威力発揮 日経ドラッグインフォメーション 232号p. PE021
- ▶連載・リスクマネジメント〜院内での薬剤師の活動〜(111) インスリンスライディングスケールに関連したメ ディケーションエラーとその改善への取り組み 医薬ジャーナル 53巻2号p.127
- ►医薬品の微生物汚染とその対策 [10] 消毒薬 月刊薬事59巻3号p. 153
- ► 医薬品の微生物汚染とその対策 [11] 異物汚染 月刊薬事59巻4号p. 149
- ►イチから学びたい人のための副作用入門 [4] 副作 用情報活用の実際 月刊薬事59巻3号p. 104
- ►イチから学びたい人のための副作用入門 [5] 知っておきたい薬物相互作用の考え方・とらえ方 月刊薬事59巻4号p. 141
- ► 臨床判断 実践トレーニング 血糖値がなかなか落ち着かない患者 調剤と情報24巻2号p. 5
- ►クスリとリスク・11 薬剤性肺炎 総合診療27巻2号p. 230
- ►クスリとリスク・12 薬剤性血球減少 総合診療27巻3号p.355
- ►副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を 読み解く (58)
- 1.アピキサバンによる肝障害

- 2.高齢女性でカルシウム補充が認知症の発症リスクを 上昇させる可能性
- 3.PPI併用でカペシタビンの効果が減弱する可能性
- 4.ワルファリンによる腎症
- 5.米国の骨粗鬆患者が治療をためらう理由
- 6. 低用量アスピリンとオメガ-3脂肪酸の併用で上部消化管合併症リスクは上昇しない 医薬ジャーナル 53巻2号p.158
- ►副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を 読み解く (59)
- 1. オランザピンによる好酸球性心筋炎の可能性
- 2. 重度腎機能障害でSU薬による低血糖リスクが顕著に ト昇
- 3. ドキソルビシンに関連した心毒性のリスク因子
- 4. タモキシフェンとCYP2D6を阻害するSSRIs併用で死 亡リスクは上昇しない
- 5. イブルチニブとベラパミル併用による重度の下痢
- 6. イワベンケイの併用でロサルタンの代謝活性が経度 に低下

医薬ジャーナル 53巻3号p.152

■産科・婦人科■

▶男性不妊における各種治療薬の考え方・使い方と患者説明のポイント~非ホルモン療法・ホルモン療法・・ホスホジエステラーゼ5阻害薬産科と婦人科 89巻12号p.89

■服薬指導■

- ►せん妄症状で内服薬が変更された理由 日経ドラッグインフォメーション 232号p. PE033
- ► 逆流性食道炎の薬剤が変更になった会社員 日経ドラッグインフォメーション 232号p. PE039

■漢方薬■

- ▶咳嗽に対するエビデンス―麦門冬湯と清肺湯、神秘湯 月刊薬事59巻3号p.163
- ► 咽喉頭異常感症、喘息に対するエビデンス―半夏厚 朴湯、柴朴湯

月刊薬事59巻4号p.187

■その他■

► いざというとき役立つ国内・海外の三次情報、診療 ガイドライン

月刊薬事 59巻2号 p.219

► ノロウイルスに有効なアルコール消毒薬とは? 日本医事新報 4839号 p.62

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

男性不妊における各種治療薬の考え方・使い方と患 者説明のポイント~非ホルモン療法

薬局 2月号

非内分泌療法は男性不妊症の日常臨床におい て処方される頻度は高い。また, エビデンスレ ベルが高い治療法とは言えないが比較的安価で 副作用の少ない治療法である。精子のDNA障害 の改善や抗酸化作用を期待してビタミンB12, ビタミンC, ビタミンE, 近年ではコエンザイム Q10やカルニチンといった抗酸化力をもつサプ リメントも用いられる。漢方薬製剤は副作用も 少なく投与しやすいという利点がある。漢方薬 は多くの成分により構成されており、単独では 抗ストレス作用,細胞増殖作用,ステロイド様 作用など種々の作用を有する。男性不妊症は漢 方医学では「虚証」の状態と考えらえており、 補中益気湯、八味地黄丸、牛車腎気丸などが処 方される。精子濃度に対する有効率は順に32-70%, 21-50%, 0-67%, 運動率は22-63%, 0-50%, 0-14%。「実証」に有効とされる柴胡加 竜骨牡蛎湯の精子濃度は46-58%, 運動率は65-67%と報告されている。薬物療法のみに頼ら ず、精子形成に悪影響を及ぼす生活習慣があれ ば、適切な指導を行うことも重要である。

神戸大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学分野 千葉 公嗣 藤澤 正人

血清中性脂肪値の食前・食後の差に意義はあるか?

日本医事新報 4841号

Q:健診などで血清中性脂肪値を評価する際,食後の中性脂肪値は脂質異常症の評価の対象にならないが,患者の中にはその差が200mg/dL以上ある人も多くいます。これらの患者は脂質異常症と考えるべきなのでしょうか。

A:血清中性脂肪値としてのピークは食後3~4時間目とされています。一方,食後は、肝臓から超中性脂肪産生も亢進し、その結果、肝臓から超低比重リポ蛋白(very low density lipoprotein: VLDL)も分泌され、これも食後に血清中性脂肪値が増加する原因になると考えた,食後何時間目に採血したかによって血清性脂肪値は変化するし、その人に脂質大きえまた,食後何時間目に採血したかに脂質大きえまた,食後の時間目に採血したかに脂質大きえまた,食後の時間目に採血したの人に脂質大きえまた。食後ではするし、その人に脂質大きえまた。とも含めて、たとギー質があるかどうかということも含めて、たとギー質があるかどうかということも含めて、たとギー質があるがどうかということも含めて、たとギー質を表した。15.3、のテストミールを変して、第一性脂肪値は、平均150mg/dL未満(平均123mg/dL)の19人に食べさせたところ、血清中性脂肪値は、平均で1時間後に27mg/dL、2時間後に31mg/dL増加したと報告されました。

東京有明医療大学看護学部 林 洋

オセルタミビルの1歳未満児への使用量の根拠は?

日本医事新報 4843号

Q:タミフル®ドライシロップ3%の1歳未満児への使用が厚生労働省検討会議において「公知申請を行っても差し支えない」とされ保険適用となったが、従来の幼小児への1.5倍の投与量となったのはどうしてでしょうか。

A:承認された投与量は、公知申請(0歳児)と 従来(1歳以上)とで異なるためです。公知申 請では、「欧米等6カ国(米・英・独・仏・ 加・欧州)のいずれかの国で、一定のエビデン スに基づき,特定の用法・用量で広く使用され ていることが確認できる適応であって, 医療上 その必要性が高いもの」に関する要望の公募実 施を行うことにより、治験等を行わずに、効能 または効果等の承認が可能となります。こ め, 用法・用量も欧米等の記載に従います。今 回,本薬剤の対象は0歳児(新生児,乳児) したが、1歳以上の児においては既に国内で承 認されています。よって、0歳児には米国で承 認された1回3mg/kg, 1日2回(公知申請), 1 歳以上の小児には既に承認されている1回2mg/ kg, 1日2回(従来の投与法の適用)となりま

慶應義塾大学医学部小児科 新庄 正宜

高コレステロール血症の食事療法

医薬ジャーナル 3月号

軽症のコレステロール血症は、管理栄養士に よる栄養指導と食事療法単独で、1~3か月間に LDL(低比重リポ蛋白)-コレステロールが約10 ~15%低下するとされている。高コレステロー ル血症を是正する食事療法では、エネルギー摂 取を適正体重が維持できる量とした上で, 脂質 エネルギー比を 20~ 25%, 飽和脂肪酸エネル ギー比を 4.5%以上7%未満とし、トランス脂 肪酸の摂取を控え, コレステロール摂取量を 200mg未満とする。食物繊維と n-3系多価不飽 和酸の摂取を増やして充足させ、抗酸化物質を 摂取する。最近の日本人の食事摂取パターン は, 肉類, 動物性脂, 高脂肪乳製品の摂取が増 加している。日本動脈硬化学会では、肉の脂身 や動物脂(牛脂,ラード,バター)を控え, 魚、大豆、野菜、海藻、きのこ、果物、未精製 穀類を取り合わせる伝統的な日本食を推奨し, 減塩することが望ましいとしている。個々の患 者の多くが自ら調理できないことに鑑み、市販 食品や外食の利用の仕方について、教育するこ とが求められる。

> 日本女子大学家政学部食物学科 丸山 千寿子

Book Information

日薬斡旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

- ※日薬斡旋図書は会員価格で購入できます。
- ※会員価格のない書籍については定価での購入となります。
- ★印は県薬に見本があります。

4 ステップ 臨床力 UP エクササイズ ⑤感染症領域

【編著】勝見章男、三浦崇則【発行】じほう 【発行日】2017年1月 【版型/頁】A5判/224頁【定価】2.592円(税込)

領域別シリーズ第 5 弾!病院・薬局ともに関心の高い"感染症領域"を取り上げている。感染症の病態や病原微生物、抗菌薬などに関する基礎知識から、各抗菌薬の適切な使い方と注意点、患者情報の収集と評価方法、ガイドラインの解釈と患者個々への当てはめ方まで、「現場で絶対に押さえておきたいこと」を一冊に凝縮。各章を解説と理解度チェック問題で構成し、Step1~4 の4 ステップで基礎から臨床応用へと徐々に力が身につけられるようになっている。

ポケット英和医学用語・略語辞典 第19版

【編集】「ポケット英和医学用語・略語辞典」編集委員会【発行】南山堂【発行日】2017 年 1 月 【版型/頁】A6 変型判/340 頁 【定価】1,080 円(税込)

カルテ、検査依頼書、報告書など日常業務で頻繁に使用される用語と略語を収載、医療現場での用語理解の必要性から生まれたポケットサイズの辞典。毎改訂で新用語を追加、充実させている。 英和編約4.400語。略語編約2.200語収載。

○×問題でマスター薬理学 第2版

【執筆】山本浩一 【発行】医歯薬出版㈱ 【発行日】2017年3月 【版型/頁】B6判/214頁 【定価】2,592円(税込)

- ●2004 年発行の『○×問題でマスター薬理学』を全面的にリニューアルした改訂版
- ●設問は○×式で、薬理学の基礎知識から薬剤の知識までが自己学習しながら身につく好適書
- ●抗議の復習から国家試験まで対応できる必携書
- ●今改訂では、「放射線検査に用いる薬物とその特徴」の章を新たに追加。「重要なくすり」や「参照事項」などの補足と合わせて薬理学を理解できる。

インフォームドコンセントのための図説シリーズ 糖尿病 改訂版

【編集】河盛隆造、綿田裕孝 【発行】医薬ジャーナル社 【発行日】2017 年 1 月 【版型/頁】A4 変型判/88 頁 【定価】5,184 円(税込)

●好評の初版から8年、待望の改訂版発刊!患者の様々な「なぜ?」に対し、豊富なイラストと 図表を用いて分かりやすく解説。糖尿病のメカニズムから診断、合併症、治療法に至るまで、な お一層近いが深まる情報を一冊に。インフォームドコンセントのツールとして、糖尿病診療に携 わる医療スタッフを強力にサポート。

やさしいがん患者の代謝と栄養管理 ~病態の変化にそった実践法~

【編著】東口 高志 【発行】医薬ジャーナル社 【発行日】2017年1月 【版型/頁】A4判/164頁 【定価】3,996円(税込)

病態の変化に応じた代謝栄養学的な視点をもとに、適切な輸液・栄養管理の実践法を解説! がん患者の栄養管理に携わる全ての医療職に対して、未来につながる道標を指し示す必携の 一冊。

薬事情報センターの利用のしかた

〇業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

〇業務時間

(会員対象) 平日 午前:8時30分~12時 午後:1時~5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月~金)午前:9時~12時 午後:1時~5時

<u>※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は 098-963-8935</u> になります。 お気軽にご利用ください。

〇会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、 文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が 対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL: 098-963-8931 FAX: 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) * *

- ●メトホルミンに SU 剤(Gliclazide、Glipizide、Glimepiride、Glibenclamide)を追加した場合における低血糖:システマティックレビューとネットワークメタアナリシス (Br. J. Clin. Pharmacol. 82 (5) 1291 (2016. 11))システマティックレビューにより、metformin(≥1000mg/日)単剤療法の効果が不十分な 2 型糖尿病患者に追加投与した sulphonylurea (SU) 剤について評価した 12-52 週間の無作為化対照試験を特定した。さらに、実薬対照試験を含む無作為化対照試験を選択し、ネットワークを形成した。主要評価項目は低血糖とした。SU 剤の 13 試験と、経口非 SU 血糖降下薬の 14 試験(患者計 16260 例)を対象とした。これらの研究では低血糖が有害事象としてのみ報告されていた。metformin に新世代 SU 剤を追加投与する場合には、gliclazide の低血糖リスクが最も低かった。
- ●米国における薬物有害事象(抗凝固剤による出血など)のための救急外来受診:2013~2014年の公衆衛生サーベイランス (JAMA 316 (20) 2115- (2016. 11. 22/29))

National Electronic Injury Surveillance System-Cooperative Adverse Drug Event Surveillance プロジェクトに参加している米国の ED 58 ヵ所において、実行中の全国的な公衆衛生調査を対象とし、ED 受診に関与した薬剤を検討した。主要アウトカムは、ADE のための ED 受診およびその後の入院の国内加重推定とした。症例 42585 例からのデータに基づくと、2013 年-2014 年には 1 年間に ADE のための ED 受診 4.0 件/1000 例が発生し、ADE のための ED 受診の 27.3% が入院となった。抗凝固薬、抗生物質および糖尿病薬は、ADE のための ED 受診の推定 46.9%に関連し、出血(抗凝固薬)、中等度-重度のアレルギー反応(抗生物質)、中等度-重度の神経作用を伴う低血糖(糖尿病薬)といった臨床的に重大な事象を含んでいた。5 歳以下の小児では抗生物質、6-19 歳では抗生物質、続いて抗精神病薬の頻度が高かった。高齢者(65 歳以上)で、最も頻度の高かった 15 薬剤の中には抗凝固薬 4 剤(warfarin、rivaroxaban、dabigatran、enoxaparin) および糖尿病薬 5 剤 (insulin および経口薬 4 剤) があった。

●オーストラリアにおけるメトホルミン使用の動向と用量の適切性:2型糖尿病患者におけるデータの分析 (Eur. J. Clin. Pharmacol. 72 (12) 1489 - (2016. 12))

1992-2012 年のオーストラリアの処方データを評価した。metformin の用量および患者の腎機能 (metformin の処方を受けている全入院患者の 20%にあたる無作為標本) のレトロスペクティブな調査をシドニーの St Vincent's Hospital (SVH) にて行い(2008-2012 年)、metformin の処方者の腎機能に対する metformin の投与に関する見解を収集した。metformin の使用は 1995-2012 年に 5 倍に増加した。SVH において、metformin は正常な腎機能 (83.5%) の患者では過少投与の傾向があり、腎機能が障害された [推定糸球体濾過率 (eGFR) <30mL/>5,50%)] 患者では過量投与の傾向があった。処方者との面接から、腎障害がある場合は metformin の用量減量が必要であることが示された。大部分の内分泌専門医 (61%) は、eGFR が約 30mL/>0の患者にも metformin を処方すると報告していた。metformin は、承認された eGFR 最低値として製品表示に記載されている 60mL/>0を下回る患者にも頻繁に処方されており、処方者は腎機能障害患者では metformin を減量する必要性を理解してはいるが、腎機能障害患者に対して適切な用量よりも高用量が用いられていることが示された。

あまくま薬立つ情報

→ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地(離島も含む)の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催!薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。(会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。)

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

→ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。 (薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など)

電 話 098-963-8935

→ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関 として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。(検査の際は、 調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。)

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934 e-mail siken@okiyaku.or.jp

→ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施(在宅支援)薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの "かかりつけ薬局" をおもちになってください。(詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。)

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ <ホームページアドレス http://www.okiyaku.or.jp>

お知らせ

Facebook をご覧ください!



https://www.facebook.com/okinawaopa

真地久茂地绘

会 報 原 稿 募 集 の ご 案 内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。 広報委員会では、会員の皆様からの原稿や 作品を多方面にわたり募集致します。活発な 御投稿をお待ち致しておりますので、是非、 御協力下さいますようお願い致します。

€ 098-963-8930に電話する

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常 業務、過去、現在の職場に対する長短所・要 望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお 待ちしております。

どしどし お寄せ

でさい!

οŎ

同時にベテランの先生方からの店舗経営に 関する事、開業顛末記等、今後の進路を決め る若い先生方へのアドバイス等についても募 集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

代議員選挙

平成29年2月13日

2017・2018年度 代議員の選挙結果の告示

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

本会代議員選挙につきまして、平成29年2月11日に、本会選挙管理委員会の野崎真敏委員長より、 選挙区ごとの当選者の報告を受けたことから、下記のとおり告示いたします。

各選挙区とも立候補者が定数内であったため、選挙は行われず無投票当選であったことを申し添えます。

■当選者48名(※敬称略)

地区薬剤師会	選挙区(支部)	代議員	定数
北部地区	名護支部	玉 城 純 屋嘉比 康 作	2
	うるま支部	江夏恭範川平浩子福地健治	3
中部地区	沖縄支部	阿 嘉 貫 哲 鈴 木 直 志 玉 城 武 範 長 濱 照 美 普久原 隆 諸見里 めぐみ	6
	嘉手納支部	村 田 成 夫	1
	宜野湾支部	新 垣 慶 朗 新 川 祥 平 仲 座 方 利	3
	首里支部	大塚 成一郎 吉村瑞枝	2
	那覇東支部	上 原 幸 代 西 川 裕 入 月 健 真 崎 しのぶ 吉 田 英 樹	5
	那覇北支部	平良博文松原茂綱宮本直樹	3
那覇地区	那 覇 中 央 支 部	座 安 雄 一 仲 里 すが子 服 部 大 吉 田 和 子	4
	小禄支部	具志堅 興 信 國 吉 直 子	2
	浦添支部	池 間 正 大 城 博 次 武 富 弘 記 西 田 久 日 高 久美子	5
南部地区	糸 満 支 部	伊 敷 松太郎 小 湾 勝 敏 名 嘉 紀 勝 松 本 圭 五	4
	南風原支部	上 原 陽 子 川 上 善 久 川 上 雄一朗 金 城 絵理子 楠 見 康 夫 城 間 盛 伸	6
宮古地区	平良支部	古謝真己	1
八重山地区	石垣支部	荒谷 敏 巳	1
合	計		48

新代議員(2017・2018年度)の皆様、ご当選おめでとうございます。 平成29年6月18日開催の第76回通常総会へのご出席お待ちしております。

平成28年度沖縄県薬剤師会新入会員

(平成28年10月1日~平成29年3月末日入会分)

大問垣村川崎禮﨑原根尻野原藤 名 賀美有絵由典政直 俊 沙 到美有絵由典政直 俊 沙	動務先 和ごころ薬局あわせ店がじまる薬局コナ薬局会営薬局うえはらあい薬局経塚店のやま店とのでまるといる。 おおのやま店 おおのやま店 北部地区薬剤師会会営薬局ハープ薬局があると店 でが楽局であると店のようの、薬局であり、薬局であり、変易である。 (宮古島市)	出身校 東大学 東一華科大学 明一一 東一華科大学 明一一一 東一一一一 東京島 東京島 東京島 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京
喜 瀬 愛 梨 北 原 久 也 金 城 博 子	うりずん薬局 松尾店 そよ風薬局 松川店 さわやか薬局 西原店	第一薬科大学 大阪薬科大学 北陸大学
金 城 由梨亜 久保田 眞 儀 黒 田 菜 月	北部地区薬剤師会会営薬局 謝名薬局 そうごう薬局 浦添当山店	北海道医療大学 名城大学 福岡大学
佐藤朋寿黄田寿黄井晴子中川将仁	つくし薬局 へしきや薬局 南高原薬局 ゆい薬局 江口店	東北薬科大学 星薬科大学 昭和大学 東京薬科大学
中 山 則 次 永 山 裕 名古屋 万理菜 橋 美喜子	那覇市立病院薬局 かりゆし薬局 そうごう薬局 浦添当山店 ひまわり薬局 那覇店	城西大学 北海道薬科大学 名城大学 共立薬科大学
畑 登志雄 波多野 圭 子 原 田 秀 樹	なははくあい薬局 (株)たいよう薬局 ふる里薬局	東京薬科大学 名城大学 帝京大学
比 嘉 敦 子 平 田 仁 美 前 濱 渚 松 本 洋 江	ルーナ薬局 すこやか薬局 久米店 なでしこ薬局 ゆい薬局	昭和薬科大学 広島国際大学 日本大学 北海道薬科大学
三 上 まどか 宮 城 友 寛 宮 城 良 枝	すこやか薬局 みどり町店 ミント薬局 松原店 すこやか薬局 外間店 てだこ薬局	北海道薬科大学 昭和薬科大学 徳島文理大学香川 東北薬科大学
森 安山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山	宜野湾薬局 広栄店 むるぶし薬局 こずえ薬局 共創未来沖縄薬品(株) 内間薬局 ハープ薬局	熊本大学 北里大学 第一薬科大学 東日本学園大学 第一薬科大学 昭和薬科大学
山入端 まどか 山 本 貴 彦	がねこ薬局 登川薬局	九州保健福祉大学 帝京大学 (五十音順、敬称略)

医療保険

調剤報酬請求業務Q&A(第2回)

医療保険委員会では、適切な調剤報酬請求業務に努めて頂くよう、審査支払機関から査定や返 戻の多い事例を会報にシリーズで掲載しています。第1回に引き続き、今回も調剤料についてです。 なお、ご質問がある場合には県薬にFAXまたはメールにて本会事務局へお願い致します。次頁 の質問用紙をコピーしてご利用下さい。この質問用紙は、本会ホームページからもダウンロード できます。

【調剤料】 同一有効成分の配合剤の調剤料の取り扱い

事例 1

	処方		調剤料	
Rp1	プレドニン錠5mg 分2 朝夕食後	2錠 14日分	63点	
Rp2	プレドニゾロン錠1mg 分1 朝食後	1錠 14日分	63点 ~	算定不可

事例 2

	処方	調剤料			
Rp1	酸化マグネシウム錠3 分1	30mg「ヨ: 朝食後	シダ」 1錠 30日分	80点	
Rp2	マグミット錠250mg 分2	夕食後	2錠 30日分	80点 ~	算定不可

事例 3

	処方				
Rp1	エンシュア・H 分3	毎直後	750ml 30日分	80点	
p2	エンシュア・リキッド 分1	夕食後	250ml 30日分	80点 -	算定不可

同一有効成分であって同一剤形の薬剤が複数ある場合は、その数にかかわらず1剤として算定する。 (調剤報酬点数表の解釈 平成28年4月版)

事例 4

	処方		調剤料	
Rp1	ラコールNF配合経腸用液 分2 朝夕食後	400ml 30日分	80点 =	算定可
Rp2	ラコールNF配合経腸用半固形剤 分3 毎食後	600g 30日分	80点 -	算定可

事例4は、同一有効成分ではあるが、内用液剤と内用固形剤で剤形がことなるため、それぞれ 調剤料を算定できます。

調剤報酬請求業務 Q&A 質問用紙

調剤報酬請求業務についてご質問事項がございましたら、下記までご質問を受付致します。 薬局名・電話番号・担当者名を必ずご記入ください。

質問受付メールアドレス nagamine@okiyaku.or.jp

FAXにてご質問いただく場合は、このページをコピーしてご利用ください。

FAX返信先: 098-963-8932

薬局名	電話番号
担当者	メールアドレス
【ご質問事項】	

第31回 **暮らしの中の薬草学** 身近な薬草を知ろう 身近な薬草を知ろう



ふだんそう:ンスナバー

名 Beta Vulgaris var. cicla (L.) 学

アカザ科 Chenopodiaceae 科

フダンソウ属 Beta 属 名

使用部位 葉、葉柄

有効成分 マンガン・鉄・カリウム

ベタニン・βカロテン・ビタミンE



ふだんそう:不断草:ンスナバー

ふだんそうはアカザ科フダンソウ属の耐寒 性一年草-二年草。旬は7~10月。葉は大き く肉厚で楕円形、ツヤがある。暑さや乾燥に 強く管理が楽なので、自家栽培しやすい。葉 菜として改良されたビートの一系統(リーフ ビート)。甜菜やテーブルビートとは同種。 サラダや炒め物、おひたしや和物に利用され る。太い葉柄は煮たり炒めたりして食べられ る。ホウレンソウに似ているが、根が地中深 くあるために、葉を取っても次々に新しい葉 が生えてくる。

沖縄県ではンスナバーと呼ばれ、スーネー またはウサチという和え物やンブシーという 味噌煮に仕立てる。沖縄では冬野菜として利 用される。様々な地域名があり、岡山県では アマナ、長野県ではトキシラズやキシャナ、 兵庫県ではシロナ、京都府ではタウヂサ、大

女性薬剤師部会 狩俣 イソ

阪府ではうまい菜、島根県ではオホバコヂサ と呼ばれる。チャードや常菜(とこな)、恭菜 などの別名もある。

ふだんそうの歴史

ふだんそうは地中海沿岸が原産とされ、紀 元前に栽培が行われていた。その後アジアを 通って6世紀頃には中国へ伝わり、日本へは 16~17世紀頃に伝来したと考えられる。

文献に登場するのは、江戸時代の「本朝食 鑑1697年」と「農業全書1697年」。本朝食鑑 では「唐苣:とうちぎ」の名で特徴が紹介さ れ、農業全書では「ふだん草」の名で栽培法 や、「四季絶えずあるゆえに不断草と名付る なるべし」と名前の由来も記されている。

日本に渡来した当時は葉の小さな種類(在 来種) だったようだが、明治時代には葉が大 きくて茎の白い西洋種が導入され、のちにカ ラフルな茎の種類スイスチャードも入った。 現在、スーパーなどに並んでいるのは西洋種 が中心。

ふだんそうの期待される効能

ふだん草は抗酸化作用のあるβカロテン や、高血圧予防に効果のあるカリウムを豊富 に含んでいる。また骨にカルシウムを沈着さ せる働きのあるビタミンKや、骨の形成に役 立つマンガンも多く含む。血を作るビタミン といわれる葉酸や、便秘予防に役立つ食物繊 維も多く含む。

高血圧予防、がん予防、心筋梗塞予防、脳 梗塞予防、動脈硬化予防、貧血予防、風邪予 防、便秘予防などの効果が期待できる。

参考 若山博士監修 ためになる食材辞典、野菜図鑑 沖縄伝統的農産物、野菜ナビ、旬の野菜百科

ふだんそう 葉、生 栄養成分(100 g 当たり)

日本食品標準成分表2015版

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂質	食物繊維	マグネシウム	リン	カリウム
19 k c l	2.0 g	3.7 g	0.1 g	3.3 g	74 m g	33 m g	1200 mg
鉄	ナトリウム	カルシウム	ナトリウム	マンガン	βカロテン	ビタミンK	葉酸
3.6 mg	71 mg	75 mg	9 m g	3.60 mg	3700 μ g	180 μ g	120 μ g

マンガンMnの効果・効能

人体にとって必須元素であるマンガンは、 吸入・経口・経皮的に吸収される。食事から 摂取したMnは、胃酸によって2価となり、腸 管細胞の酸化機構で3価となって吸収される。 吸収されたMnは門脈を通って肝臓に運ばれ、 胆汁中から腸管に分泌、ほとんどが糞便とし て排泄される。Mnの吸収率は0.5-3%と低い。 Mnは体重70kgの成人の体内に約12mg存在し、 全身の各組織に一様に分布している。中でも ミトコンドリア内に多く存在し、網膜、毛 髪、皮膚色素沈着部など体内の色素部で高濃 度に含まれる。Mnは、酸化還元酵素、加水 分解酵素、脱水素酵素、転移酵素など、多く の酵素活性に対して特異的・非特異的に影響 を与える。また、アルギニン分解酵素、乳酸 脱炭酸酵素、マンガンスーパーオキシドジス ムターゼ (MnSOD) の構成成分である。生 理的作用として、結合組織と骨形成(リン酸 カルシウムの形成を促進)や内耳の発育形成、 耐糖能、生殖能、脂質代謝、成長及び脳機能 への関与が報告されている。

不足すると成長異常、平衡感覚異常、疲れやすくなる、糖尿病(インスリンの合成能力が低下するため)、骨の異常(脆くなる等)、傷が治りにくくなる、生殖能力の低下や生殖腺機能障害などが起こる。しかしMnは川など天然の水などに含まれるため、上水道水としてはむしろ多すぎて除去する場合があるなど、普通に生活していてMnが不足することはまずない。

過剰に曝露されるとMn中毒を起こす。頭痛・関節痛・易刺激性・眠気などを起こし、 やがて情動不安定・錯乱に至る。大脳基底核 や錐体路も障害し、パーキンソニズム・ジス トニア・平衡覚障害を引き起こすほか、無関 心・抑うつなどの精神症状も報告されている。 Mn曝露から離れれば、3-4か月で症状は消える。

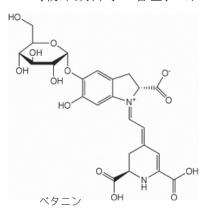
参考 話題の食品成分の化学情報、ビタミン・ ミネラルまるわかり

ベタニン(Betanin)

ふだんそうには、赤色配糖体色素であるベタレインの一つであるベタニンやその他のベタレインが含まれる。合成は光により促進される。ベタレインは配糖体で、糖と有色タンパク質で構成されている。加水分解でグルコース分子を除去したアグリコンは、ベタニ

ジンという。ベタレインは構造的・化学的に アントシアニンやフラボノイドと関係はな く、同じ植物で同時に含まない。ベタレイン は窒素を含み、アントシアニンは含まない。 ベタレインは、チロシンから合成される芳香 族インドール誘導体である。

in vitroで抗酸化物質として作用し、低密度 リポタンパク質を酸化から守ることから、天 然の着色料として食品産業で注目されてい る。アイスクリーム、粉末飲料等の着色、フォ



強い抗酸化作用:ベタニン色素

ベタニン色素の生物個体や細胞、クロロプラスト(葉緑体)に対する影響を調べた結果、ベタニン色素が生物や細胞、細胞のオルガネラ(細胞小器官)を各種ストレスから保護する機能性を持つことが明らかになった。

スイスチャード緑色葉から得た無傷クロロプラストを 50μ Mベタニンと 10μ Mパラコート (除草剤) で処理したものは、クロロプラストをパラコート単独処理したものに比べ、クロロプラストの退色と崩壊が進行しない傾向があった。また、1% エタノールを含んだ0.2% ショ糖含有寒天を与えたワラジムシは10 匹のうち7 匹が2 日以内に死んだが、 0.9μ Mベタニン溶液含有1% エタノール/0.2%ショ糖含有寒天を与えた群は10日目まで全て生き残った。

ベタニン色素には極めて強い抗酸化能があり、かつ血中に速やかに移行できるため、イミダゾールジペプチドを超える疲労回復作用が期待できる。食品に安定剤として添加されるクエン酸も疲労回復作用があるため、ベタニンとクエン酸混合物を安定かつ大量に調製・供給する方法が開拓され、ベタレイン機能性研究に大きな展望が開けてきた。

参考:北海道大学大学院農学研究院· 日本甜菜製糖株式会社



IEU EU IEU

薬局訪問 VOL. **46**

春を感じる陽気の2月、ヴァインドラッグあがり浜薬局の盛本直也先生を訪問しました。ドラッグストアに併設されている薬局は、医薬品や日用雑貨などの商品が並ぶ店内の一番奥にあります。漢方みず堂の名前も持つこの薬局では、漢方相談を受けるためのコーナーが処方箋受付窓口のすぐ横にあり、蛍光灯で眩しい店内とは一転して、温かな光の当たるカフェのような佇まいをしていました。

漢方みず堂 ヴァインドラッグあがり浜薬局

処方箋は1日40枚受けるほか、漢方相談も行っています。患者さんは、近隣のクリニック以外に、総合病院、大学病院など様々な場所から来るため、種々の薬剤・医療機器をそろえています。降圧薬や胃薬、インスリンなど約900種類の処方薬、20種類のOTCを扱っています。あがり浜一帯は、最近とみに人口が増えてきた場所なので患者さんが増えてきているとのこと。マリンプラザあがり浜の一画に薬局があるため、処方箋を出した後に、横のスーパーで買い物を済ませて戻ってくる患者さんもいるようでした。

漢方相談は女性が多く9割を占めていますが、保育園児~80代の方までと様々な年代の相談者が来られます。不妊、生理痛、肌荒れ、アトピー、ダイエットなどに関する相談が多いようですが、種々の相談に応じています。相談者の体質に合う調剤を行うために、初めての相談時間は1~2時間かけることも

あります。健康相談をしているうちに、家庭内の相談などを持ちかけられることもあるとか。町のよろず相談所になりつつあるようです。現在は1日2~3人程度相談者が来られるようですが、予約の合間をぬって、漢方を飲み始めた患者さんへ電話でコンプライアンスチェックを行っています。盛本先生のスケジュール帳には、患者さんのリストがびっしりと並んでおり、次の日に相談を予約している患者さんや、服用開始からしばらく経過した患者さんの名前が連ねられています。

薬局ではエキス製剤も扱っていますが、効果の面から基本的には煎じ薬を勧めています。土瓶で煎じてから飲まなければいけないのは、手間と感じるかもしれませんが、朝に煎じて、1日分を冷蔵庫で保存することもできるので、思っているよりも気軽に扱えそうです。また、漢方薬は勝手に調合してよいわけではなく、薬局製剤として登録されている



薬局外観



広い店内には多くの商品が整然と並べられていた

Rew M

レシピ200種類の中から、相談者の体質に合わせて調剤を行います。魔女のように勝手にごりごりと混ぜていいと思っていた私は、衝撃を受けました(不勉強ですみません)。煎じ薬はエキス製剤のように、保険適応に縛られずに、相談者の体質などに合わせられるのが良いところ。薬局には壁棚一面に置かれた生薬の中から調剤を行っています。

薬剤師が一人で200種類のレシピの中から、 ぴたりと当てはまるレシピを探しだすのは骨 の折れることです。経験の少ない相談内容が 来たらどうするのか気になりましたが、そこ は漢方みず堂がチェーン店であるメリットが 支えています。薬局内にあるテレビ電話シス テムを用い、毎月1回、1~2時間程度、他県 の店舗の薬剤師と症例検討会を行い、各々の 店舗で難渋した症例について(8症例程度ま で)学び、臨床現場へと還元することができ ます。

ここまで話すと、漢方ばかりをメインに 扱っているように思えるかもしれませんが、 漢方だけではなく、一般薬やサプリメントを 勧めることもあります。あくまで患者さんに 必要と思われるものを提案していき、場合に よっては、受診勧奨を行うこともあります。 また、生薬は「究極の野菜」であり、基本は 食生活などの生活習慣の改善を促すようお話 しされているようです。

「まず相手のことを元気にしてあげようという思いと、対人間のコミュニケーション能力が大事。若手の薬剤師には、患者さんに自分の家族のように寄り添い、身内のように話しかけることで、信頼を得て、相手を健康へと導いていけるような薬剤師であってほしい。」とお話しされる盛本先生。どんなにAIが出ようとも、基本は対人間のお付き合いなのだと改めて思いました。

ご多忙なところ取材へご協力いただき、ありがとうございました。

(文:広報委員会 伊差川 サヤカ)



店内奥にある漢方相談処。漢方みず堂のテーマ 「話すことから始める漢方」が掲げられている。 優しく温かい佇まいは患者さんを癒してくれる。



漢方相談処裏の調剤室。 壁棚一面に多くの生薬が分かり易くが並べられていた。



盛本直也氏と記念撮影。漢方相談・調剤は盛本氏が担当。 テレビ電話会議システムを用い、漢方みず堂の他店舗の 薬剤師と症例検討会を行っている。



処方箋受付窓口は漢方相談処のすぐ横に設置されている。 管理薬剤師の上山達矢氏が中心となっている。

「球技」がダメなら「弓技」はいかが? ~号道との出会い~



とくりん薬局 石井 秀典

突然ですが、皆さんは「スポーツ」と聞か れてどんな競技を思い浮かべますか?

サッカー、テニス、バスケットボール、野球・・・様々ありますが、多くの人が最初に思い浮かべるスポーツの大半は「球技」かと思います。そして「球技」が苦手な人は、学生時代肩身の狭い思いをした経験があるのではないでしょうか?

例に漏れず、私もその一人です。小学校 時代に参加した地元のサッカー少年団では、 1試合2桁失点する迷キーパー。中学時代の バレーボール部ではトスの届かない迷セッ ター。試合の際にはマネージャーと審判が私 の定位置でした。

「私に球技は向いていない!!」

これが、義務教育の9年間で得た気付きの1つです。しかし、いざ入学した高校で目に付く部活のほとんどが、やはり球技。帰宅部しかないかと思っていたときに、弓を持った道着袴姿の先輩に声を掛けられました。聞いてみれば弓道とは、

- ○力が必要そうに見えて、実は要らない
- ○経験者が少なく、高校から始めてもレギュラーになれる確率が高い
- ○走り込みなどの厳しい基礎トレーニングは ほぼ無し(高校により違いあり)

非力・低身長・運動神経並以下の私にこれ 以上魅力的な競技はありませんでしたし、道 着袴姿の先輩方が弓を引いている姿が凜とし て格好良く見えたことを今でも覚えています。

ここで少し弓道の説明をさせて頂きます。 弓道には「射法八節」という基本動作があり ます。「足踏」「胴造り」「弓構え」「打起し」「引 分け」「会」「離れ」「残心」。簡単に表現する と、足を開き、矢を弦にはめて、引いて、離す。 この一連の動作は、流派によって多少の違い がある以外は『決まった型』があります。『決まった型』で引くことで、80歳以上の方でも弓を引くことができます。また、使う弓にも張力の強い弓、弱い弓があり、個人の力に合わせることが可能です。これが、弓道は力が要らない、年をとっても出来るスポーツである理由です。

何事も形から入ることは得意だった私に、 力を使わずに『決まった型』に近付けるとい う部分がうまく噛み合ったのか、4ヶ月頃か ら矢が的に当たり始めました。30m離れた的 に矢が当たった時の何とも言えない満足感が 更に私を夢中にさせ、時には授業をサボって まで練習していました。その甲斐もありレ ギュラーの座をつかみ、県大会でもそれなり の成績を残すことが出来たことは良い思い出 として残っています。しかしながら私の高校 は男子校であり、男が憧れる女性の道着袴姿 を見る機会に恵まれず、試合の際の黄色い声 援もありませんでした。また、多感な時期に 女性との接点がなくなったことで女性との接 し方が分からず、高校卒業までの18年間、最 後まで女性のハートを射貫くことが叶わな かったことは苦い思い出です。

同じ弓矢を扱うアーチェリーとは何が違うのか?と聞かれることがあります。弓道はアーチェリーと異なり、的のどこに当たっても点数は変わりません。簡単にいうと、弓道は純粋な的当てゲームであるとも言えます。高校時代の私は、「いかに的に当てるか」を最重要視して練習を重ねていました。しかしこの「いかに的に当てるか」という考え方は、本当の「弓道」ではないということを、社会人となり沖縄で弓道を再開した際に知ることとなるのでした。

そのお話は、また次の機会に。

次号も引き続き、石井秀典先生の「弓道」のお話となっています。お楽しみにお待ち下さい!



次期参議院議員通常選挙 組織内統一候補者決定!

この度、平成29年3月22日に開催されました平成28年度定時評議員会(日本薬剤師連盟)において、次期参議院議員選挙の組織内統一候補者として**本田あきこ氏**が決定されました。

これを受けて、沖縄県薬剤師連盟としても本田あき子氏の活動を全面的に支援し勢力的に取り組んで参ります。今後、各地区薬剤師会の会議や各研修会等においてご紹介していきたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

<プロフィール> 本田 あき子

本 籍:熊本県

生年月日:1971年9月29日

星 座:てんびん座

血液型:A型

趣 味:街の散策、美術鑑賞

(学歴)

平成2年 私立九州女学院高等学校

(現ルーテル学院) 卒業

平成8年 星薬科大学卒業(薬剤師)

(職歴)

平成10年 医薬品卸勤務

平成13年 保険薬局勤務

平成14年 参議院議員公設秘書

平成19年 製薬会社勤務、医薬品卸勤務

平成25年 保険薬局勤務

平成28年 (公社) 熊本県薬剤師会勤務





国会レポート 〜医療情報データの活用〜

自由民主党総務副会長 参議院議員・薬剤師 藤井 もとゆき



3月に入り、日に日に暖かさを増して春の 訪れを肌身で感じる季節となりました。スギ 花粉の飛散も始まり、花粉アレルギーに悩ま される人々にとっては辛い季節を迎えていま す。関東での花粉飛散量は、前年より少ない と予想されていますが、如何でしょうか。

さて、新聞や雑誌で「ビッグデータ」とい う用語を頻繁に見かけるようになっています が、すでに商業、マーケッティングなど様々 な分野で施策や戦略立案に活用されてきてい ます。医療分野においても、本来は医療費適 正化の目的で収集されていた、電子レセプト 情報と特定健診等情報データベース(NDB) について、2011年から高いレベルでのセキュ リティ要件を課したうえで、行政機関や研究 者等に対してデータ提供が行われています。 NDBには医療保険のレセプトデータのかなり の部分が集められるとともに、年間2千万件 を超える特定健診・特定保健指導のデータが 含まれており、こうした有用なデータを広く 国民に提供し更に活用するため、利用者の目 的に応じて様々な用途に活用できるよう単純 な集計表として、昨年10月に第1回の公表が 行われたところです。

また、医薬品の安全対策をより効果的に行うため、医療機関や製薬企業等からの副作用の自発報告に加え、全国10の拠点医療機関から1千万人規模の医療情報を収集し、データベースを整備する事業が2011年度から進められています。このデータベースを活用して、薬剤疫学的手法により医薬品の副作用情報等

を定量的に解析することにより、他剤との副 作用発現頻度の比較や安全対策措置後の効果 検証等が可能となり、医薬品の迅速・的確な 安全対策の実施につながるものと期待されて います。

更に政府は、医療分野の研究開発を促進するため、個人の権利・利益の保護に配慮しつつ、複数の医療機関から治療や検査などの医療情報を収集し、安全に管理・匿名化を行い、円滑に提供する仕組みを整備する「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律案」を国会に提出しました。研究機関や産業界等がデータを適切に利活用することにより、医療の質や効率性の向上、新薬や医療機器の開発のための研究開発の進展、医療情報を用いた健康管理や診療支援などの新技術・新産業の創出といった効果をもたらすものと思います。

ところで、開会中の第193回通常国会は2月 27日の衆議院予算委員会並びに衆議院本会議 にて、自民・公明の与党等の賛成多数で可決 し、審議の舞台は参議院に移りました。衆議 院予算委員会では、内閣府再就職等監視委員 会が法令違反を指摘した文部科学省の天下り 斡旋問題、TOC条約を批准するために提出が 予定されているテロ等準備罪を盛り込んだ組 織犯罪処罰法改正案や南スーダンの自衛隊 PKO活動などを巡り、激しい質疑応答が行な われてきました。参議院では予算案に関する 真摯な議論が行われるものと期待しています。

藤井もとゆきホームページ http://mfujii.gr.jp/

平成28年度 第7回定例理事会 議事概要

日時:平成28年10月15日(土) 19:00~21:10

場所:沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

会 長:亀谷浩昌

副 会 長:外間惟夫、前濱朋子

理 事:山里 勇、宮城敦子、村田美智子、我喜屋美香、川満直紀、成川賢一、佐藤雅美、

姬野耕一、下地 仁、幸地良信、笠原大吾、荒井千春、吉冨弓江、吉田洋史、

川上善久(南部地区代理)

監事: 友利弘一

欠 席:江夏京子、石川恵市

事務局:山城英人、大城喜仁、前原里江

議題

(1) 平成28年度沖縄県薬剤師会会長表彰について

(山城次長)

各地区薬・部会に呼びかけし推薦いただいた。今回は6名の推薦があがっている。推薦者の 方については表彰諮問委員のメンバーに資料を配布するなどし、連絡をとり、確認の上検討を していただいた。表彰諮問委員のメンバーは新垣正次先生、我喜屋宏先生、太田節子先生、大 城桂子先生で構成されている。本来は原則5名を推薦するところ、創立90周年記念でもあるの で会長の判断で6名とする。

(亀谷会長)

原則定員5名に関しては、厳密に決まっているわけではなく、その時の状況に応じて増やすことも可能ではないかと考えている。人選については、各地区の事情等も踏まえた上で、地区からの推薦はできる限り尊重したい。今回の表彰者は妥当であると考えている。

異議なく承認された。

(2) 臨時総会開催について

(山城次長)

3月26日(日)に臨時総会を開催したいと考えている。審議をお願いしたい。

異議なく承認された。

(3) 平成29年3月幹事会、理事会開催日の調整について

幹事会3月第1火曜日 (3月 7日) → 2月第4火曜日2月28日へ

理事会3月第2土曜日 (3月11日) → 3月第1土曜日3月4日へ

※第2土曜日の3月11日、12日が日薬臨時総会により会長出張のため

(山城次長)

幹事会・理事会の日程変更の理由が述べられた。

異議なく承認された。

(4) 平成29年度事業計画案提出について (お願い) 提出締切 H29.1.11(水)

(山城次長)

3月開催予定の臨時総会に提出する資料作成の為、各部会・各委員会からの平成29年度事業計画案の提出期限を平成29年1月11日 (水) とさせていただきたい。

異議なく承認された。

(5) 沖縄県薬剤師会事務局業務日の変更について

(山城次長)

本会の就業規則で示される休日は、①日曜日、②土曜日、③国民の休日、④年末年始、⑤その他本会が指定する日、となっているが、現在、事務局では土曜日の9時~12時まで当番制で対応している。土曜日出勤の場合には、振替休日を取得することになっているが、日々の業務が多忙なことから、多くの職員がなかなか振替休日を取得することが出来ていない。また、その時間帯の電話件数は1~4件程度で、急を要する内容も少ない状況であることから、土曜日当番出勤を廃止できないかと考えている。

(亀谷会長)

労働環境改善の一つとして考えている。薬局は土曜日営業されているところもあるので当番を置いたと思うが、土曜日の電話対応は1~4件程度であり、問い合わせの内容も重要なものは少なく、講演会の日程の確認などである。県薬ホームページを活用いただくことでカバーできる内容であると思う。緊急連絡先として、山城次長の携帯番号を各支部長に知らせるなどしておくことで対応可能である。ぜひご検討いただきたい。

異議なく承認された。平成28年11月から実施の予定。

(6) その他

(笠原理事)

お薬相談会機材貸出金額(案)として提案したい。地区薬剤師会への貸出は無料。これはあくまでも会員薬局を対象とする。機器の保険料を目安に金額の設定をしたが、貸出金額が妥当であるか審議いただきたい。

審議の結果、承認された。

報告(会)

- (1) 会営薬局の調剤保険料等について
- (2) 青年薬剤師部会総会・特別講演会 9月11日(日) カルチャーリゾート・フェストーネ (大城課長)

青年部総会では平成27年度の事業経過報告及び決算報告がなされ、続いて、平成28年度事業計画案及び予算案の件が審議された。新役員は、部会長に上原卓郎氏、副部会長に名嘉紀勝氏、西川裕氏、書記に宮城勇己氏、会計に座覇里奈氏、監事に石川恵市氏、鈴木一徳氏が選任され承認された。

その後、特別講演会が行なわれた。

(亀谷会長)

講演会では薬局の経営をどうしたら良くなるか経済的な視点での講演会であった。これまで

の講演会では無かった新しいテーマであり、今後の必要性を感じた。関連の委員会等で検討してもらいたい。

(3) 沖縄県医療審議会医療法人部会及び地域医療支援病院部会

9月12日(月) 県庁

(亀谷会長)

定期的に行われる。医療法人設立認可の可否と地域医療支援病院の名称の承認について審議 し、承認された。

(4) 会報取材

9月13日(火) FM沖縄

(大城課長)

会員の盛本直也氏が、FM沖縄でラジオ番組のパーソナリティーを勤めている情報を入手し、去る9月13日、FM沖縄を訪問した。番組タイトルは「みず堂プレゼンツ~ A to Z~」で、毎週土曜日午前10時55分~11時に放送されている。盛本氏のお力添えにより、10月13日(木)の放送で10月20日の「くすりと健康フェア」(県民公開講演会と健康とおくすり相談会)の告知がなされた。

(5) 健康とおくすり相談会

9月15日(木) イオン南風原店

(川上先生・南部地区代理)

南部地区薬剤師会が企画・開催した。約64名の方が来場された。相談員は13名、実習生2名の参加があった。

(6) 個別指導

9月15日/10月6・13日(木) 那覇第一地方合同庁舎・県庁

(7) 全国健康保険協会沖縄支部との「健康づくり推進のための包括的連携に関する協定締結式」 9月15日(木) 県薬

(亀谷会長)

当会と全国健康保険協会(協会けんぽ)沖縄支部は、県民の健康増進に資することを目的として協定の締結式を挙行した。連携・協力事業として①医薬品の正しい知識の普及及び適正使用に関すること②ジェネリック医薬品の使用促進に関すること③かかりつけ薬局の普及に関すること④その他、目的を達成するために必要な事項に関することを掲げ、協定が締結された。

(8) 健康とおくすり相談会(県主催健康イベントの一環として)

9月18日(日) イオンモールライカム

(佐藤理事)

中部地区薬剤師会として参加した。100人の方の来場があり、体組成、骨密度、血圧測定を行った。相談員の参加が30人と多く、午前と午後に分けて参加いただいた。

(9) サンスターより来訪

9月20日(火) 県薬

(亀谷会長)

フッ化物洗口剤(販売名:エフコート)の商品の紹介のため、サンスターが歯科医師会からの紹介で来訪された。歯科医師会推奨の洗口剤であるとのことで、今後、薬剤師会の会員薬局に推奨したいとのことである。県内ではすこやか薬局グループ16店舗とイオンでの販売が決定している。会員への情報提供を目的としている。

(10) 学薬部会と試験検査センターについての打ち合わせ

9月21日(水) 県薬

(亀谷会長)

水質検査(飲料水・プール)実施の月においては検査センターの職員の超勤時間が100時間 近くになっている。電通職員が過労により自殺した事例もあり問題となっているので、過度の 超勤の改善余地はないものかということで話し合った。 (前濱副会長) (14) と関連。

水の採水を行った後、その日のうちに検査センターへ届け、測定されなければならない。OTCだけの薬局が少ないという事情で、採水には行けても県薬までの持ち込みが厳しいということもあり、検査センターの小泉氏が個々に回収に行くという状況がある。以前は地区単位で一薬局が回収のとりまとめをするなどしていたが、最近では難しくなっているので、どうにかとりまとめをしていただける薬局がないだろうかということで話し合った。北部では宅配業者に頼むなどし、その日のうちに届けてもらう等も検討していく。今後、様々なことを考慮し改善に向け取り組んでいきたい。

(11) 健康サポートのための多職種連携研修会

9月22日(木) 県薬

(笠原理事

今回は2回目の実施、66名の参加があった。宮古・八重山地区においても、来年の1月以降の 実施を検討、調整している。

(12) 平成28年度熊本地震沖縄県医師会医療救護班JMAT活動報告会 9月24日(土) 沖縄県医師会 (吉田理事)

熊本の支援に参加していただいた坂本氏と共に出席した。内容はDMAT、JMATの活動報告と事例報告が主であった。終了後は懇親会が行われ、安里医師会長、田名理事、出口災害医療委員長と懇談。県では医療コーディネーターを推進しているとのことで、薬剤師もぜひ災害医療コーディネーターとして参加できるように依頼したところ、その予定であるとお返事いただいている。今後、県と調整しながら進めていきたい。

(13) 平成28年度第1回各地区薬剤師会会長会議

9月24日(土) 県薬

(山城次長)

年2回各地区の情報交換の場として設けている。各地区からの現況報告として薬剤師不足があげられた。協議については事前に各地区から話し合いたい議題を提出いただき、北部地区からはIT面の強化があげられた。ホームページの充実とスマートフォン向けのホームページやブログなどを開設するなどし、薬剤師の職能をアピールしてほしいとのことだった。FAX一斉同報ではなく希望者にはメール配信してもらいたいとの要望もあった。メール配信については、近日中に実施予定である。また、那覇地区からは地区薬剤師会の会費徴収を県薬で合わせて引落してもらえないかと要望があり、今後、検討し回答することとした。

(亀谷会長)

北部地区からの要望であるIT面の強化・充実は、以前から検討したいと考えていた事項であるので、ホームページの積極的な活用と、ウィークリーニュースのメール配信を実現する方向で進めていきたい。

(14) 学薬役員会

9月25日(日) 県薬

(前濱副会長) (10) と関連。

(15) 会計監査

9月26日(月) 県薬

(16) 薬学生実務実習(学薬)

9月26日(月) 県薬

(笠原理事)

2期の実習生の学薬の集合研修を約2時間半かけて、1期と同様に行った。17名全員の参加が あった。空気検査などに学薬の先生と同行するなどしている。

(17) 沖縄県警警備課より来訪

9月28日(水) 県薬

(大城課長)

亀谷会長と学薬の平良恭子副部会長が対応した。「爆発物の原材料となる薬品を大量に購入 したい」と不審な客が来店した時の対応を確認する訓練を行った。国際テロ対策の一環として 全国の警察が爆発物原材料を取り扱う事業者(薬局、ホームセンター等)の協力を得て訓練を 実施したと報告があった。

(前濱副会長)

今後学薬でも合わせて研修会等を開きたいと検討している。

(18) なごみ会主催県民健康フェア第5回実行委員会

9月28日(水) 沖縄県医師会

(笠原理事)

8月に行った県民健康フェアの反省会を行った。フェア当日は、およそ1,500名の県民の参加があり、プログラムも滞りなく進められ盛会に終わることができた。収支報告については、各団体の負担金が、当初はドクターヘリの展示が見込まれていたこともあって、19万円予定されていたが、ヘリの展示がなくなったので減額され16万円に変更になった。次回の開催日として、来年の8月19日(土)~20日(日)が予定されている。

(19) 平成28年度「薬と健康の週間」第3回調整会議

9月29日(木) 県薬

(大城課長)

10月20日の「くすりと健康フェア」に関する打ち合わせを行った。フェア当日は亀谷会長が出張により出席できないため、代わりに江夏副会長に挨拶を行ってもらうことになっている。

(20) 平成28年度第3回学術研修委員会

9月29日(木) 県薬

(外間副会長)

会議事項として、①研修会の開催報告と来年度の計画についてということで、1)健康食品・サプリメントに関する研修会が9月1日に開催された。本研修会は参加者が100名近くで非常に人気があり、今回も75名(非会員1名含む)の参加であった。次年度も現講師陣を中心に継続することになった。2)会長から薬理学研修会(仮称)を、次年度から研修会開催の方向で検討するようにと要望があり、阪本崇彰委員を講師として年5~6回程度開催が決定した。②薬剤師学術大会関連では、1)演題募集、2)ランチョンセミナー、特別講演の座長について、3)大会テーマとしていくつかの候補の中から「薬剤師が拓く 医薬の未来」に決定。4)会員発表の座長について話し合われた。③薬剤師のための症例検討会の3回目が10月22日(土)に開催される予定となっている。④認定薬剤師取得のためのセミナー(福岡県薬剤師会主催)参加について、第2回目の会議が10月4日(火)福岡県薬で開催されることになり、出席した。前回実施した会員アンケート結果を踏まえ、参加の是非を含め検討する予定である。

(21) 沖縄県薬業連合会代表者会議

9月30日(金) 沖縄都ホテル

(亀谷会長)

薬祖祭が10月18日(火) $10:00\sim10:30$ 行われる。例年スーツ着用で統一されてきたが、今回からかりゆしウェアの着用も可能になった。会員の方々も是非参加していただきたい。平成28年度の薬事功労受賞者名簿のリストの確認も併せて行った。

(22) くすりと健康フェアPR活動

9月30日(金) 沖縄県老人クラブ連合会

10月7日(金) 沖縄タイムス社・琉球新報社 10月14日(金) FMレキオ

(大城課長)

今回、講師を依頼している高山医師と面会し懇談後、沖縄県老人クラブ連合会、那覇市医師

会、他FMレキオに広報活動を行った。他にも琉球新報、沖縄タイムス社に訪問、10月9日に掲載された。FMレキオのラジオ番組『にこにこ情報BOX』にて昨日10月14日放送され、我喜屋常務理事がパーソナリティーを務めており、その縁で広報。フェアのPRと薬剤師会の創立90周年ということを告知。亀谷会長にも出演いただいた。10月10日の琉球新報の論壇に佐藤理事、10月16日には村田常務理事の投稿文が沖縄タイムスに掲載される予定となっている。

(我喜屋理事)

『にこにこ情報BOX』にて10分間ほど時間を頂戴し、告知させていただいた。インタビュー形式で会長にもご出演いただいた。

(23) 平成28年度沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修会

10月2日(日) 県立宮古病院

(大城課長)

今年度2回目の開催が県立宮古病院で行われた。薬局6名、病院9名、卸1名の合計16名の相談 員の参加があったと報告された。次回は、10月23日八重山地区での開催予定となっている。

(24)「おくすりと医療のシンポジウム (仮題)」の説明のため沖縄テレビ放送担当者来訪

10月3日(月) 県薬

(我喜屋理事)

「おくすりと医療のシンポジウム (仮題)」について沖縄テレビの担当者と打ち合わせを行った。 (大城課長)

主催の沖縄テレビ放送局、共済の日本製薬工業協会の担当者と事前打ち合わせ会議を行った。 参加人数が最大200名までで、参加希望者はOTVのホームページやTVCMで参加を募る形をとることになっている。当日のシンポジウムで、おくすり手帳の配布ができないかと要望があったことを受け、現在配布を行う予定で検討している。

(亀谷会長)

薬剤師会側からの出演者は女性を希望されたので人選を行った。TV映りやテキパキと話せる人ということで我喜屋常務理事に依頼し快諾いただいた。

(**25**) **社会保険診療報酬支払基金幹事会** 10月5日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 (亀谷会長)

中部支部にて保険薬局の調剤報酬請求の査定を実施。施設基準に適合しないということで 156件査定をしたが、再審査の結果、九州厚生局からの何日か遡って認めるというところの情報が支払基金の担当者が把握していないことで、誤った査定をしてしまったことが判明し、 156件全て復活となったと報告があった。

(26) (株)やさしい手沖縄ホームヘルパー向け講習会

10月6日(木) ているる

(大城課長)

本会に、株式会社やさしい手沖縄より、同社勤務のホームヘルパー向けに「薬の正しい使い方・知識・保管方法」についての講演依頼があり、同社近郊の在宅訪問服薬支援薬局に依頼したところ、こくら虹薬局が引き受けて下さった。同薬局の玉城三十美氏が講師を務め、「知ってて安心お薬の話」と題してご講話された。同社勤務のホームヘルパーが18名参加された。

(27) 平成28年度第3回都道府県会長協議会

10月8日(土) 愛知県名古屋市

(亀谷会長)

日薬大会の前日に行われた会議である。中でも、協議事項の保険薬局の構造規制見直しに関する件に時間が割かれた。日薬山本会長は、ア)保険医療機関の建物内にあるものであって、 当該保険医療機関の調剤所と同様とみられるもの。イ)保険医療機関の建物と専用道路等で接 続されているもの。ウ)ア又はイに該当しないが、保険医療機関と同一敷地内に存在するものであって、当該保険薬局の存在や出入口を公道等から容易に認識できないもの、当該保険医療機関の休診日に公道等から当該保険薬局に行き来できなくなるもの、実際には当該保険医療機関を受診した患者の来局しか想定できないもの等、患者を含む一般人が当該保険薬局に自由に行き来できるような構造を有しないもの。なお、ウ・への該当の有無については、現地の実態を踏まえ、地方社会保険医療協議会に諮った上、個別に判断すること。以上の事柄をしっかり守って頂きたいと強調、医薬分業の本旨が損なわれることのないよう強く要請すると話した。

(28) 平成28年度全国薬剤師研修協議会連絡会議

10月9日(日) 愛知県名古屋市

(外間副会長)

二つの議題があり、一つ目は研修センターの理事長講話ということで、今後の研修センターの支援の方向性について話し合われた。二つ目は薬剤師生涯学習達成度確認試験が平成28年7月31日に実施され、受験者数1,026名のうち合格者が415名であった。

(29) 第48回本薬剤師会学術大会

10月9・10日(日・月) 愛知県名古屋市

(亀谷会長)

発表が600余りあり、盛んな様子が伺えた。ランチョンセミナーの講師に好感を持ったので、 県薬に講師を招く際の候補者の一人と感じた。同日に、神村前会長の日薬褒章受章授与式が行われ、その後、県薬から参加された方々を中心に20名程が集まり現地で祝賀会を行った。

(我喜屋理事)

初日で8千名、二日間で1万名を越える参加者があった。

(山里理事)

県薬から26名程度の参加者がおり、一人15,000円の補助金を出す予定となっていて現在準備を進めているところである。

(30) ひまりちゃん募金贈呈

10月13日(木) ひまりちゃんを救う会事務所

(亀谷会長)

会員及び会員薬局から集まった「ひまりちゃん募金」1,359,771円をひまりちゃんを救う会に贈呈した。琉球新報、沖縄タイムスに取材・掲載いただいた。

(山城次長)

沖縄県薬品卸業協会様(琉薬様、ダイコー沖縄様、スズケン沖縄薬品様、アトル様、沖縄東邦様)のご協力により、本会会員薬局に募金箱を配布、待合室等に設置され、短期間で多くの皆様の善意が集まり、心より深く感謝致します。

(31) 会計監査

10月14日(金) 県薬

(山城次長)

定例の月次監査である。

(32) 平成28年度薬事功労者厚生労働大臣表彰受賞者の内定について

(亀谷会長)

下地理事が受賞された。

(33) 沖縄県創立90周年記念祝賀会来賓者について

(山城次長)

県薬学術大会後に90周年祝賀会が行なわれることになっており、配布した資料に掲載の方々 に出席していただく予定である。

(34) 平成28年度第1回基幹型認知症疾患医療連携協議会の開催について

(大城課長)

地域保険開局委員会の委員である中尾滋久先生に参加していただくことで了承いただいた。

(35) 医療機関の重複受診による向精神薬の大量入手事案について

(亀谷会長)

標記の件でのニュースは周知のことかと思うが、先日NHKから当会がどのような役割を果たしたのかという内容で取材を受けた。会員へFAX一斉同報にて注意喚起、会員からの情報を集め、県に報告し協力体制をとっていると返答した。当会を知ってもらう良い機会と捉え、この他にも様々な事柄を話した。

(36) 沖縄県薬剤師会face book開設について

(大城課長)

先週からテスト配信を実施している。薬剤師会ホームページからもリンクされているので、 閲覧されてください。

(37) 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について

(山城次長)

10月から会営薬局うえはらから会営薬局とよみへ與世平千夏さんが異動になった。新しくパート薬剤師の方もおひとり採用に至り、週5日半日勤務となっている。状況は少し改善されたように思う。

(我喜屋理事)

担当理事を外れたことをとよみ職員に報告した。今後も協力体制は継続する予定である。新しく輪番薬剤師として勤務していただける方を1名紹介した。

報告 (薬連)

(1) 平成28年度日本薬剤師連盟臨時評議員会

9月14日(水) スクワール麹町

(亀谷会長)

3年後の参議院選挙に日薬として候補者の擁立を検討、様々な意見があり議論された。

(2) 西銘恒三郎衆議院議員との意見交換会

9月15日(木) イエローストーン

(亀谷会長)

政治家との関係も重要なので、薬剤師会の問題等を知っていただきたく意見交換の場を設けた。

(3) 自由民主党一日政調会について

10月17日(月) 自民党県連

(亀谷会長)

政調会にて、1. 施設内薬局の取り扱いについて、2. 休日・夜間薬局への財政支援について、3. 石垣市への医薬品卸業者誘致について、4. 薬局における災害時電力復旧優先順位について、5. 閉局時において管理薬剤師が他薬局で調剤業務に従事することについてとし、以上5項目の要望を記載した要望書を提出の予定である。

平成28年度 第8回定例理事会 議事概要

日時:平成28年11月12日(土) 19:00~21:00

場所:沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

会 長:亀谷浩昌

副 会 長:江夏京子、外間惟夫、前濱朋子

理 事:山里 勇、我喜屋美香、宮城敦子、荒井千春、佐藤雅美、新垣秀幸

吉冨弓江、川満直紀、石川恵市、成川賢一、盛島明隆(代理)

監事:大城桂子

欠 席:村田美智子、幸地良信、吉田洋史、笠原大吾、姫野耕一

事 務 局:山城英人、大城喜仁、上原美也子

議題

(1) 会長候補者及び監事選挙について

<資料配布>

(大城課長)

届出の受付期間は平成28年12月12日から平成29年3月3日とし、選挙期日は3月26日の臨時総会となる。

了承された。

(2) 一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員選挙及び予備代議員の選出について <資料配布>

●代議員選挙の選出について

(大城課長)

立候補者の受付は12月12日からで2月11日締切りとなる。

立候補辞退の締切りは選挙期日の1週間前となり、開票は3月4日の理事会に設定している。 その後、当選者の告示は3月6日となる。

了承された。

●予備代議員選出について

(大城課長)

予備代議員の定数は、現在各選挙区から1名とするとあるが、11月1日開催の幹事会での案で、 正代議員定数5名以上の選挙区に限って2名までとするということになった。

(川満常務理事)

代議員と那覇地区の行事が重なり欠席者が多くなる場合があるので、予備代議員を増やしてほしい。

(佐藤理事)

具体的にどの支部が、増えるのか。

(江夏副会長)

那覇東、那覇中央、浦添、沖縄の4支部になる。

(大城課長)

代議員選挙規定より、『代議員定数を決定する支部会員数は、選挙日の90日前における会員数となっているので、12月の理事会での報告予定である。

了承された。

(3) 沖縄県薬剤師会 組織編成について

<資料配布>

(山城次長)

薬剤師会の業務が増え煩雑化しているため、もっと組織化した方が業務を行うに当たり効率的に動けると思い以前の組織編成を参考に今回見直してみたいと思う。

特に事務局が総務課だけとなっているため、今回総務課と業務課に分け職務をチーム的に分担していきたい。

(我喜屋常務理事)

FAXコーナーの責任者はどうなっているのか。

(山城次長)

FAXコーナーは医薬分業対策委員会の中にあるが、その担当でもあるので私になる。

(我喜屋常務理事)

色々兼務になると分けた意味がなくなってくるので、職員の増員も含め考えていかないといけないのではないのか。

(吉冨理事)

FAXコーナー然り、組織図上独立させていくのであれば業務内容はどうであれ責任者をたてなければならなく、責任者をたてられないのであればどこかの課に付属させなければならないのではないか。

(佐藤理事)

事務部長がなくなり事務次長となっているが、なぜ部長がなくなったのか。

(山城次長)

現在、部長が不在のため今はポストとしてなくてもよいのではないか。

組織編成については組織図がわかりにくく役職などの序列がはっきり決まっていないため、次回以降に検討するとなった。

(4) 新給与表の見直しについて

<資料配布>

(山里常務理事)

新給与制度に関する基本方針として①最低賃金の変更に対応した給与②健全経営持続③世間相場を勘案した給与ということを考え来年の4月から新しい給与体系に移行したいと考える。 また、今回からは人事評価制度を導入する。

(吉冨理事)

人事評価制度を導入した際、誰に評価されるのか誰を評価するのか組織図がきっちりしていなければ混乱を招くのではないか。職員にしっかり説明が必要である。

(山里常務理事)

職員には、しつかり説明していく予定。

今回は、医療事務と一般事務のみの見直しで了承された。

(5) 沖縄県最低賃金改定に伴う対応について

<資料配布>

(山城次長)

沖縄県の最低賃金が714円に上げられたことに伴い、パート職員の下限時給を切り上げたい。 了承された。

(6) 平成28年度パート職員冬季賞与について

<資料配布>

(山里常務理事)

9月末までの仮決算を終え、会営薬局に関しては前年度より収益は落ちるが想定内でもあるので職員のモチベーションを高めるため支給したい。

支給することで了承された。

(7) 沖縄子ども未来県民会議への募金について

<資料配布>

(山城次長)

沖縄県で実施した平成27年度「子どもの貧困実態調査」において、沖縄県の子どもの貧困率は29.9%で、全国の1.8倍、子ども3人に1人が貧困状態で暮らしていることや日常的な食料品を買えなかった経験がある貧困世帯が多いことなど、子育て家庭の厳しい生活の現状が明らかとなった。そこで沖縄県が主体となり6月17日に「沖縄子どもの未来県民会議」が立ち上がった。企業や県民の皆様からのご寄付により、児童養護施設退所者等を対象に大学等の入学金や授業料の全額を支援する給付型奨学金事業など各種事業に取り組むこととしているとのことで寄付を募っている。

本会から2万円を寄付したい。

寄付をすることで了承された。

報告(会)

(1) 会営薬局の調剤保険料等について

<資料配布>

(2)「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」に関する打合せ会

10月4日(火)福岡県薬 <資料配布>

(外間副会長)

本会議においての結果は次のとおり

- 1. 来年度より福岡県において『集合研修方式』で、3学会とコラボセミナーを順次2年間行う。
- 2. 会場は第一薬科大学を想定。最大受講者数を総数500名(うち福岡県薬100名を想定)とし、 各県薬剤師会毎に受講者を募集する。
- 3. 福岡県以外の参加者は1回につき受講料2000円を徴収する。
- 4. 次回を最終の打合せとし、来年度より実施の集合研修の具体的スケジュール等を検討予定。
- 5. 各研修会の「主催」は福岡県薬とし、各県薬剤師会は「共催」とする。
- 6. 各県理事会の承認を経て参加。不参加の意思決定、募集人員の上限の設定を検討していただく。

参考までに会議開催前に県薬会員、病薬会員向けに認定薬剤師取得へ向け、このセミナーに関する事前アンケートを行ったところ、希望会場としてサテライト形式がよく、負担可能な受講料として $1,000\sim2,000$ 円との結果だった。

(3) 財務委員会

10月17日(月) 県薬

議題(4)~(6)までの内容を協議した。

(4) 薬祖祭

10月18日(火)波之上宮本殿

(亀谷会長)

例年同様、沖縄県薬業連合会主催で開催した。

(5) 平成28年度第2回医療安全対策委員会

10月18日(火) 県薬 〈資料配布〉

(吉冨理事)

当委員会が担当する今年度の医療安全講習会の講習内容と講師が未決で、急を要することから、担当理事、委員長、副委員長、書記、担当事務職員で委員会を開催した。

医療安全講習会の日時は平成29年2月26日とし、講演内容は、PMDAの医薬品副作用救済制度、他、県の環境整備課の方に医療用廃棄物の扱いについての講演を依頼することになった。

(6) 月次会計監査

10月19日(水) 県薬

(7) 平成28年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会

10月20:21日(木:金) 岐阜県

(前濱副会長)

学薬部会からサンアイ薬品の知名博樹先生を派遣した。

(8) 個別指導

10月20・27日(木) 県庁/11月10・11日(木・金) 宮古・八重山

(9) 健康とおくすり相談会

10月20日(木) パレット市民劇場ロビー

(新垣理事)

参加者多数で、実務実習薬学生の参加もあり良かった。しかし、お薬の相談者は少なく、測定機器のお客さんが多く、今後見直しが必要と感じた。

(10) くすりと健康フェア(県民公開講演会) 10月20日(木) パレット市民劇場 <資料配布> (江夏副会長)

県立中部病院感染症内科・地域ケア科の高山善浩先生に特別講演を頂いた。医療、介護需要が増大していく高齢化社会について高齢者自身の視点でケアの方法を検討し、自立した生活や地域の中で豊かに老いることができるよう支援することが必要であると述べていた。来場者は少なかったがとても良い内容であった。

(11) 沖縄県薬事功労者知事表彰

10月21日(金) 県庁

(新垣理事)

受賞式に出席させて頂いた。皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(12) 平成28年度第3回「薬剤師のための症例検討入門研修会」10月22日(土) 県薬 <資料配布> (外間副会長)

通算7回目で今シリーズ最後となる症例検討会が「糖尿病在宅症例」をテーマに実施された。当日は、45名の参加があった。(事前申込67名)講師の大澤先生による症例検討の意義、まとめ方等に関する講義の後、1グループ5~6人の7グループに分かれてディスカッションが行われた。今回検討した症例は、強化インスリン療法後、インスリンを使用しながら内服も継続している訪問診療症例。既に治療が開始されていながら、血糖コントロールや生活習慣に問題を抱えている設定に、各グループ非常に活発な議論を行っていた。チューターも介入しながら、盛り上がった議論を着実にまとめ上げられ、最終的には全グループが治療計画立案まで到達することができた。ディスカッション終了後、代表2グループによるプレゼンテーションと質疑応答はスムーズに運び、講師の大澤先生からも「素晴らしい内容」との講評を頂き、盛会理に終了した。

(13) 学薬部会役員会

10月23日(日) 県薬

(前濱副会長)

各学校への薬剤師配置の検討と次年度の総会時の講師の選定を行った。

(14) 平成28年度沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修会

10月23日(日) 県立八重山病院 〈資料配布〉

(大城課長)

参加者は、14名であった。

(15) 平成28年度第2回沖縄県公害審査会

10月25日(火) 県庁 〈資料配布〉

(我喜屋常務理事)

「資材置き場からの騒音・粉じん等被害請求事件」という案件が上がってきたということで、 2回目の会議が行われた。

(16) 九州山口ブロック新求人サイト説明会

10月25日(火) 福岡県薬

(大城課長)

求人サイトが新しくなるということで説明を受けてきた。薬学生も閲覧できるようになった。

(17) 管理者会議

10月25日(火) 県薬

(亀谷会長)

管理者会議の開催日時や内容に関して慣れ合いになってきているので、内容もしっかりした ものにし定期的に開催したいと考えている。

(18) 地域保健開局委員会

10月25日(火) 県薬

笠原理事が欠席のため次回の報告とする。

(19) 第6回世界のウチナーンチュ大会

<資料配布>

知事招宴 10月26日(水) クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 開 会 式 10月27日(木) 沖縄セルラースタジアム那覇

閉会式・グランドフィナーレ 10月30日(日) 沖縄セルラースタジアム那覇

(亀谷会長)

10月26日(前夜祭)から30日までの5日間の開催で、知事招宴をはじめ各会式に参加してきた。

(20) 沖縄県母子及び父子家庭等医療費助成「自動償還」制度の導入に係る説明会

10月26日(水) 県薬 〈資料配布〉

(山城次長)

沖縄県の主催で説明会が開催された。本会も後援している。

(21) 平成28年度学校保健及び学校安全表彰~文部科学大臣表彰授賞式~

10月27日(木) 札幌コンベンションセンター <資料配布>

(前濱副会長)

村田美智代先生が受賞したが体調不良のため、村田成夫部会長が参加を兼ねて代理で出席した。

(22) 会報取材

10月27日(木) 琉球大学医学部附属病院薬剤部

(宮城常務理事)

琉球大学医学部附属病院薬剤部の中村克徳先生を取材した。

(23) 平成28年度「小児救急電話相談事業#8000」に関する協議会

10月27日(木)沖縄県医師会 <資料配布>

(山城次長)

吉田理事と出席した。年に1回開催されている。年間8,000件の相談があり、1日平均20件余

ある。窓口の看護師から現状の報告と課題等が述べられ、県立病院等の救急担当医師からは #8000事業による救急外来患者数の減少効果の様子が述べられていた。

(24) 農林水産薬事薬剤師部会

10月27日(木) 日薬 〈資料配布〉

(我喜屋常務理事)

我喜屋啓氏が出席した。代理で資料に沿って報告する。

- 1) 事前に各幹事(5人)に依頼していた「研修会の企画提案』について4人から提案があり、協議して以下の演題に決定した。
 - ①「動物薬事をめぐる最近の動き」

講師依頼先:農水省消費・安全局畜水産安全管理課

②「震災時の動物の救援活動や動物病院での対応」

講師依頼先:熊本県内の有力獣医師

- ③「畜産現場での薬剤耐性菌が及ぼす人への影響やその対策 (ワン・ヘルス)」 講師依頼先: 酪農学園大学田村豊先生
- 2) 研修会日時については事務局案で決定し、司会は各幹事が協議し決定した。
 - ①【東京会場】(司会:大河幹事、藤田幹事)

日時:平成29年2月10B(金)13:00~16:55(時間は未定)

場所:全国町村会館ホール (東京都千代田区永田町)

②【大阪会場】(司会:富田幹事、我喜屋幹事)

日時: 平成29年2月17日(金) 13:00~16:55 (時間は未定)

(25) FAXコーナー担当者会議

10月30日(日) 県薬 〈資料配布〉

(江夏副会長)

アンケートをとり各FAXコーナーで困っている問題や要望などを話し合った。

主な問題点としては、以前からFAX送信後にお薬の在庫がない理由で調剤を断る薬局がある とのこと。そのような薬局に対しては地区薬あるいは県薬が指導する。

また、地区薬から県薬への要望として、開局・閉局薬局情報や地図を県薬で取りまとめて FAXコーナーへ知らせてほしい。

(26) 第48回沖縄県公衆衛生大会

11月4日(金)沖縄県市町村自治会館 <資料配布>

(前濱副会長)

村上市子先生が沖縄県公衆衛生大会長表彰を受賞した。吉田久子先生が代理出席となった。

(27) 第30回沖縄県薬剤師会学術大会・沖縄県薬剤師会創立90周年記念祝賀会

11月6日(日)沖縄県看護協会・沖縄県薬剤師会 <資料配布>

(亀谷会長)

年々参加者が増えてきたこともあり、今年は本会館ホールよりも収容数の大きい看護協会の会場を使って開催された。「薬剤師が拓く医薬の未来」を大会テーマとし参加者が過去最高の318名(県薬会員215名、病薬会員93名、薬学生10名)であった。

大会後に開催された創立90周年記念祝賀会では、多くのご来賓をお招きし、本会創立90周年を記念して神村武之先生、山城志津先生、松山朝雄先生に特別表彰が授与された。余興もあり賑やかな祝賀会であった。

(吉冨理事)

大会発表審査について数年審査員をしているが、審査の時に点数が似通ってきている。点数 をつける内容が標準化しているのではないか。 今後は、質問の内容を吟味したり、点数の幅を変えてみたりと工夫が必要ではないか。 (外間副会長)

早々に学術研修委員会を開き、細かい反省点なども確認し次回に活かしていく。

(28) ジェネリック医薬品使用促進に係る講演 11月8・9日(火・水) 宮古・八重山 <資料配布> (山城次長)

協会けんぽより講師派遣依頼があり、宮古島での講師は、オリーブ薬局病院前店の上川畑剛 先生。石垣島での講師は、幸地薬局幸地良信先生が務め、無事終了したとのこと。

(29) 西原町就業意識向上支援事業連絡協議会 11月9日(水) 西原町役場 <資料配布> (大城課長)

薬剤師職能PR事業の一環として県の雇用対策課が実施しているグッジョブ事業のひとつ。 小中学生向けの職業紹介である。活動員となる薬剤師は7名で青年部会に協力してもらった。

(30) 平成28年度第4回広報委員会

11月10日(木) 県薬 <資料配布>

(宮城常務理事)

会報の12月号を90周年特集号とする。

以前からホームページの作成・管理を広報委員会でとの事であるが、作成するのではなく活 用の支援という形で関わっていく。

また、ホームページに会長の部屋を設ける予定だったが、すでにフェイスブックを立ち上げているため、そこでの対応となる。

(31) 平成28年度第3回 沖縄県がん診療連携協議会

11月11日(金) 琉球大学医学部管理棟 <資料配布>

(亀谷会長)

沖縄県のがん治療成績をあげるためにはどうしたらよいかを話し合う会議である。

今回はいつもの会議内容の他に中学生・高校生が書いた健康診断受診勧奨ポスターの優秀賞 を決定した。

(32) 沖縄県看護協会創立65周年記念式典・祝賀会 (記念講演・祝賀会)

11月12日(土)沖縄県看護研修センター <資料配布>

(亀谷会長)

看護協会の駐車場にテント会場を設営しての開催であった。多くの方が招待されており、賑 やかな宴であった。

(33) 平成28年度 離島フェア(健康とお薬相談会参加) 11月26·27日(土・日) <資料配布> (川満常務理事)

離島フェアの中で健康とお薬相談会を2日間開催する。相談員を募っている。

(34) 平成28年度 沖縄県薬事功労受賞者について

<資料配布>

(山城次長)

例年どおり1月に薬事功労受賞者合同祝賀会を開催する。受賞者一覧表に載っている方以外 で受賞者がいれば報告いただきたい。

(35) 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について

<資料配布>

(山城次長)

会営薬局とよみについては、変わらず厳しい勤務状況である。

10月より会営薬局うえはらより與世平先生が会営薬局とよみへと転勤となったが、常勤薬剤師の退職が予定されている。人員不足なのは変わらない。積極的に薬剤師を探していただきたい。

報告 (薬連)

(1) 自由民主党一日政調会

10月17日(月) 自民党県連 <資料配布>

(亀谷会長)

沖縄県の各界からの要望事項をヒヤリングするという会であり、薬剤師会からは5項目の要望を提出した。

- 1. 施設内薬局の問い扱いについて
- 2. 休日・夜間薬局への財政支援について
- 3. 石垣市への医薬品卸業者誘致について
- 4. 薬局における災害時電力復旧優先順位について
- 5. 閉局時において管理薬剤師が他薬局で調剤業務に従事することについて ヒヤリング担当者は、県議会議員であった。2.3.4については興味を示しているようで、検 討して県に働きかけていくとのこと。
- (2) 平成28年度第2回 全国会長・幹事長拡大会議

10月20日(木) ホテルニューオータニ 〈資料配布〉

(亀谷会長)

先の参議院選挙についての分析と3年後の参議院選挙に新たな薬剤師会推薦候補者を出すことを決定した。

(3) 藤井もとゆき君と語る会

10月20日(木) ホテルニューオータニ

(4) 全国若手薬剤師フォーラム 10月22・23日(土・日) クロスウエーブ船橋 <資料配布> (山城次長)

青年部の名嘉紀勝先生と西川裕先生が出席した。

(5) 衆議院議員 比嘉なつみを囲む集い 10月24日(月) モーリアクラシック沖縄迎賓館 (亀谷会長)

私と神村顧問、吉田幹事長、江夏副幹事長で参加した。

(6) その他

(大城監事)

薬と健康の週間での県民公開講演会は素晴らしい講演会だったにも関わらず参加者が少なかった。広報活動が足りなかったのではないかと感じた。



平成29年1月

- 5木○年始あいさつ 豊見城中央病院・琉球大学附属病院 亀谷会長、山城次長
 - 在宅医療委員会 県薬会議室
- 6金○平成29年沖縄県小児保健協会新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 亀谷会長
- 7土○沖縄県看護協会 受賞祝賀会並びに新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 亀谷会長
 - ○平成29年沖縄県医師会新年会祝賀会並びに医事功労者表彰式 ANAクラウンプラザ沖縄 ハーバービュー 亀谷会長
- 10火○平成28年度第3期薬学生実務実習開始(3/27迄)
 - ○年始あいさつ 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 亀谷会長、山城次長、 大城課長
 - 平成28年度第12回定例幹事会 県薬会議室
- 11水○社会保険診療報酬支払基金幹事会・懇談会 サザンプラザ海邦 亀谷会長
- 12木○平成29年沖縄県警察年頭視閲式 北谷町営駐車場 大城監事
 - 個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当:仲真良重氏、川満常務理事
 - ○沖縄県歯科医師会新年会及び叙勲・大臣表彰等合同祝賀会 ザ・ナハテラス 亀谷会長
- 13金○沖縄県保健医療部保健医療政策課より来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - ○認知症と糖尿病 沖縄県医師会館 共催:田辺三菱製薬株式会社
- 14±○平成28年度第10回定例理事会 県薬研修室
- 15日 沖縄県薬業連合会主催薬事功労受賞者合同祝賀会・新年会 ANAクラウンプラザ沖縄ハー バービュー
- 16月○沖縄県医療審議会 県庁 亀谷会長
- 17火○(株)薬正堂訪問 (株)薬正堂 亀谷会長、山城次長
- 18水○平成28年度第4回都道府県会長協議会 日薬会議室 亀谷会長
 - ○日本薬剤師会賀詞交歓会 ホテルグランドパレス 亀谷会長
 - 平成28年度第1回災害医療マニュアル検討会議 県庁 吉田理事
 - 平成28年度第5回薬学生実務実習受入委員会 県薬会議室
- 19木○平成28年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 江夏副会長
 - ○個別指導 那覇第一地方合同庁舎5階中会議室 社会保険医療担当:仲真良重氏、川満常 務理事
 - 中部地区研修会「臨床薬剤師育成研修会」(株)琉薬
- 20金○喫煙防止教室 那覇市立曙小学校 講師: 亀谷会長
 - ○中部地区研修会「平成28年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会・第5回推奨講演会」 中 部地区医師会
- 21土 第8回沖縄HIV臨床カンファレンス 琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
 - 平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 県薬研修室 亀谷会長、江夏・前濱両副会 長、村田学校薬剤師部会部会長、笠原学校薬剤師部会副部会長、山城次長、長嶺(事務局)
 - 平成28年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議・懇親会 ANAクラウンプラザ沖縄ハーバー
- 平成29年沖縄県栄養士会新年会並びに表彰受賞祝賀会 ロワジールホテル 宮城常務理事 22日 ○ 沖縄県放射線技師会新年祝賀会 天久テラス 江夏副会長

- 22日 平成28年度学校薬剤師研修会 県薬ホール
- 23月 平成28年度第2回健康長寿おきなわ復活県民会議 県庁 亀谷会長
 - 平成28年度第5回広報委員会 県薬会議室
- 24火○沖縄県振興審議会第1回福祉保健部会 県庁 亀谷会長
 - 自殺予防対策事業小会議 県薬会議室 村田常務理事、笠原理事、比嘉佳穂子氏、大城課長
- 25水 琉球大学医学部附属病院医療支援課訪問 琉球大学医学部附属病院 山城次長
 - 平成28年度沖縄県競技力向上対策研修会 沖縄県立総合教育センター 平良恭子氏
 - 中部地区研修会「平成28年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会・第6回講義」 中部地区 医師会
- 26木○沖縄県国民健康保険課より来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - ○月次会計監査 県薬会議室
 - 北部地区薬剤師会学術研修会 ホテルゆがふいんおきなわ
- 27金○おきなわ津梁ネットワークについての打ち合せ会 県薬会議室 亀谷会長、吉田理事、山 城次長
 - スピオルト発売1周年記念講演会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催:日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
- 28土○第4回沖縄リウマチ・膠原病フォーラム ロワジールホテル那覇 共催:田辺三菱製薬(株)
- 29日 **平成28年度沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修会** 県薬ホール 講師:中尾滋久氏(地域保健開局委員会)
- 30月○中部地区保健医療計画協議会について打ち合わせ 県薬会長室 亀谷会長、新城光枝氏
- 31火○ジェネリック医薬品使用促進に係る講演(講師派遣) ちゃたんニライセンター 講師: 砂川秀樹氏

平成29年2月

- 1水○平成28年度健康おきなわ21推進協議会 県庁 前濱副会長
 - ○自殺予防対策事業小会議 県薬会議室 亀谷会長、村田常務理事、笠原理事、大城課長
- 2木○個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当:仲真良重氏、川満常務理事
 - 生活習慣病フォーラム~今後の高血圧治療展望~ ザ・ナハテラス 共催:日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
 - 第17回沖縄「全人的医療」研究会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催:(株)ツムラ
 - 平成28年度第3回感染症ケースカンファレンス 中頭病院
- 3金○第16回沖縄県健康教育研究大会 名護市民会館 受賞者:村田美智代氏/亀谷会長、村田成夫学校薬剤師部会長、大城課長
 - 平成28年度医薬分業指導者協議会 厚生労働省講堂 川満常務理事
 - 八重山地区研修会「血栓症の予防と治療を考える会in八重山」 ANAインターコンチネンタ ル石垣リゾート
- 5日○ 実務実習指導薬剤師更新講習会 県薬研修室
 - 新たなワークショップ(WS)説明会 県薬ホー/レ
 - アウトリーチ型健康づくり推進事業「第141回健康とおくすり相談会」 竹富町黒島伝統芸 能館 担当:八重山地区薬剤師会

- 7火○ジェネリック医薬品使用促進に係る講演(講師派遣) 沖縄産業支援センター 講師:吉 田理事
 - ○地域で取り組む血栓症フォーラム 那覇市立病院 共催:第一三共株式会社
 - ○薬事情報センター委員会 県薬研修室
 - 平成28年度第13回定例幹事会 県薬会議室
- 8水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
 - ○第3回「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」に関する打合せ会 福岡県薬剤師会館 外間副会長
 - 第11回那覇・浦添 コ・メディカル糖尿病セミナー 大浜第一病院 共催: MSD(株)
- 9木○**災害時における薬剤師の医療救護活動に関する協定締結式** 沖縄県保健医療部長室 亀谷 会長、吉田災害対策担当理事、山城次長
 - 中部地区研修会「平成28年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会推奨講演会」 ヒルトン 沖縄北谷リゾート
- 10金○八重瀬町教育委員会「職業インタビュー」 八重瀬町立東風平小学校 講師:玉寄睦子氏、 大城課長
 - 沖縄県慢性期医療協会薬剤師部研修会 沖縄県医師会館 共催:武田薬品工業(株)
- 11土0平成28年度日本薬剤師会生涯学習担当者全国会議 日薬会議室 外間副会長
 - 平成28年度第11回定例理事会 県薬研修室
- 12日○ 医薬分業対策委員会主催研修会 県薬ホール
- 13月○地域保健開局委員会 県薬研修室
- 14火○宮古地区研修会「病診連携漢方セミナー in宮古島」 沖縄県立宮古病院
 - 平成28年度第4回財務委員会 県薬会議室
- 15水○「自殺予防に対する情報提供書」打合せ会議 県薬会議室 医師会:田名医師・平安医師・ 崎原氏(事務局)/薬剤師会:亀谷会長・村田常務理事・笠原理事・大城課長
- 16木○沖縄県振興審議会第2回福祉保健部会 県庁 亀谷会長
 - 個別指導 那覇第一地方合同庁舎 亀谷会長、社会保険医療担当:仲真良重氏、川満常務 理事
 - 平成28年度第2回南部地区健康おきなわ21推進連絡会議 南部保健所 新垣理事
 - 第78回那覇地区薬剤師会臨床講座 県薬研修室
 - 平成28年度第3回災害対策委員会 県薬会議室
 - ○中部地区研修会「臨床薬剤師育成研修会」(株)琉薬
- 17金 琉球大学漢方医学研究会 ~ 平成28年度第3回 ~ 琉球大学医学部臨床講義棟 共催: (株) ツムラ
- 18土○会報取材 ヴァインドラッグあがりはま店 伊佐川サヤカ、大城課長
 - 平成28年度実務実習受入に関するブロック会議 ホテルセントラーザ博多 亀谷会長、我 喜屋常務理事
- 19日 **アウトリーチ型健康づくり推進事業「第142回健康とおくすり相談会」** 多良間村コミュニティー施設
 - **禁煙アドバイザー育成研修会** 沖縄小児保健センター
 - **女性薬剤師部会スクーリング** 県薬ホール

- 19日 平成28年度高度管理医療機器等継続研修会(八重山) レンタルルーム&スタジオマザー ズ倶楽部(石垣市) 講師:吉田理事
 - 学校薬剤師部会役員会 部会室
 - 藤野哲朗先生の藍綬褒章受章を祝う会 グランドハイアット福岡 亀谷会長
- 20月 健康づくり支援事業における講師派遣 石嶺団地自治会事務所(首里)
- 21火○沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式 琉球新報社 亀谷会長、大城課長
 - DOAC Frontier Conference ~静脈血栓症における課題~ ザ・ナハテラス 共催:バイエル薬品(株)
 - 平成28年度第5回学術研修委員会 県薬会議室
 - 平成28年度第3回医薬分業対策委員会 県薬ホール
- 22水 第3回九州山口各県薬代表者会議 福岡県薬剤師会館 亀谷会長・江夏副会長
 - ○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 亀谷会長・江夏副会長
 - 薬学生薬局実習(救急・夜間について) 会営薬局医療センター前 城間薬局長
- 23木○防火管理講習 亀谷会長
 - ○宮古地区研修会「Advancing Patient Management Seminar」 沖縄県立宮古病院
- 24金○防火管理講習 亀谷会長
 - 自立支援型・介護予防ケアマネジメントと地域ケア会議研修会 沖縄県男女共同参画センターているる 笠原理事
 - 平成28年度学校薬剤師部会全国担当者会議 日薬会議室 前濱副会長、村田学薬部会長
 - 月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原
 - 平成28年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会 (株)琉薬
- 平成28年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会BLS講習会 (株)琉薬 講師:笠原理事 25土○第8回沖縄抗HIV薬勉強会 沖縄県立南部医療センターこども医療センター
- 26日○平成28年度医療安全講習会 県薬ホール
 - 九山各県担当者会議 (医療保険・介護保険) 佐賀県薬剤師会 荒井理事、仲真薬局長
 - スポーツファーマシストのためのアンチ・ドーピング講習会 連合会館(東京) 笠原理事
- 28火 平成28年度第2回健康づくり推進協議会 全国健康保険協会沖縄支部 我喜屋常務理事
 - ○沖縄県病院薬剤師会精神科分科会勉強会(平成28年度第2回) 沖縄県医師会館
 - 平成28年度第14回定例幹事会 県薬会議室
 - 北部地区薬剤師会学術研修会 北部地区薬剤師会館

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

○国保総括票 25 枚 1 冊 100 円 ○お薬手帳カバー 1枚 22円 50 枚 1冊 160 円 ○薬歴カード 各1枚 ○市町村別請求書(その1) ○市町村別請求書(その2) 1枚 10 円 国保(本人・家族)青色 ○調剤報酬明細書 50 枚 1 冊 160 円 白色 ○ 管理薬剤師業務日報 1年分 1冊 600円 桃色 ○処方せん 100 枚 1 冊 160 円

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色(薄青色)14ページ 価格 税抜き12円 【現行リニューアル版】表紙色(薄黄色)34ページ 価格 税抜き22円

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成29年1月

- 6金○自由民主党沖縄県連新春の集い ロワジールホテル那覇 亀谷会長、吉田幹事長、山城次長
- 7土○平成29年自民党沖縄三区支部・新春の集い 沖縄市産業交流センター 神村顧問、吉田幹事長、新城光枝総務、山城次長
- 14土○衆議院議員コクバ幸之助2017年新年の集い 沖縄県市町村自治会館 神村顧問・吉田幹事長
 - ○衆議院議員国土交通委員長ニシメ恒三郎新春の集い 豊見城市立中央公民館 城間総務、 山城次長
- 17火○宮古島市長選挙候補者・下地敏彦氏への推薦状交付 選対事務所 川満正啓総務
- 23月○浦添市長選挙候補者松本哲治氏への推薦状交付 選対事務所 亀谷会長、山城次長
- 24火○浦添市長選挙まつもと哲治君を支援する各種団体代表者並びに実務者会議 輝くてだこの 町を創る市民の会 山城次長
- 25水 衆議院議員額賀福志郎先生を囲む会 カルチャーリゾートフェストーネ 神村顧問、吉田 幹事長、山城次長、長嶺(事務局)

平成29年2月

- 2木○浦添市長選挙候補者松本哲治氏総決起大会 浦添市てだこホール 渡嘉敷見氏、山城次長・ 前原・上原美也子・長嶺(事務局)
- 8水○松本哲治浦添市長選挙応援に伴う医薬品卸等あいさつ回り 各卸業社、浦添市内薬局 藤 井基之参議院議員、亀谷会長、吉田幹事長、山城次長
- 10金○松本哲治浦添市長選挙応援に伴う薬局訪問 浦添市内薬局 比嘉奈津美衆議院議員、亀谷 会長、山城次長・長嶺(事務局)

計報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

久場 ト **3** 先生(享年95歳) 平成29年2月26日ご逝去 大城 真淳 先生(享年76歳) 平成29年3月23日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。 (香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】県薬事務局(前原・大城): 098-963-8930

追悼

久場とよ先生を悼む

女性薬剤師会の初代会長で画家としても活躍しておられた、久場とよ先生が95歳で亡くなられました。

高齢でいらっしゃる事を承知しながらも、 とよ先生はいつまでも元気で長生きでいらっ しゃると勝手に思っておりました。

でも、まだここに、そしてこの先も私の近くにいらっしゃる気がします。

40余年前、九州山口薬学大会が沖縄で開催されるにあたり、女子薬剤師会を立ち上げる事になって、当時の会長であった宮平善雄氏の命により、新米理事をしていた伊禮寿子さんと私で訪ねたのが最初の出会いでした。快く初代女子薬剤師会長を引き受けて下さいました。

当時の日本女子薬剤師会長とも親しく、会合等、尽力して下さったおかげで大会は成功裡に終わり、私達もホッとした思いでした。次の年の山口県での大会にも先生と同行させて頂きましたが、活発に質問なさり、改めて何事にも熱心な方だと強く感じました。大会後の萩の町歩きが一番印象に残っている楽しかった思い出です。古い町並みの鯉が泳ぐ川を、萩焼の器を楽しんだ旅の思い出は私の宝物です。



本会館落成時に、油彩作品「モンステラ幻想」を 寄贈された 久場 とよ先生



女子薬剤師会長を大城桂子先生にバトン タッチした後で、薬剤師を中心にした絵画 サークルを開いたのが葉月会の始まりです。

金城保景先生、比嘉賀友先生、長田紀昭先生、小橋喜久子先生、藤本勝喜先生、小那覇幸子先生、私、他に他職の若い方達も加わり、和気あいあいと絵を描いてきました。本当に優しく、そして厳しく御指導戴きました。ソフトな口調なので、後になって叱られていたことを知るという事も度々でした。先生の周りには常に多くの方達が集って、いつもにぎやかで先生も楽しそうに談笑されていました。特に若い人には、手を差し伸べて援助を惜しまず育てていらしたのには、頭が下がる思いです。本当に優しい包容力のある賢明な方でした。

亡くなる2ヶ月程前まで、ソファーに座り訪問客とも気丈に談笑されていたのですがいい。もう一度お目にかかりたかったのですが、残念です。葉月会のことを心配し、私達個々のこれからを手を取ってお祈りして戴きました。食も細くなり、体の痛みもあるはずなのに、全ての医療を拒否し、家族の方に「あさっては、いくからね」とおっしゃって、その通りの日に、帰らぬ人となったそうです。先生らしいなと思いました。

人生の道筋をつけて戴きました。本当にありがとうございました。また会える時があると信じています。その時までゆっくりおやすみ下さい。

転載記事

る。薬剤師会理事をしていた私

記憶は40年も前にさかのぼ

美しい人であった。

論





紀子 桑江

ジして作ったとされる、先生に 言わせれば〈資生堂のせっけ つしたのであるが)。 最後まで 小をまとっていた(私たちがそ 息を引き取った時も、その香 の香りに似る香水である。

絵の具がわずかに付いていた。

日本の女性〈ミツコ〉をイメー 26日、95歳で天に召された。 ランが1919年、物語の中の 贈り物の希望を尋ねると、たい てい〈ミツコ〉を望まれた。ゲ 長であった久場とよ先生が2月 コ〉を好んだ。晩年、誕生日の 画家であり初代女子薬剤師会 〈場先生はゲランの〈ミツ そしてよく見るとその白衣には 憶が正しければ)先生は薬剤師 と私は紅茶を飲んだ。(私の記 きにそれを着るのだと言った。 の白衣を着ていた。絵を描くと まれた久場政彦先生の書斎で、 姉に連れられて遊びにいった弟 った。経済学の分厚い蔵書に囲

の姉を通して先生に初めて出会 対した。 魔し続けた。 愛なのだ)と誠意とを傾け、相 た。相手へ注意(つまるところ やら、援助やらを分け与え続け の心と知性、知識と、時に資金 先生は彼女と接する誰にもそ

にこう呼ばれていた)に集うと、 自宅〈久場サロン〉(ひそか

慕われた久場とよ先生 晩年まで美しく優しい人柄

かげんな答えをたちまち見抜き くる際の大きな眼はうそやいい 歳を過ぎていたろうに、凛とし 当時の先生は、もうとっくに50 そうだった。また、その優しさ、 ていて、美しかった。質問して 寧なもてなしは、若い私を魅 た。以来、先生の所にお邪

背の伸びる感じ、先生の励まし 共有したと思う特別の思いや、 な人であった。 さまざまな人を受け入れる大き 時間とを所有していた。先生は それぞれが、自分と彼女だけが 頂いたり、叱られたりしながら、 た。先生と語り、アドバイスを に包まれている感じを味わっ

> を唱えられた。 れいね」と眺め、

トやバジルで作った花束を「き

〈主の祈り〉

逝かれる数日前、マーガレッ

を置くこととする。

沖縄市、

医師、

58

の〈先生の素描〉をささげ、

筆

とを神に感謝し、

私の視点から

人として、先生に出会えたこ とよ先生を慕う多くの人々の

感性と明晰な思考、洞察力、郷ておられた。そのみずみずしい であった。晩年も常にしっかり 物腰でありながら、はっきりも 参加していた。柔らかい言葉と 里沖縄と人への思いは最後まで 場を貫いた、高齢のため車いす のをいう那覇人(ナーハンチュ) になっても、基地反対のデモに 反戦、平和を希求する社会的立 した政治、社会への意見を持っ 夫の故、政彦先生と一致して 沖縄タイムス 2017 • 3 • 19

執筆者の桑江紀子氏は、会員の伊禮壽子氏の妹様です。

衰えなかった。

転載記事

平成29年2月28日(火) 琉球新報

ら3時。 時 201

場とよ 43の自宅で死去した。95 のため那覇市楚辺1の1の が26日午後5時15分、老衰 的存在で、沖縄女流美術家 協会の初代会長を務めた久 沖縄の女性画家の草分け (本名・トヨ) さん

で。喪主は長男の政史 一般献花は午後2時か 那覇葬祭会館本館 那覇市天久119

立第二高等女学校で名渡山 常小学校で島田寛平氏、県 の女性作家による絵画展」 薬剤師として勤める傍ら、 愛順氏に師事した。戦後は 画壇の一線で活躍。「郷土 久場さんは戦前に那覇尋 1977年沖縄女

3月1日午後1時から2

(2010年死去)

歳。那覇市出身。召天式は

年にわたって会長を務め 流美術家協会を結成、 沖展や県芸術祭の審査員も た。女性初の沖展会員で、

2005年には国際通り

と振り返り、 言ってもらい心強かった」 たがやるならやるわよ』と 話が持ち上がった時『あな 代事務局長、2代目会長を しさと美しさがにじんでい 務めた宮良瑛子さん(82)は 女性だけの美術展開催の 沖縄女流美術家協会の初 「作品には優 賞を受賞している。夫は琉 2000年に県文化功労者 店し、晩年まで創作活動に 氏 球大学教授で県振興開発審 議会会長を務めた久場政彦 いそしんだ。1991年と に「ギャラリー星座」を開 功績をたたえた。 沖縄女性画家の草分け だった」としのんだ。久場

が残したものは大きい」 と人となりを語り、 けず嫌いな一面もあった をまとめるのがうまく、 は副会長としてサポートし で、沖縄女流美術家協会で さんと二高女時代の同級生 た山元文子さん(95)は

皆

負

95歳

八場とよさん

の沖縄を代表する第一人者

女性男性を問わず戦後

代会長で、県内の女性美術 家の草分けとして活躍した 沖縄女流美術家協会の初 95 歳 女性画家 分、老衰のため、

平成29年2月27日(月)

沖縄タイムス

(本名・ト した。95歳。告別式の日時 辺1の1の4の自宅で死去 は未定。喪主は長男の政史 まさふみ)さん。 那覇市楚

家の久場とよ

県内草分け

経て、東京女子薬学専門学 れ。県立第二高等女学校を 1921年那覇市泊生ま 薬剤師として勤める

(26面に関連)

賞)、2000年県功労、 年沖縄タイムス賞 性作家による絵画展」 初の沖展会員。「郷土の女 をつくり96年まで会長。97 ど女性を描き続けた。 傍ら少女や琉装の踊り手な を機に77年女流美術家協会 (文化

転載記事

◆協会けんぽ 後発薬使用、沖縄8割に

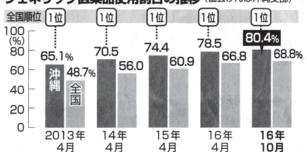
全国健康保険協会(協会けんぽ) 県支部の加入者が使った薬に占めるジェネリック医薬品(後発医薬品)の割合が80.4%に上り、初めて80%台に達した。県支部が昨年10月診療分の調剤レセプト(診療報酬明細書)を基に、使用割合を算出し

9日、公表した。80%を超えた のは全国の都道府県支部の中で 初めて。ジェネリック医薬品の 使用は、患者の薬代の支払い軽 減や医療保険財政の改善につな がるとして、厚生労働省が促進 している。

県支部のジェネリック医薬品 使用率は、全国平均(68.8%)を 11.6 禁上回った。2位は鹿児島 県(75.4%)で、3位は岩手県 (75.1%)だった。ジェネリック 医薬品は、新薬と同等の有効成 分・効能があるという厚労省の 承認を得て販売されている。価 格は先発医薬品の5割程度。

沖縄の使用割合が高い背景に

ジェネリック医薬品使用割合の推移(協会けんぽ沖縄支部)



ついて、県支部は「県薬剤師会や医師会が使用を推奨していることが大きい」と見る。また、 米統治下時代の影響もあるとして「米国ではジェネリックの使用が一般的なので、アメリカ文化の影響もあるのではないか」と話した。

協会けんぽは、中小企業の従

業員らが加入する。県支部は、ジェネリック医薬品の使用割合が増えると薬代が減り、将来的には加入者が支払う保険料率の引き下げにつながると指摘する。担当者は「県薬剤師会などの関係機関と連携しながら、積極的に広報活動をして、使用を促していきたい」と話していた。

平成29年3月18日(土) 沖縄タイムス

から2人目)=17日、県庁を手渡した上原幸代代表(右金城弘昌部長(中央)に目録



55万円を贈る 子ども基金へ 未来

会員薬局が寄付

平成29年3月22日(水) 琉球新報

交通遺児に30万寄付

那覇市垣花奉頌会

那覇市垣花奉頌会(比嘉 眞三理事長)は21日、県交 通遺児育成会(理事長・富 田詢一琉球新報社社長)に 30万円を寄付した。那覇市 山下町の奉頌会事務局で贈 呈式が行われ、比嘉理事長 三写真右=は「子どもたち



のために有効に役立ててください」と話した。同会からの寄付は今回で29回目。

毎年寄付されている会員の比嘉真三先生



『ユイレール散歩』

3月、もう春ですね。与儀公園の桜も青葉 になり茂っている。近くの保育園や小学校、 中学校では卒園式・卒業式が行われ、高校の 合格発表・大学の合格発表で悲喜こもごもの 光景である。子供達にも別れと出会いの季節 が来たのである。こんな時、ユイレールで春 を探しに行ってみようと妻の提案である。異 論はない。

モノレールは数十年前、計画が発表された 頃の沖縄経済は脆弱だったから、こんなの 作ったらたちまち赤字だぞ、デージドー^{※1}と ネガティブな風評が流れたものだった。しか し、準備作業が進むにつれて状況が好転する。 新都心が開発される。観光客は600万人を超 える。空港も拡大拡張される。発展のファク ターは増えてきた。平成15年8月の開業以来、 乗客の数はドンドンと伸びている今では県民 の足として、また観光客の移動手段としてそ の重要度が高くなっている。また浦添の前田 までの延長工事も進んでいるというから、ま ずそこを見ようということになった。美栄橋 駅からスタートだ。駅で乗車券を買う。がん じゅう**2乗車券である。これは70歳以上の人 が日曜日には1日中乗りたい放題で300円であ るから嬉しいサービスである。入って来た1 番線の電車に乗る。電車の微妙な快い揺れに 乗客達はユイレール愛好者と言う表情に見え る。首里駅の改札口を出ると首里駅より先の 方へ歩く。そこには前田に向かってレールを 支える支柱がいくつか並んでいる。一部レー ルが載っているのもある。これが次々と繋 がって、モノレールが完成すると電車が走る のだ。頼もしく思える。

次は儀保駅へ戻る。イヤ、"行く"かな? 何しろ首里駅が始発駅でもあり終着駅でもあ るから次の駅は戻るのか行くのかどっちなん だか・・・ともかく儀保駅で降りる。ここに は小生が20代の頃、沖縄の行事に熱心だった 叔父に連れられて、旧暦の年の初めの首里巡 りで参拝に来た事のある盛光寺があるので嬉

しくなったのである。当時の盛光寺は古い小 さな民家で、多くの参拝者が外でも手を合 わせていたものである。境内には「"の"ま んじゅう」の店があり繁盛していたが、今は 首里久場川町の方へ移転している。あれから 住職さんも代替わりしたのだろう。入り口の 両側には大きな羅模様(阿吽の形相をした立 派な仁王像) がデーンと立って寺を守って いる。本殿は2階になっている。折角だから お参りする。畳の間に幾組もの人達がビン シー*3を並べてウガン*4をウサギティ*5いる のである。珍しい光景である。奥の祭殿の前 では中年の男女が住職から有難い法話を受け ているようである。遠いので拝聴は出来ない が突然大きい声で「分かっちゃいるけど止め られない」の一言が耳に入った。小生はク レージーキャッツの植木等のスーダラ節を想 い出した。無責任時代という社会現象まで生 み出したものである。しかし、植木等は大変 真面目な男だったという。ある時、これを歌 えと手渡されて、こんなの恥ずかしくて歌え ないよと悩んだ植木等は、お寺の住職である 父に相談した。歌詞の中にはこんな詞があっ た。『金の無い奴は俺んとこへ来い。俺も無 いけどクヨクヨするな。見ろよ、青い空、白 い雲、そのうち何とかなるだろう』「素晴ら しい、仏様の教えそのものだ。人間はすべか らくそうであるべきだ。歌え!」と言ったと いう。この歌は世に出ると大ヒットした。「分 かっちゃいるけど止められない」は、なかな か解脱できない人間の性(サガ)であろう。 ビンシーを持った人達が入れ替わり、立ち替 わりである。このお寺は地域に愛された存在 だなと思った。小生達もチョット長居してし まったようだ。

儀保駅から2番線の電車に乗る。各駅の沖 縄メロディーのチャイムも耳に快く楽しい。 おもろまち駅では大きなキャスター付スーツ ケースを持った人が乗ってきて車内が狭くな る。一駅毎に客が増えてたちまち満員になる。



首里駅から空港まで27分の所要時間だが、定時定刻の運行が守られているから旅行者は大安心である。

数日前の事だが、小生の薬局の前に沖映通りの大きなモニュメントがあり、その横腹に美栄橋駅の時刻表が貼ってあった。それを通り会の理事長さん達が剥がしている。「どうしたんですか?」と聞くと、この時刻表を見た人が飛行機に乗り遅れたというクレームがあったのだという。その後、電車の本数が増えたのでダイヤは変わったのだろう。妻が美栄橋駅の時刻表と比べたら、4分くらいの誤差があるらしいのである。定時定刻の運行はユイレールの生命だからクレームには素早く対応したのである。

壺川駅から奥武山駅までの車窓からの風景はなかなか素晴らしい。漫湖から那覇港への水量豊かな流れ、緑の森の奥武山、川辺のビル群、つい見とれてしまう。奥武山駅で降りる。この周辺はセルラースタジアム、武道館を始め、スポーツ施設が多い。神社も2つあり見応えのあるエリアである。沖宮に参拝する。遅い時間だったので人影はまばらだった

が、幸いにも知人の巫女さんに会えたので案内してもらう。本殿には熊野権現の神々をお祭りし、その外側、右の方には住吉神社、左の方には八坂神社をお招きしてある。池のある所には弁財天様を祭ってある。また、土地の神々をウガミ**6たいと来る人達もどうぞ遠慮なくと受け入れているから、懐が深い。ここには八百万の神々がおわすのである。沖縄のチャンプルー文化**7の本山のように思える。参拝をして沢山のお願いもした。お払いも受けさせてもらった。とても心が落ち着く。

空港へ向かう。動く歩道に乗って空港ビルに入ると、沢山の人でごった返している。この人達どこから来てどこへ行くのだろう。楽しい旅をしている人、必要に迫られた旅、色々な旅があるんだろうなと考える。タイミング悪く離着陸は見られなかったが、大きな飛行機を見るとたまには乗ってみたいなと思う。

今日はここまでと家路に着く。美栄橋駅経由で帰宅すると、出掛けに妻がスイッチした万歩計が5時間くらいで14,197歩を表示していた。

橋の下

- ※1 デージドー:大変だよ。大変な事になっているよ。
- ※2 がんじゅう:頑丈。丈夫。元気。
- ※3 ビンシー:携帯用の御願道具箱。御神酒(泡盛)を入れる酒器が2つ、杯、3に仕切られた米入れ、賽銭、ヒラウコー、 ウチカビ(打ち紙)がコンパクトに納められている。清明祭でお墓に持ち込む。
- ※4 ウガン: お願い
- ※5 ウサギティ:お供えして。持って来て。
- ※6 ウガミ:拝み
- ※7 チャンプルー文化:琉球・東南アジア・日本・中国・アメリカの風物が歴史的経緯から入り交じっている沖縄県の文化をこのように呼ぶこともある。



誌上ギャラリー(裏表紙)について

上:「陽花(はるか)」

水彩画 by 小那覇 幸子(おなは薬局) 中央:「チンクエ・テッレ」photo by 廣川 直子 (ハイジア薬局) 撮影地:イタリア

> 美しいリグーリア海岸沿いに並ぶ5つの町。 地中海の穏やかな波とカラフルな家々が印象 的で、現代から取り残されたような静かな時 間が流れています。

右下:「千鳥ヶ淵の春」photo by 笠原 大吾

撮影地:皇居(東京都)

左下:薬草園だより「パパイヤ」

撮影地:沖縄県薬剤師会"薬草園"









年が明けると花が咲いたように一気に身辺が動き出した。沖縄ではプロゴルファーの沖縄合宿、プロ野球キャンプ、女子プロゴルフ 開幕戦とスポーツイベントが目白押し。縁あって、取材クルーやプロゴルファーをアテンドし、業界の人たちとの関わりを堪能した。日夜問わず働く取材クルーの働きぶり、女子プロゴルフ界の裏話?広告代理店の内情、などなど紙面には書けない話が盛りだくさん。広報委員としては食指が動き、その好奇心は抑えきれない。もちろん、薬剤師としての仕事もアピールした。彼らはスポーツファーマシストに興味を持ったようだ。 (クララ)

英国の医学部生と代替療法の話をした際、 向こうの国では漢方薬も含まれると聞いた。 そう考えると日本は代替療法先進国ってこと だ。ついでにインターフェロンと大建中湯の 相互作用の事例は有名だよ、と話したら代替 療法と薬物の相互作用に驚いていた。 今年 も季節の変わり目には小青竜湯が手放せない。 (いさ吉) 女性薬剤師部会薬草園だより



お父さんの嫌いな食べものは、なーに?。。。 うーん。。。。パパイヤ!! ピンポーン。子ども達 とのなぞなぞ遊び、思い出しますね~。パパイヤは、沖縄伝統野菜28品目のひとつです。こ のパパイヤ、最近ではダイエットの魔法の果実 と言われているんですよ。Eat green パパイヤ if you want to became beautiful!!

(女性薬剤師部会 与儀 和子)

三月初旬に、「女子中高生のキャリアサポー ト」という事で、高校生と大人に薬剤師につ いて紹介する機会があった。大人というのは 企画した団体の皆さん。今回は栄養士と薬剤 師についてだった。栄養士の話はとても興味 深かった。企業の食事管理から経腸栄養まで、 幅広いことに驚かされた。食と薬、しっかり コラボして健康サポートができるはず。聞い ていて自分がワクワクしてきた。薬剤師も負 けてはいられないと、しっかりアピールした。 参加していた高校生は進路についてしっかり 考えており、進学する大学もすでに決め、そ こに向かって勉強している。うれしいことに 初めから薬学希望の学生さんも多くいたよう だ。企画した団体の皆さんからも「孫は薬剤 師にするわ」という嬉しい声が聞こえてきた。 薬剤師不足もこれでかいしょうか? (TOMO)

先週、中部徳洲会病院から1通の郵便書物が届いた。封書内容は1月に受けた健診結果。恐る恐る封を切って中身を拝見。ほぼ毎日の飲酒で休肝日を設けられていない状況にもかかわらず、奇跡的に肝機能等全ての検査数値は正常範囲内!嫁はその結果に首を傾げ、納得できない表情を浮かべていた。ホッと安心しきっていた矢先、もう1通の封書が・・ピ・ピロリ菌陽性!!!! 除菌しなければならないが、除菌中はお酒が飲めない。それも1週間の断酒・・私には何よりも過酷である・・・(ごり)

沖縄県薬剤師会には多数の委員会が存在す る。もちろん、全ての委員会は、各々大事な 仕事を請け負っている。が、そんな中でも、 我々、広報委員会はその仕事の大変さ以上に 楽しい委員会である。ただ、楽しい当委員会 にも鉄の掟がある。委員会後の校正と編集後 記だ。毎回、早めの提出が義務付けられてい るが、今回は、0氏の心意気により長めの猶 予をいただいた。これでじっくり校正と後記 に時間があてられるかと思っていたが、長い 猶予はその仕事を忘れ去る結果に繋がってし まった。実に恐ろしいことだ…。ズバリ、尻 に火がついて初めて動き出す自分には、猶予 より、0氏に、はっぱをかけてもらうことが 一番必要なのかもしれない。次から気を付け ます…。 (松)

拝啓「橋の下」様

会報に毎回毎回楽しい話題を提供して下 さっている「橋の下」氏の人気連載エッセー 「一包一話」が近々本になり出版されるそう ですね。幸いにも、その超レアものの原稿に お目にかかる機会を得ました。1971年(昭和 46年)6月号から2015年(平成27年)11・12 月号まで44年間という長期にわたって書き綴 られたエッセー集で、笑いあり、ほのぼの心 温まる話あり、真剣で堅い話題あり、反対に 柔らかい(?)話題もあり、読んでいて全く 飽きることがありません。沖縄方言満載で方 言の勉強にもなるに違いありません。勿論そ の時々の国内や海外の大きな事件も巧みに織 り込まれていて、忘れかけていた記憶が鮮や かに蘇ってきます。「橋の下」氏の記憶力と 観察力で、ごくありふれた日々の日常の中か ら話題を紡ぎ出していかれるのにはただただ 感嘆するばかりです。私の下手な紹介などよ り是非多くの皆様に本物を手にとってお読み 頂きたいと思います。長い間休むこともなく 掲載し続けて下さった「橋の下」氏に感謝と 敬意を表します。そして、そこにペンがある 限りこれからもずっとず一っと連載を続けて 下さい。楽しみにしています。

(かしこ ピアナ)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 http://www.okiyaku.or.jp e-mail:kouhou@okiyaku.or.jp

- ■事 務 局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
- ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
- ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
- ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第287号 平成29年4月24日発行

◇次号は、平成29年6月中旬発行予定です。

印刷:有限会社 Skill

発行人:沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編 集:広報委員会 委員長/宮城敦子 委員/池間記世・前濱朋子・鈴木一徳・石川恵市

伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員/山城晶 宮古地区通信員/前里由紀子

八重山地区通信員/宮良善朗 事務局/大城喜仁



誌上ギャラリー (会員作品) お気軽にご投稿下さい。



薬草園だより



